

CONTENTS

- P1 警察庁長官・警視総監 年頭ご挨拶
- P2 励ます会幹部 年頭ご挨拶
第22回千葉支部総会開催!
Member's Lounge [郵政改革について] 田村達也氏
- P4 はげましの輪 2002年 機動隊の重大警備
高円宮憲仁親王殿下「敘舞の儀」
平成14年度術科大会開催

発行所 社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0065 東京都大田区仲六郎4-32-5
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会員の中には購読料を含む)

Dec.2002 No.341

はげまし

For the Riot Policemen & Members



平成14年度「励ます会」通常総会懇親会



ワールドカップ後谷町周辺の警備

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆様には、輝かしい新年をお迎えることとお慶び申し上げます。また、平素から機動隊の諸活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年、警視庁機動隊は、初の日韓共催となった二〇〇二年ワールドカップサッカー大会に伴う都内での警戒警備及び開催地の特別派遣警備をはじめ、ブッシュ米大統領夫妻一行来日警護警備、李鵬中国全人統帥夫妻一行来日警護警備や、高知県下での第五十七回国民体育大会秋季大会及び長崎県下での第二十二回全国豊かな海づくり大会に伴う他県への特別派遣警備、さらには高円宮憲仁親王殿下に伴う警衛警護警備等、多くの重要な警備活動に携わりました。

また、機動隊組織改革に伴う多角的運用部隊等の運用では、多発するピッキングやひったくり、来日外国人犯罪等市民の身近な犯罪に対する警戒検挙活動や、交通指導取締り活動等、機動隊の集団警備力を活かした積極的な街頭活動を展開したところであります。会員の皆様方の温かいご理解とご激励をいただき、所期の目的を達成す



新年に寄せて

警視総監

石川 重明

重ねて厚く御礼を申し上げます。さて、本年の治安情勢を展望いたしますと、米国等が、一昨年十月八日未明にアフガニスタン地域に対する軍事行動を開始してから既に一年余りが経過する中、国連のイラク査察の結果如何では、米国等のイラクに対する攻撃も具体化する情勢にあります。

こうした中、イスラム原理主義過激派などの国際テロ組織が米国大使館をはじめとする米軍施設等の米国民権益、軍事行動参加国権益のみならず日本権益をターゲットとした国際テロ事件を引き起こすことが懸念され、一瞬たりとも警戒をゆるがせにできない状況にあります。

また、極左各派は海上自衛隊の艦船派遣延長に強く反発し、自衛隊及び米軍施設に対するゲリラ事案を敢行したほか、成田空港問題に関しても対決姿勢を強めており、今後も悪質なテロ、ゲリラ事件を引き起こすことが懸念されます。

一方右翼は、日朝国交正常化交渉等を捉えて一部のマスコミや朝鮮総聯、さらには外務省などの政府関係機関に対する抗議行動を活発に展開しており、こうした行動の

中で政府、政党要人等を狙ったテロ等の違法行為を敢行することが危惧されます。さらに、自然災害に対する国民の不安感の高まりや、昨今の組織犯罪等の急増を鑑みず、本年もまた、治安をめぐる情勢は誠に厳しいものがあります。

こうした中で、警視庁がその責めを果たし、国民の期待に十二分に答えていくためには、「治安の要」となる機動隊の力量に負うところが大きいです。

警視庁機動隊は、「国民のための警察」を基本理念に、治安維持の最後の砦たる自覚と誇りを堅持しつつ、都民、広くは国民の「安全と安心」を確保するため、治安警備、災害警備、雑踏警備はもとより、総合的な犯罪抑止対策を推進するための盛り場対策等の諸活動を強力に展開して、必ずや都民、国民の期待に答えてくれるものと確信しております。

機動隊員等を励ます会会員の皆様には今後とも機動隊員等に対する一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。結び、貴会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平成十五年の年頭に当たり、平素から機動隊員等に対して深いご理解と温かいご支援を賜っております会員の皆様に対し、心からお礼申し上げます。

さて昨年は、日韓共同による二〇〇二年ワールドカップサッカー大会が、全国一〇道府県において開催されました。

同大会では、天皇皇后両陛下をはじめ多数の国内外の要人が観戦されたほか、厳しい国際テロ情勢と過去のフリーガン情勢から、選手、役員、観客の安全対策や雑踏対策等日本警察の経験したことのない、まさに歴史的警備となりましたが、国民の皆様及び外国人サポーターの理解と協力を得て、テロ・フリーガンを完全に封圧することができました。

また、米国における同時多発テロ以降、国際テロ情勢が緊迫しているため、米国関連施設や原子力関連施設等の重要施設の警備に、全国の機動隊員を展開し警戒を強化したところであります。

このような厳しい情勢下において、高知県での「第五十七回国民体育大会秋季大会」一横一貫警備をはじめ、ブッシュ米大統領、金大中韓国大統領来日に伴う警衛警備、成田



年頭のご挨拶

警察庁長官

佐藤 英彦

空港暫定滑走路供用開始に伴う警戒警備等、大規模な警備が続いたためであります。この間、機動隊をはじめ全国警察が一九〇名となり取り組み、警備を完遂することができました。これと併せて会員の皆様からの温かい励ましのおかげと厚くお礼申し上げます。

本年の治安情勢は、イスラム過激派を中心とする国際テロ組織が、世界各国で大規模、無差別テロ事件を引き起こすことが十分に予想され、特に、昨年十月のインドネシア・バリ島での多数の死傷者を出した爆弾テロ事件の発生は、東南アジアにおける国際テロの危険性を現実のものとし、我が国における国際テロ対策の重要性を再認識させるものとなりました。

一方、国内の極左暴力集団は、有事法制、成田問題に取り組み、その過程で、テロ・ゲリラ事件を引き起こすおそれがあり、また、右翼は、靖国神社参拝問題、北朝鮮問題等時局問題に敏感に反応して、テロ等の重大事件の発生が懸念されるなど、警備情勢は、引き続き厳しいものと思われれます。

このような情勢を踏まえ、機動隊は、大規模災害等突発重大事案の発生に備え有事即応体制を確保するとともに、引き続き、原子力

関連施設等重要施設の警戒警備に従事するほか、その専門能力を生かして各種事案に迅速的確に対応するため、銃器対策部隊、NBCテロ対応部隊、爆発物処理班等の機別別部隊の充実強化に努めて参ります。加えて、街頭犯罪及び侵入盗等の国民が身近に不安を感じる犯罪の発生を抑制するため、積極的に街頭活動を行うなど、正に機動隊は、警察活動に欠くことのできない重要な役割を担っているのです。

本年も、複雑、多様化する社会情勢や国民の要請に対応するため、集団警備力や専門的能力を有する機動隊の重要性は、ますます増していくものと思われれます。いついかなる状況においても「国民のための警察」という原点を見失うことなく、迅速的確に対処し得る体制作りをさらに強化し、真に国民の要請に応えられるよう努めて参りたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、今後とも全国の機動隊員等の一層のご支援、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴会をますますのご発展と会員の皆様のご多幸を心からお祈りして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2003年新春

本年も宜しくお願い致します

励ます会より年頭のご挨拶



社団法人 機動隊員等を励ます会
理事長 佐々木喜朗

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

二十一世紀に入つて早くも三年目の年を迎えますが、年を追って内外の諸情勢は一段と緊迫と混沌の度合を深め、我が日本国のみならず世界中の人類にとって果たして明るい世紀が展望できるのだろうか、私はやや懐疑的な思いに陥らざるを得ません。

世界的情勢はグローバル化の潮流の中、米国中心のアンングロアメリカ文化が席捲し、あらゆる分野で米國一極支配構造が浸透しつつあります。米国に対するイスラム勢力の反撥が、イラク問題、イスラエル・パレスチナ紛争、テロ組織アルカイダの暗躍といずれも深刻な形で顕れており速やかで円満な解決は至難な状況であります。翻つて我が国内に目を向けると、「失われた十年」の言葉の通り政治、経済、一般社会とも迷走状態で各分野にわたり外国勢力の侵食が目立ち、国民は嘗ての自信と誇りを喪失しつつあります。期待された小泉政権の構造改革路線も政策遂行の優先順位が定まらず具体的成果が一向に得られません。大衆迎合主義の掛け声ばかりではないかという批判も露になつてまいりました。



社団法人 機動隊員等を励ます会
相談役 鈴木 實

新年あけましておめでとうございます。

国際テロの脅威が高まる状況の中、昨年は、日韓共同でのワールドカップサッカー大会が開催されました。平和の象徴であるスポーツイベントであるからこそ、テロ集団・フーリガンは、そこに騒乱の照準を合わせて事件を起こすことが十分に予想されました。しかし、機動隊員等の皆様が、各国警備陣との国際連携を果たしながら、その重要警備を完遂されたことで、日本国民のみならず、全世界の人々に平和の喜びを与えられたことに感謝の念はつきません。

私は一九三〇年（昭和五年）生まれで終戦時には十五歳（中学四年生）でした。従つて戦前及び戦時中の生活と教育を経験した人間です。そして戦後から五十七年経過したわけですが、今日の日本の社会を觀察して痛切に感ずることは、国民の気質、倫理観が余りに様変わりし、個人の利益のみを追求する風潮が目立ちます。個人中心の発想、生き方の総てを否定するものではありませんが、伝統的な日本文化である集団主義、平等主義とグローバル化の流れの中の個人主義を良く融合させた新世紀の新しい日本の価値観の創造が必要であり、特に国境を越えたグローバル化の中で国家の存在、役割の重要性を再認識すべきであります。国民一人ひとりが自分と社会、国家との関わり方を真剣に再考すべき時期と思ひます。

凶弾に倒れた米國ケネディ大統領の就任演説の有名な一節「国家が諸君のために何をしてくれるのか、と問うなかれ。諸君が祖国のために何を成し得るのか、と問たまえ。」この気概に満ちた格調高い言葉は、今の我々日本人こそ噛みしめるべきではないでしょうか。新年のご挨拶としては些か場違いを取らせて済み、日頃の私の感懐の一端を申し述べさせて頂きました。国家の秩序を守る為、日夜献身されている機動隊員を始めとする警察官の皆様に心からの敬意を込めて、（機動隊員等を励ます会）は本年もさまざまな支援活動を続けさせて頂きます。

政治・経済情勢が混沌の度を深め、あらゆる年代の人にとつて未来が不透明に感ぜられるようになってしまつて、現在の日本国を活性化させるためには、国民の精神的な健全性と、何よりもその基盤となる治安の確保が必要であります。今、これまでになく本会の主旨を理解し、機動隊員等の皆様を支援することの重要性を、会員の皆様と共有し、活動として展開することをお誓ひして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

第22回千葉支部総会開催！



「この世を正す為」の大会場

本年度各地区支部総会の皮切りとなる、第二十二回千葉支部総会が十一月二十九日千葉市のヴェルシオネ若湖で開催された。当日は来賓として白戸千葉県副知事を始め、県内各自治体幹部も出席され、新任の三谷千葉県警本部長以下、機動隊員、成田空港警備隊員等多数の警察官、更に当会千葉支部有志の参加で総勢約三〇〇名と大盛況であった。

冒頭、昔支部長が「内外情勢は混沌の極みであり、治安の維持のため警察官の任務の重要性は増し、国民の期待は高まっている。空港警備隊も含めて当県の機動隊員諸君の優秀さは定評のあるところで、先頃来日した米國からの視察団も高く評価していた。我々は心の支えとして支援活動を行きたい。」と挨拶し、次いで佐々木理事長が「私は一九三〇年生まれで戦前の日本も見てきた世代であるが、あらゆる意味で戦後の日本は変わったと思う。特に国民の倫理観が変わり、個人の利益のみを追求する風潮が目立ち過ぎる。古い世代の感慨かもしれないが、自分と社会、国との関わり方を再考すべきではないか。国あつての個人だと思ふ。いささか場違いなお話ですが、国の秩序を守る立場の皆さんに期待するところ大であり、当会はさまざまな支援を継続する所存である。」と述べられた。



▲ 空港警備隊音楽隊による演奏

これを受け三谷県警本部長が「本年も四月の成田第 一 環走路供用開始、これには多くの機動隊員の汗と涙の思いがこもっている。又世界注視の中、テロ、フーリガン双方を封じ込めたワールドカップサッカー警備と多事多端だった。隊員諸君はよく頑張っている。これからもいい仕事を続けて貰いたい。」と力強くご挨拶。以下懇親会に入り打ち解けた和やかな雰囲気の中で、各部隊、及び初めの試みである「励ます会」側のそれぞれ趣向を凝らした隠し芸が披露され会場は大いに盛り上がった。特に隊員達が作り上げた人間ピラミッドの頂上に飛び入りで三谷本部長が登壇に成功、会場の大拍手を浴びた。その後「この世を正す為」の大合唱、エール交換、万歳三唱、閉会の辞と続き、熱気溢れる中お開きとなった。



白戸千葉県副知事



千葉県警察三谷本部長



▲ 熱気溢れる会の最後は万歳三唱で

はげましの輪

～2002年 機動隊の重大警備～

二〇〇二年も機動隊員をはじめとする警察官の方々が活躍しました。
ブッシュ米国大統領警護警備にはじまり、日韓共催ワールドカップサッカー大会の大警備、第五十七回国民体育大会秋季大会等々、数えきれないほどの重要警備で活躍しました。隊員たちは、いついかなる時でも出動し、多くの重要警備に携わり、我々国民を守っているのです。

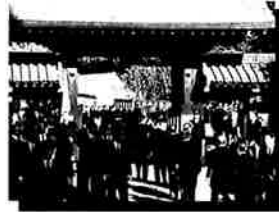
2002年 重大警備

- 1月17日、アフガニスタン復興支援国際会議に伴う警備
- 1月19日、ブッシュ米国大統領夫妻一行来日に伴う警備
- 1月21日、ブッシュ米国大統領夫妻一行来日に伴う警備
- 1月22日、ブッシュ米国大統領夫妻一行来日に伴う警備
- 4月14日、成田空港暫定滑走路供用開始に伴う警備
- 5月19日、沖縄復帰30周年記念式典に伴う警備
- 5月31日、2002ワールドカップサッカー大会開幕式に伴う警備
- 6月30日、第53回全国植樹祭に伴う警備
- 6月4日、第53回全国植樹祭に伴う警備
- 6月23日、沖縄全戦没者追悼式に伴う警備



高田宮憲仁親王殿下「斂葬の儀」

十一月二十一日に四十七歳で亡くなられた高田宮さまの本葬にあたる「斂葬の儀」が二十九日東京都文京区の豊島岡墓地で行われた。
葬列は赤坂御用地の高田宮邸から豊島岡墓地までの約十二キロメートルを午前九時過ぎにご出発され、高田宮さまが勤務されていた港区の国際交流基金前



▲一般参列者も続々と



▲殿下をお見送りする多くの奉送者

や宮内庁職員が整列した皇居前をゆっくり進んだ後、午前九時三十五分に同墓地正門に到着した。なお、沿道には奉送者約三三〇〇人の入出があった。
警視庁では、「斂葬の儀」の警備のため沿道等に、約二五〇〇名の機動隊等警察官を配置し、警戒に当たったが特異な取扱等もなく、無事警備を完遂した。

- 6月30日、金大中韓国大統領来日に伴う警備
- 7月2日、警備
- 10月13日、成田空港反対全国総決起集会に伴う警備
- 10月25日、第57回国民体育大会秋季大会に伴う警備
- 10月27日、第57回国民体育大会秋季大会に伴う警備
- 11月16日、第22回全国豊かな海づくり大会に伴う警備
- 11月19日、第22回全国豊かな海づくり大会に伴う警備
- 11月26日、高田宮憲仁親王殿下葬去に伴う警備

編集後記

二十一世紀も早くも三年目の年を迎えます。前途に曙光の見えない厳しい状況が続きますが、希望を持って、前向きな姿勢で過ごして行きたいものであります。
当会の運営、「はげまし」の編集方針等、読者の皆様のご理解と御意見を伺いたく存じますので、お手紙、メール、FAXなどでもよろしいのでお便りお待ちしております。
「励ます会」事務局

* メールアドレス: okugawa@hagemashi.com
* FAX : 03-3733-9072
* 郵便送付先 : 〒144-0055 東京都大田区仲六郷4-32-5十鈴ビル2階

機動隊員等の皆さんは実際の警備だけでなく、各種大会でも活躍しています。これらの技と体力が警備活動で活躍する秘訣なのかもしれません。

平成十四年度 術科大会 警視庁全種目優勝!

去る九月十九日日本武道館において、柔道大会が、翌二十日には剣道大会が開催された。また、十一月二十八日には逮捕術、けん銃大会がともに警視庁術科センターにおいて開催された。

これら各種大会は、三グループに分かれて戦い、多くの機動隊員が活躍した。結果は以下の通り。

柔道優勝	1部：警視庁	2部：愛知	3部：岐阜
剣道優勝	1部：警視庁	2部：兵庫	3部：岐阜
逮捕術優勝	1部：警視庁	2部：広島	3部：和歌山
けん銃優勝	1部：警視庁	2部：岡山	3部：福井

なお、警視庁は十四年振り二度目の全種目優勝を飾った。

本年もよろしく
お願い申し上げます

佐々木喜朗 (株)テクノ・タジマ

鈴木 實 東海レベラー鋼業(株)

青山特殊鋼(株) 豊田通商(株)

(株)エース電研 松田鐵鋼(株)

岡 部 (株)宮崎製鋼(株)

関東銑鉄(株) 内外運輸(株)

草野産業(株) 藤田金屬(株)

芝本産業(株) 大川トランスティル(株)

スカイコート(株) 三星金属工業(株)

平和農産工業(株) 自見産業(株)

(株)カノークス 豊鋼材工業(株)

新日本製鐵(株)名古屋支店 (社)機動隊員等を励ます会

東北支部

CONTENTS

- P1 初もうで雑踏警備 各地で機動隊出動！
第29回大阪支部総会開催！
第26回中国支部総会開催！
- P2 警備事象にせまる「年末年始 機動隊の活動を追跡！」
- P4 Member's Lounge 「ゴルフ上達の秘訣」渡辺 司氏

発行所 機動隊員等を励ます会
社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0055 東京都大田区仲六郎4-32-5
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会費の中には購読料を含む)

はげまし

Jan.2003 No.342

For the Riot Police
& Members

年末年始の警備万全に 各地で機動隊出動！

平成十五年の年がめでたく明けた正月三日。全国各地で主な神社、仏閣への初詣の人は、昨年より一三二万人多い八六二二万人に上った。また、行楽地への入出は、昨年より二万人少ない四四四万人だったが、新年を祝い楽しむ人々で全国各地は賑わいをみせた。

初詣の入出が最も多かったのは、昨年に続き明治神宮（東京）で三〇〇万人。次いで成田山新勝寺（千葉）、川崎大師（神奈川）、伏見稲荷大社（京都）と四位までの順位は昨年同様だった。冷え込みが厳しかった関東では、減少するところが多かったが、昨年大雪にたられた中部地区などで増加が目立った。

全国の機動隊は、正月三日には神社、仏閣、行楽地等に出勤し、夜間の冷え込みの厳しい中、不眠不休の警備で雑踏事故防止にあたった。

万全な警備体制で事故の発生を防ぐことができ、平穏無事に新たな年を迎えられたことに感謝したい。



今年も多くの人で賑わう明治神宮境内

…初もうで全国の人出…

順位	神社名	所在地	人出(万人)	増減
1位	明治神宮	(東京)	300	▲-15
2位	成田山新勝寺	(千葉)	265	▲-19
3位	川崎大師	(神奈川)	260	▲-20
4位	伏見稲荷大社	(京都)	240	▲-10
5位	熱田神宮	(愛知)	218	▲+52
6位	住吉大社	(大阪)	211	▲-21
7位	太宰府天満宮	(福岡)	200	▲+2
8位	鶴岡八幡宮	(神奈川)	185	▲-14
9位	大宮氷川神社	(埼玉)	184	▲+1
10位	浅草寺	(東京)	183	▲+4

第二十九回 大阪支部総会開催！

二〇〇二年の締めくくりに活気に溢れた支部総会が全国各地で開催されました！
二〇〇三年もまた隊員と会員の輪が広がっていくでしょう！

十二月九日、第二十九回大阪支部総会が大阪商工会議所ビル「ニューコクサイ」で開催された。冒頭、挨拶に立った当会木村大阪支部支部長は「年末、諸事多忙な中、警察官各位又、会員各位に多数御出席頂いたことを、支部長として感謝申し上げたい。昨年の九・一一テロ以降、世界の情勢は一気に緊迫し困難な警備事象が頻発、またワールドカップサッカーに関しては、大阪地区が警備の中心になった観があったが、各事象とも見事に完遂、日本警察の素晴らしさ、底力を内外に示して頂き我々も誇らしく思っている。国民の安全を守る治安の最後の砦として益々の活躍を期待すると共に、当会は感謝の気持ちを忘れずに支援を続けていきたい。」と挨拶。次いで府警鎌原本部長が「機動隊員諸君のこの一年の活躍は大坂府下にとどまらず、全国



へのお礼状にまで及びまことに八面六臂であり大いに感謝している。又、スポーツの方もラグビーの関西社会入りバレーの府警選手による世界新記録樹立等活躍した。高い士気と強い団結力での活躍を来年も期待するところ大である。「励ます会」の皆様の日頃の御支援を深謝し、益々の御機嫌を祈念させて頂きたい。」と力強く挨拶された。

当会佐々木理事長からは「個人の利益ばかりを追求する風潮が目立つが、総ての個人が拠り所とするものは国家である。我々日本人は国家の役割を再認識すべきであり、国家の秩序維持に日夜腐心する警察官の皆様を尊敬するし、どうも誇りに持って職務に精励して頂きたい。」と激励の言葉が述べられた。懇親会ではトラクション等相気調々と進み、最後に会場全員で声高らかに「この世を花にするために」を大合唱し、武田理事の力強い音頭による万歳三唱で盛況の内に閉会となった。

第二十六回 中国支部総会開催！

十二月十六日、中国支部総会が広島島日空ホテルで開催された。出席者全員による「君が代」斉唱の後、横溝支部長が立ち「昨年九月十一日、支部総会が終了した直後、米国同時多発テロが勃発したことを思い出す。開催日が一日遅れれば果警察機動隊員の皆さんも緊急配備に入りおそく総会が中止されていたであろう。あれから一年有余が経過し今夜、再び一堂に集うことが出来、誠にうれしい思いで一杯である。この五月に公開された映画「突入せよ！あさま山荘事件」を鑑賞した。警察内部のセクシヨナリズムを誇張した描写も見られたが、人の命を助ける為総てを犠牲にする警察官魂に感動すると共に、この映画を見て警察の職務を理解し支援して行くという人々が増えることを確信した。今日は日頃の厳しい訓練を忘れて、大いに英気を養って頂きたい。」と力強く挨拶、次いで佐々木理事長が「昨年は台風の為飛行機が欠航し、総会に出席出来ず大変失礼した。最近、折にふれ発言しているのだが、グローバル化の流れの中で国家の存在、役割を否定し個人の利



害ばかりを重視する風潮が目立つ。二〇〇〇年の長い歴史の中で培われてきた日本人の連帯感、倫理観が薄れてきたのは、日本衰退の兆候とも見て取れる。歴史学者トインビーによれば、栄耀栄華を誇ったローマが滅びた原因は、外敵の侵入によるのではなく、ローマ人の連帯感の喪失、道徳の腐敗という内なる崩壊要因が引き金となりプロレタリアートが外部勢力と結んで蜂起したからとのことである。一昔前にベストセラーになったイザヤ・ベンダサン氏の「ユダヤ人と日本人」の中で、日本人は空気と安全は只だと思っている。安全に対して高いコストを払っているユダヤ人からみて、日本人の安全へのコスト意識の欠如が懸念されると指摘している。今日の日本の実情に繋がる鋭い洞察と思うが、国家の秩序、治安の維持の最前線に立つ機動隊員皆様にはその職務の重要性につき、益々誇りを持って職務に励んで頂きたい。」と激励。これを受けて、益原管区警察局長、竹花県警本部長がごともに警察が国民、県民の付託に応えて行動して行く決意と「励ます会」の支援に対する感謝の意を表明された。

堀口理事の音頭で乾杯を行ない懇親会に入り、剣道高段者による演舞、カラオケ大会等多彩なアトラクションが繰り広げられ最後に、参加者全員で「この世を花にするために」を大合唱、中野理事の音頭による万歳三唱で大盛況の内に閉会した。

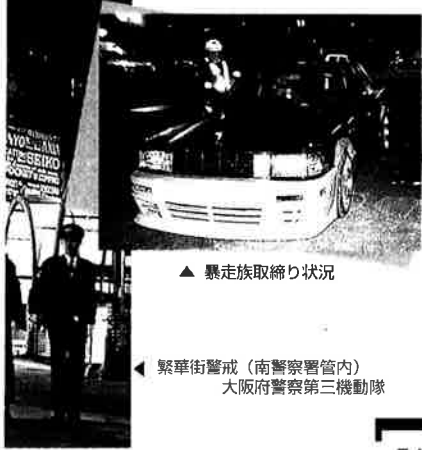
年末年始

多角的運用部隊の強化!

リリース 備事象にせまる

機動隊の活動を追跡!

我々国民に身近な犯罪が増加する今日、国民の多くは犯罪に対し何らかの不安を持って生活しています。近年、来日外国人犯罪や少年非行が深刻化し、犯罪情勢は厳しさを増しています。特に一年の中でも犯罪が多発する年末年始、日本警察は犯罪防止に対し、取り組みを強化しています。集団警備力という強みを活かし様々な警備に従事し活躍している機動隊の年末年始の活動はどのようなものなのでしょうか?



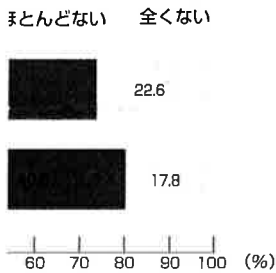
▲ 暴走族取締り状況

◀ 繁華街警戒(南警察署管内)
大阪府警察第三機動隊

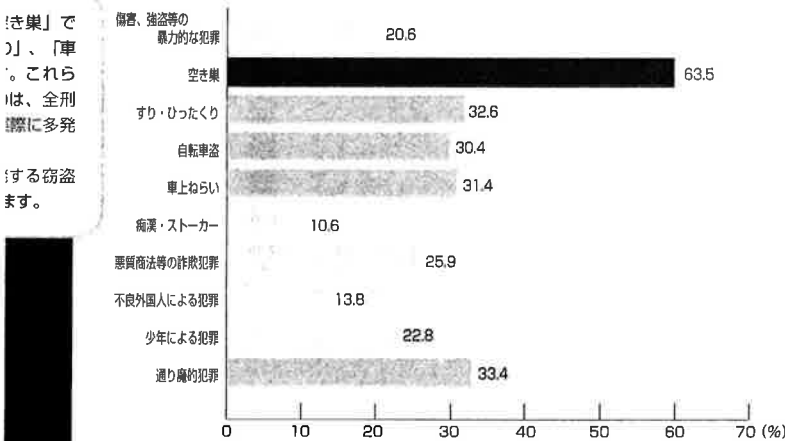
不安感が増している!

厳しさが増す犯罪情勢の中、治安についての我々国民の抱く不安感はますます募っています。

〔財〕社会安全研究財団により実施された「犯罪に対する不安感等に関する世論調査」において「自分が犯罪被害に遭いそうな不安を感じるかどうか」住民に質問したところ、「不安を感じる(よくある、たまにある)」者の割合は41.4%、「不安を感じない(ほとんどない、全くない)」者の割合は58.3%という結果に。これは平成9年より「不安を感じる」者の割合が高まっています。



我々国民が不安を感じる犯罪は?



〔平成14年警察白書(平成14年9月実施全国調査)より〕

このように、我々国民の多くは日常生活において犯罪に対し、何らかの不安を持って生活しています。実際に多発しているこれらの犯罪は「人・金の動きの多い年末」になると特に多く発生します。ボーナスが出るため、銀行や郵便局での犯罪や忘年会などで盛り上がっている繁華街、多くの人で賑わうバーゲン会場、JRや私鉄の私服警乗等々…犯罪が多発する年末には機動隊は警察各部門と連携し、一般犯罪でも活躍し年末警戒を行っています。



厳冬の中、深夜まで徒歩の集団パトロール 皇下一斉夜警出動を終えて

福岡県警察機動隊

去る十二月二十日、福岡県下で歳末防犯のための一斉夜警が実施された。我が第一機動隊からも三十名の隊員が中央、博多両警察署に特別派遣され、「金太郎部隊」として繁華街の集団警らに従事した。

当日は、出陣に際し、柳沢本部長と江副県公安委員長の督励を受けた後、年の瀬の買い物客や仕事帰りの人々で

混雑する西鉄福岡駅(天神)周辺や、酔客でにぎわう九州最大の歓楽街・中洲を中心に、深夜まで徒歩による集団警らを実施し、街頭での犯罪・トラブル防止に目を光らせた。

厳冬の中での勤務ではあったが、それ遣う市民からの「頑張ってください。」という激励や派遣先の幹部からは「さすが一機だ、キビキビしているな。」という言葉も頂き、また報道関係者も、「一機」腕章を見るや同行取材を申し込んでくるなど、我が第一機動隊に対する期待の大きさを覚えることができ、寒さも吹っ飛ば一夜となった。

福岡県警察機動隊 中西 啓喜

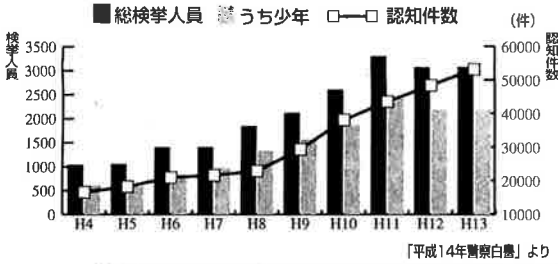


▲ 繁華街の集団警らは深夜まで続く



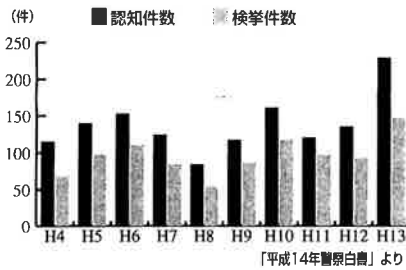
▲ ひったくり警戒 (枚方警察署管内) 大阪府警察第一機動隊

ひったくりの認知・検挙状況の推移 (全国)



ひったくりは、東京、大阪、名古屋等の大都市圏を中心に発生しています。特徴としては、高齢者や女性が被害対象となることが多く、強盗等の凶悪犯に転じる事例もみられます。検挙人員のうち少年が7割前後を占め、遊興費欲しさに軽い気持ちで敢行している例が多いようです。

金融機関対象の強盗の認知・検挙状況の推移 (全国)



▲ 金融パトロールで郵便局員に協力を求める

初日の出暴走など、特に大規模な集団暴走の取締りに際しては、機動隊を投入。暴走行為を封止して取締りを徹底しています。



大阪府下の街頭犯罪情勢は、昨年比へ減少傾向は示しているものの、依然高い水準で発生しており、特にひったくり事案については、二十六年連続全国一という厳しい状況が続いている。こうした情勢から、大阪においては、ひったくり事案等が多発する警察署管内に連日、各機動隊を交代で派遣し、検挙・抑止活動にあたっている。

あわせて年末年始の警戒警備活動として、粗悪犯などが多発するキタ、ミナミなどの盛り場にも夜間帯、機動隊を派遣し、集団警備力をもって各種犯罪の予防・検挙、交通指導取締りにあたるとともに「安全で安心なまちづくり」に活躍している。



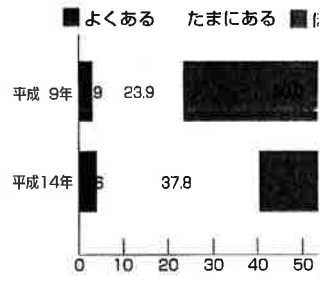
▲ 繁華街駐車取締り (天満警察署管内) 大阪府警察第三機動隊

大阪府警察機動隊

全国一ひったくり事案が多発する大阪府 ひったくり検挙・抑止活動の強化!



我々国民の不安感の度合いは?



我々が最も不安に感じている犯罪は「空次に「通り魔的犯罪」、「すり・ひったく!」上ねらい」 「自転車盗」と続いています。上位のうち「通り魔的犯罪」を除くもの法犯認知件数の42.2%を占めるほど、まっています。我々国民は、日常生活に身近な場で多発犯に最も不安を感じていることがわかり:

侵入盗の中でも、ここ1,2年で急に目立つようになったのがピッキングを使用したもの。検挙人員の約7割が中国人であり、組織的に犯行を重ねています。

師走の街の犯罪防止対策

昨年12月には金融機関を狙った強盗事件発生!

山口県警察機動隊

本県の機動隊は、県都山口市東部の静かな農村地帯の小高い丘に位置しており、周辺の閑静な環境を利用して、連日、集団警備力の中核部隊として、また、機能別部隊のプロジェクトとして、厳しい訓練に励んでいます。特に近年の国際テロ情勢や凶悪犯罪の多発により、各種訓練に励む隊員の姿にも「最後の砦」をさらに堅固なものにしてやろうとする意気込みと緊張感が感じ取られます。

ところで、機動隊の治安出動回数は減少傾向にありますが、反面、潜水出動や暴力団事務所への捜索など機能別部隊として、あるいは、一般警察活動としての活動は年々増加傾向にあります。昨年十二月には、金融機関対象の持込強盗事件の発生により、隊員が、連日関係警察署に出動し、師走の街の犯罪防止と地域住民の安全を確保するためパトロールを行いました。隊員も住民の視線が左腕の「機動隊腕章」に注がれている事を知り、その任務の重さを痛感したようです。今後も機動隊の持つ能力をあらゆる分野で発揮して、県民からの期待に応えていきたいと考えております。

山口県警察機動隊 藤本 哲夫

多くの隊員が県境検問で新年を: 初日の出暴走取締り

昨年十二月三十一日から一月五日までの間、関東管区機動隊のべ約四五〇名が山梨県へ派遣、その他の県は自県対応で暴走族の対策に機動隊が従事した。昨年より道路交通法など条例、罰則が厳しくなったため、初日の出暴走族が減ったという。

警備の仕方も変わってきている!?

人出が多く混雑するところ、人ごみを警備する雑踏警備 年末年始には一面でも取りあげた「初もうで雑踏警備」がありますが、機動隊はその多くを雑踏警備に従事しています。混雑が予想される場所での警備は今までは警官は声を張り上げ手を引き...という警備を行っていましたが、警備も工夫され、色のついたロブや光など装備資器材を使って人の流れをうまく確保するような警備が進められています。



明治神宮

Member's Lounge

講演会録

ゴルフ上達の秘訣

2002年ゴルフフジシズンの掉尾を飾る、鹿角島・指宿でのカシオワールドトーナメントで日本選手最高順位3位に入ったのが渡辺司選手。今月はオーストラリアの技術とスマイルな容姿、バランスのとれた人柄で中高年の高い選抜選手を超越して、中身の高いスイング、ゴルフの熱心が高いついて楽しく話を伺いました。



12月のゲスト
わたなべ つかさ
渡辺 司氏
プロゴルファー

プロフィール

1957年生まれ 日本一高出身 高校時代は野球部
17歳でゴルフを始め、1981年24歳でプロ転向
1982年のダンロップ国際トーナメントでツアーデビュー

主な成績

- 1993年 サンコグランドサマー優勝
ダイワインターナショナル優勝
- 1994年 よみうりオープン優勝
- 1991年世界選手権、1994年プレジデントカップ、
1995年、1997年、2000年ダンヒルカップ代表
師匠は青木功選手。得意クラブ ドライバー
177cm、67kg

1 プレッシュヤーの掛かる経験を積もう

私の師匠は青木功選手であるが、技術的には全く参考にならない人である。専門的にはインサイド(体の後ろ側)からクラブが出てくるので、プッシュアウトの危険があり、それを防ぐ為に手首を返さなければならぬが、返しのタイミングが難しく失敗すれば引つ掛けボールとなる難易度の高いスイングの持ち主である。おまけに前屈みで背中を丸め、手首は折れるフラインジシユはきつとらない。要するにアマチュアがやってみてもいけないことだらけのフォームで青木さんだけが体得しているものなのである。我々が質問しても答えがロジカルでなく、「理解出来ません」と食い下がると、「目でみて覚えろ」と突き放される次第であり、他人には真似の出来ない、又真似をしてはいけない「名人」が青木さんである。

2 新聞、雑誌のレッスンは役に立たない

ゴルフ雑誌、スポーツ新聞等ゴルフ技術に関するレッスンは毎日山程掲載されており、熱心に読んでおられる方も多く、誤解を恐れずに敢えて申し上げれば、記事は総て正しいが皆さんの技術向上には殆ど役に立たないと思ふ。何故ならば治療法に例えれば、これらの記事は診察ならに治療法のみを書いておられるので、勿論人夫々の考え方があり、他のプロが雑誌の技術指導記事等を執筆していることを批判する気持ちは更々ない。飽くまで私の考えとして皆さんの技術向上のためには、練習場のレッスンプロに付いて、よく症状を診察してもらうことが効果があると思ふ。

3 「ボールを見る、頭を動かす」が進歩を妨げている

誰でも羨望するのはいいものである。それはボールがないのでそこをじつと見詰めて、振りだした場所を振り抜いていくだけであるから、振りはいい。従って振りだした時にボールが置かれている状態で、頭の練習時にボールの位置を色々修正し何も考えずに気持ちよくピュッと振った時クラブヘッドが通る場所を見つけて打ちに行くのではなく、スイングが正しく機能するボールの置き場所を捜すということである。もうひとつ大切なのは重心の移動

4 質疑応答

1. 膝を曲げずに立つたら肩が長く廻り尻を突き出し、背筋を伸ばして立つと立つセツアップは正しい。アメリカのプロは体型が元々そうなっているが、これは股関節と骨盤の角度が日本人とは違うためであり、日本人は意識して普段からそういう姿勢を心掛けた方がいい。
2. 飛距離を落とさない為のトレーニングは？
全体の筋力を引き上げる方法と弱い筋肉を鍛える方法があるが、中高年には弱い筋肉を強化するトレーニングが効果的である。体と合わせて筋力をバランスをとって機能させるものであり、こゝ一番という場面ではアドレナリンが出過ぎると俗にいう「火事場の馬鹿力」で強い部分の筋力が使われて全体が弱くなる。皆さんは先ず筋力の弱い部分を調べ、そこを重点的に鍛えて頂きたい。多くの場合中高年は、下半身が弱っているのが散々、ジョギング、階段登り等が効果的である。
3. 今、プロゴルフ界は科学的？
トレーニングが主流と感したが？
全くその通りである。最早職人の世界ではなく、多くのプロゴルファーは用具、トレーニング等各分野の専門家と接し、かつ契約を結ぶ。他のスポーツ界も同様だが、昔の根性論は廃れ、科学的な根拠に基づいたトレーニングが取り入れられている。
4. 乗用カート使用は是非
海外のリゾートゴルフ場は人件費等コストダウンのためカート使用の多いコースが圧倒的に多い。日本でもアップダウンの多いコースやレイアウト上カートから次のティーグラウンドへの間隔が長いコース等で乗用カートが使われるが、乗用カートの使用は問題ないと思う。ただカートに乗っている間に姿勢が悪くなるので降りたら、ただちに意識して胸を張り、腰を突き出して歩くべきである。
5. 外国一流トーナメントプロの強さはどれほど？
タイガー・ウッズの強さだけは桁外れである。エルス、デューバ、ミケルソン、ガルスン等の超一流プロの実力を野球の三冠王に例えれば、打率3割5分、ホームラン50本、打点100とすれば、ウッズのそれは、6割、150本、300打点というレベル感で、彼の強さだけは、日本選手がどんなに努力しても追いつけない別次元の存在である。他の超一流選手に対しては、日本でも丸山、伊沢、片山クラスなら時にはいい勝負も出る。1努力次第で追いつくことも可能であるが、日本のトップクラスと同等のレベルの選手がアメリカには少なくとも200人おり、層の厚さが全く違うという。なおウッズのところが強いからという、飛距離だけなら、ウッズ以上の飛ばし屋は全米に10人はいるが、彼は他の選手と比べ距離感が殆ど信じられない程正確なところが飛び抜けている。
6. 練習場ではいい球を打てるが、本番がさっぱりなのだが？
多くの人がそうである。練習場でのスイングを写真、ビデオに撮ってみるのが効果的である。前方、後方、右方向からみて、姿勢とボールの位置を重点的にチェックすべきである。そしていい姿勢といふボールの位置を忘れずに本番で再現するように心掛けて頂きたい。
7. 最近一時期はやった長尺クラブが？
減っている傾向に見えるが？
プロの世界でも確かにシャフトは短くなりつつある。有名な杉原さんの48インチも無理があった。最近長尺は長くても45インチ、伊沢選手は44インチである。これは失張りシャフトが短い方がミート率(芯に当たる確率)が高いからであり、特に近年シャフトの長さに頼らなくてもヘッド部分につき大容積とか高反撥とか色々技術開発されているからである。

編集後記

グローバル化は二十一世紀のキーワードであるが、犯罪発生も国境の垣根が取り払われ、外国人の凶悪犯罪増殖現象は、目を覆うばかりである。例えは新宿歌舞伎町の盛り場も今や、中国人暴力団組織が支配しつつある。率直なところ、我が国が我が家に踏み込んで来た機嫌、何とも不愉快な気分になる。徒に外国人を排斥しようという立場に立つものではないが、外国人犯罪者からは、日本は「犯罪者天国」と甘く見られていないだろうか。
先ず水際での出入管理の強化が必要であるが、警察の対応が、取り調べ方法、留置場での処遇等々総てにおいて諸外国に比しソフトで、そのことが、外国人犯罪者を増長させる大きな原因では否めない。警察は恐れず、敢えて手をとれば、彼らに対し、警察は持つ力をもっとフルに発揮し、「日本の警察は厳しい」と思わせることも必要ではなかろうか。
【励ます会】事務局

- 努力と実績 信頼の機動隊
- 東 鋼 業 (株)
- (株) エース電研
- (学) 嘉悦学園
- (株) エステック
- 杉 尾 榮 俊
- 中 京 製 線 (株)
- 東 海 鋼 材 工 業 (株)
- 宮 崎 精 鋼 (株)
- 太 陽 シ ャ ー リ ン グ (株)
- 堀 口 海 運 (株)
- 新 潟 鋼 機 (株)
- 不 動 鋼 板 工 業 (株)
- 豊 鋼 材 工 業 (株)
- (社) 機 動 隊 員 等 を 励 ま す 会
- 東 北 支 部

CONTENTS

- P1 「アジア冬季競技大会」警衛警備 無事完遂！
重大事件の未然検挙～監禁事件被疑者として逮捕！
警備部武道始式開催～柔剣道ともに一機が制覇！
- P2 特集「平成14年度 全国優秀機動隊員～ハワイ視察記」
- P4 Member's Lounge 「今、何故、[コーポレート・ガバナンス]なのか？」 細野 祐二氏

発行所 機動隊員等を励ます会
 社団法人 144-0065 東京都大田区仲六郎4-32-6
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
 (但し会費の中には購読料を含む)

Feb.2003 No.343

はげまし

For the Riot Policemen & Members

『第五回アジア冬季競技大会』を終えて

～青森県警察～



厳しい環境をもとめせず警備する隊員

アジア冬季競技大会 警衛警備無事完遂



世間が注目する中心の大会開催

二月一日から八日までの八日間、第五回アジア冬季競技大会が開催された。今大会はアジアの二十九の国と地域から一〇四三人の選手役員が参加する本県初の国際スポーツイベントであり、かつ、北朝鮮が開催直前に十三年ぶりの参加を表明するなど、世間が注目する中で大会開催となった。

同大会には、天皇陛下のご病氣（入院・手術）のため皇太子殿下が御

二月一日から八日までの八日間、第五回アジア冬季競技大会が開催された。今大会はアジアの二十九の国と地域から一〇四三人の選手役員が参加する本県初の国際スポーツイベントであり、かつ、北朝鮮が開催直前に十三年ぶりの参加を表明するなど、世間が注目する中で大会開催となった。

同大会には、天皇陛下のご病氣（入院・手術）のため皇太子殿下が御

○適切な交通諸対策の推進
 ○御身辺の絶対安全確保
 ○歓迎者の雑踏等による事故防止
 ○行啓日程及び関連行事の円滑な進行の確保

基本方針として、その実施にあたっては「皇室と国民の親和」に配慮し、情勢に応じた自然で合理的な警衛警備を推進することとし、県警察の最重点課題として総力を挙げて諸対策に取り組んできた。

皇太子同妃両殿下には愛子親王妃殿下ご誕生後、初めて青森県へ行啓されることから、多数の歓迎者による混雑が予想され、雪道等での雑踏事故防止の徹底が図られた。さらに厳しい国際テロ情勢から多数の選手や観客が集まる各会場の入場の際には、スピーディ、かつ、徹底した所持品検査が求められるなど警備は大変厳しいものとなった。

しかし、特別派遣された北海道警備隊、東北・関東管区機動隊等をはじめ、最大二〇〇〇人の警備隊は、県特有の雪道対策や防寒対策等厳しい環境をもとめせず旺盛な勤務意欲のもと、無事警衛警備を実施し所期の目的を達成することができた。

青森県警では平成十二年の行啓以来、大規模な警衛警備に従事していなかったが、今回の行啓に伴う警衛警備完遂を期に、今後の県警察の業務推進に大きな自信を得ることとなった。

私は、警視庁第九機動隊で通称MIM (Mobile Investigation Team of Mobile Unit) と呼ばれる遊撃捜査部隊で勤務しております。MIMは、ひたすら、ピッキング等の犯罪検挙を目的とし、秘匿性・機動性を生かした捜査車両部隊です。

一月二十三日、相動員の田中隊員とともに小岩警察署に派遣され、二名一組の密行捜査に従事し、「連れ去り容疑事案発生……」との一〇番指令を受けました。直ちに逃走方向へ急行し、検索をしていると対向車線を進行してくる手配車両を発見しました。

私は、無我夢中で無線報告すると同時に相動員と声を掛け合いつつ事故防止に留意しながら追跡したところ、約一・五km程のところ得手配車両は停止しました。

その車両には暴力団員風の男五名と被害者らしい女性一名が乗車していました。私は、胸の高まりを抑えながら手配車両が逃走しないようMIM車両で進路を防ぎ、次に男らが逃走しないよう手配車両から降車させない措置をとりました。男らに対し、「関係ない」と反抗的な態度をとっていましたが、被害女性の様

監禁事件被疑者として逮捕！ 重大事件の未然検挙

子から更に厳しく追及すると、男らは觀念し犯行を認めたので応援で駆けつけた署員と協力、男五名を監禁事件被疑者として逮捕しました。

今回、遊撃捜査において犯人を早期に検挙できたのは、日頃の各種訓練、確実な無線指令の傍受、派遣先の地理に精通していた、手配車両発見時の確に逃走防止を図ったこと等、日々の努力の成果だと思えます。

今後ともこの経験を生かし、治安維持のため、たゆまぬ努力・研鑽を続けていく覚悟です。

警視庁第九機動隊 古川 連也



▲遊撃捜査において犯人を検挙した古川隊員(左)と田中隊員(右)

新春恒例の警視庁武道始式は、冷え込みの厳しい一月二十四日都内江東区新木場の警視庁武道館で、柔道、剣道両種目に夫々各隊精鋭一〇チームずつが参加し開催された。

午前八時三十分の開会式から午前中は予選リーグ、午後は決勝リーグが行なわれ六機、剣道が一機対三機の対戦となり、両種目共稀に見る大接戦でいずれも大将戦までもつれ込み、八対七という結果で第一機動隊が両種目制覇の快挙を成し遂げた。決着を賭けた大将戦では、広い館内が熱気に包まれ、特に柔道の一機は三対七の剣が峰から五ポイント連取という奇跡の大逆転であった。

なお両種目制覇は平成十年の第六機動隊以来の快挙である。閉会式では、優勝準備勝チームが表彰され、全勝者個人賞、精励賞等も授与された。次いで石川警視總監、当会佐々木理事長の祝辞、池田警備部長の挨拶が行なわれ、最後に参加者全員で「出動の歌」を力強く斉唱し、厳しき情勢の下で警備に万全を期することを心に念じつつ閉会した。



両種目ともに優勝した一機

特集

Congratulations!

～栄えある受賞～

平成14年度

全国優秀機動隊員



▲ 緊張した面持ちで表彰式にのぞむ平成14年度80名の精鋭たち

さる1月14日、警察庁において全国優秀機動隊員の表彰式が行われました！全国各地から集まった80名の優秀隊員は緊張した面持ちで表彰式にのぞみ、隊員を代表して警視庁第七機動隊 巡査部長 石橋俊彦さんに警察庁警備局長より表彰状が授与されました。



▲ 警備局長より表彰状授与

「機動隊員等を励ます会」からは、副賞の「海外視察旅行」目録を贈呈しました。当会佐々木理事長より目録の贈呈を行い、代表して京都府警察本部 巡査部長 山添繁男さんより、感謝の辞が述べられました。

今回は優秀隊員のハワイ視察旅行の様子をご紹介します。



▲ 「励ます会」佐々木理事長より「海外視察旅行」目録贈呈

優秀隊員 ハワイ視察記



▲ 写真提供 警視庁第四機動隊 中越 龍一



瞬きも惜しいくらいの感動 美しい大自然を体験！

はじめに、この度全国優秀機動隊員の表彰を受け「機動隊員等を励ます会」様からハワイへの海外視察研修の機会を与えていただき、貴重な体験ができたことに深く感謝するとともに厚く御礼申し上げます。

また、紙面をお借りし、上司・先輩・同僚の皆様に感謝致します。

さて、栃木では味わえないハワイの美しい大自然を体験できたのは二日目にトライしたスカイダイビングです。

往路の機内から親睦を深めることのできた他県の隊員と一緒にツアーに参加し、日本の富士山くらいの高さからダイブした恐怖と不安は表現できないものがありました。

降下後、パラシュートが開いてから眼下に広がる珊瑚礁の海、パイナップル畑等、ハワイ特有の美しい光景は、ハワイの大自然そのもので、瞬きをするのも惜しいくらい感動しました。

世界のリゾート・ハワイには日系の方が多くのですが、日本人のつもりで話し掛けても言葉が通じなかったり、一見、現地の方でも片言の日本語でコミュニケーションをとることができました。そして、ハワイの気候と同じく、陽気で気さくに挨拶を交わしてくれます。これには、

日本人が忘れがちな外国人に対する親切や優しさという事を肌で感じる事ができました。



▲ 現地の人は陽気で気さく

帰国を目前にした最終日には、真珠湾に所在するアリゾナ記念館を訪れました。旧日本軍が奇襲し、太平洋戦争が始まった場所です。多くの尊い命が犠牲となり、当時、日本への参戦について二分していた世論が参戦へと固まり、日本・アメリカともに多くの悲劇が生まれました。

現在はとても平和な時代でありますが、記念館を訪れた際の言葉では表現できない重苦しい雰囲気は決して忘れたいとは思いませんでした。

最後に、この貴重な体験を今後の警察人生に生かすとともに後に続く隊員のため、日々努力していく覚悟です。



栃木県警察 管区機動隊
秋山 英輔

Tochigi

Hawaii



自分の意志を正確に伝えるため 語学の必要性を肌で実感！

私は、このたび全国優秀機動隊員という名誉ある賞をいただきました。この賞を受賞できたのも上司・先輩・同僚のおかげであり、この紙面を借りまして御礼申し上げます。

また、「機動隊員等を励ます会」よりハワイ研修の副賞をいただき、貴重な体験をさせてもらったことに大変感謝しております。

ハワイ滞在中の四日間は、大変天候も良く、意気投合した仲間とスキューバダイビングを体験したりダイヤモンドヘッドやハワイアンショーを見学する等、仕事を忘れ心身共にリフレッシュすることができました。

ハワイでは、日本語でも十分通用しましたが、自分の意志を正確に伝えるには語学（特に英語）の必要性を肌で感じました。

この研修を機会に今後は、語学をもっと勉強し、仕事にも生かしていきたいと思いました。

ハワイ研修はあっという間に過ぎました



▲ 広大な海で心身ともにリフレッシュ

だが、志を同じくする各県の機動隊員と親交を深めることができ、様々な語らひは大変有意義なものとなりました。これからは、ハワイ研修で体験したことを大切にし、初心を忘れることなく警察人生に生かしていくよう努力していきたいと思えます。



広島県警察機動隊
大杉 修司

Hiroshima ➔ Hawaii



夢のような研修旅行は瞬く間に… 友情と体験を糧に職務に邁進！

この度、はからずとも「全国優秀機動隊員」という誉れ高い賞を受賞させていただきました。これもひとえに上司、先輩、同僚のおかげと深く感謝しております。

また、同時にハワイ研修旅行という貴重な機会を与えていただいた「機動隊員等を励ます会」会員皆様方に対して厚く御礼申し上げます。

一月二十日、鉛色した真冬の日本から約七時間のフライトでハワイ・ホノルル上空へ。飛行機の眼下に広がる真珠湾の光景が大変印象的で、続く入国手続は、

一昨年のテロの影響から非常に厳しいと言われていましたが、スムーズに終了。専用バスにてホノルル市内観光後、ホテルにチェックインとなりました。時差ボケにもひるまず他県隊員とワイキキビーチ界隈を軽めのジョギングで汗を流し、その後、全員が集う懇親会場へ。初対面の隊員とはいえ職務を同じくするもの同士、すぐにうち解け、大いに語らい、親睦を深め大変有意義な時を過ごすことができました。

その後、自由行動は、以前から挑戦しなかったスキューバダイビングにチ



スキューバダイビングにチャレンジ！



多くの人のふれあいを楽しみ 視野の広い国際人になるために！

私は、全国優秀機動隊員という名誉ある賞をいただき、ハワイ研修旅行という貴重な体験をさせていただきました。

私にとって初めての海外旅行は、これまでになく色々なことを体験することができました。そのひとつは日付変更線についてです。ハワイまでの七時間というフライト時間内でも夕食を済ませると、一息つく間もなく日付が変更し、すぐに朝食が出てきたのは、時差の違いをしみじみと感じました。

また、ダイヤモンドヘッドやパールハーバーなどの観光地巡りでは、ハワイの文化や自然に触れ有意義な時間を過ごし、懇親会では、各県の機動隊員と友好を深め、日常の勤務や訓練・組織等の違いを知ることができ、今後の貴重な財産となりました。

そして、この研修で一番痛感したことは「国際人」という意識です。自分なりに「ハワイは日本語の通じる場所が多く、多少英語が話せれば問題ない」と思っていました。ところが、実際に様々な国の人々と挨拶やコミュニケーションをしてみると、気が引けて思うように行動できませんでした。そこで私は、ハワイの雄大な自然

のようにもっと視野の広い国際人となるため、自ら積極的にコミュニケーションをとり、数多くの人のふれあいを楽しみました。



▲ 自ら積極的にコミュニケーションを



警視庁第四機動隊
中越 龍一

Tokyo ➔ Hawaii



長崎県警察 管区機動隊
松尾 浩晴

Nagasaki ➔ Hawaii

今回の研修旅行で全国の機動隊員と友情を深め、また、ハワイの見聞を広めることができ大変思い出深いものとなりました。

今後、この友情と体験を糧とし、全国優秀機動隊員の名に恥じぬよう職務に邁進したいと思えます。

ヤレンジし、経験者の後ろ盾のもと無事「Cカード」を取得することができました。また、親交を深めた仲間とレンタカーで島内観光をし、真珠湾のアリゾナ記念館を訪れました。壁面に刻まれた一九七七名の犠牲者の名前を目にした時、今までは、日本側から見た認識しかなかった太平洋戦争は、改めて世界平和について深く考えさせられる場所でした。

さらにオアフ島の北側海岸では、今まで見たことのない大波に驚き、ポリネシア文化センターでは、ハワイ諸島の先住民の文化等に触れることもできました。

このようにして、夢のような研修旅行は瞬く間に過ぎてしまいましたが、

Member's Lounge 講演会録

今何故「コーポレート・ガバナンス」なのかな？

「コーポレート・ガバナンス企業統治」という耳慣れない語が、我が国企業界を飛び交う様になってから、まだして間が過ぎません。流石の度を求めたなら、十年の中で、次に有名な一流企業の不祥事が明らかになって、「経営者のモラル」は何処へ行つたのかと国民の批判が寄せられました。

折からグローバル化の潮流に乗って、本國流の「コーポレート・ガバナンス」の考えが自国に上り、これと明治以来の日本の国風、企業風土にどうすり合わせるべきか、模索する経営者や経営者に対して、経営者の重要性は高まるばかりです。我が国における理想の「コーポレート・ガバナンス」の確立はまたまた実行課題の最中。

新年のゲストは東京の公認会計士、細野祐二氏をお迎えし我々が知る「コーポレート・ガバナンス」の在り方についてお話伺いました。



1月のゲスト ゆうじ 細野 祐二氏
新日本監査法人 代表社員 公認会計士

プロフィール

1953年生まれ、早稲田大学政経学部卒業
1978年 新日本監査法人入社
1983年～1985年 ロンドン事務所勤務
1990年 パートナー昇格
現在、リスク・マネージメントパートナー
倫理・独立性担当パートナー
著書、論文多数。

1 我が国「コーポレート・ガバナンス」の在り方の変遷

バブル崩壊以降、世間を揺るがす様な大企業の不祥事頻発に端を発し、この五十年程の間に企業統治の在り方が俄かに脚光を浴びるようになった。議論の焦点は監督者と業務執行者との関係はどうあるべきかと言ふ一点に尽き、より良い仕組みを求め、試行錯誤が繰り返されて来ている。

先ず日本の伝統的な取締役制度の基本精神は、英米法の考え方を背景にした経営陣による業務執行者の指揮監督、すなわち取締るといふ発想であるが、各企業の制度実態に目を向けると、例えば取引先の名刺をご覧になると判る様に多くの場合、代表取締役社長や取締役営業部長といった商法上の機関の名前と執行部の役職名が併記されており、自分が執行した業務を自分が取締ると言ふ自己矛盾を内在していることが判明する。これに對比するものとして、純粋な英米法に基づく「執行役員制度」がある。この制度では、取締役と執行役員が存在し、取締役は会社の大方針を決定し執行役員を監督することが機能であり、執行役員は業務執行のみに専念し執行状況を定期的に取締役に報告し監督を受ける立場にある。

「執行役員制度」についての詳細は後述することとして、「役員取締制度」に戻るが、この制度は本来的に矛盾を孕んでいる上に、我が国の場合、従業員の中で長年貢献してきた者が信認を得て取締役に就任するケースが圧倒的であり、その為取締役に執行部門の仲間意識が前面に出て、監督機能が益々弱まるという事態が生じている。英米法の精神に日本の文化を加わえて生まれた我が国独自の「役員取締制度」のこうした弱点を補強すべく、「ドイト」の監督制度の考え方を参考に「監督機能の強化が図られた。昭和四十九年の商法改正による「監査役会制度」での集団監督機能の採り入れであるが、これとでも監督機能の選任自体が取締役に選任された者、或いは従業員の中から惜しくも取締役に選任されなかった者の処遇として別扱いのケースが圧倒的に多く、身内同士で馴れ合いから監督機能を十分に果たすに至らず問題解決となっていないのが実態である。試行錯誤の繰り返しかつこの二、三年、いやそ米国の「執行役員制度」がいいのではないかと考えが台頭し、ソニー等著名一流企業でも導入するところが増

2 取締役の責任

ここまで取締役の機能の在り方につき、論を進めて来たが、取締役の責任の在り方に視点を移してみたい。取締役の責任としては先ず法令・定款違反、違法配当、取締役への金銭貸付、自己取引により会社に損害を与えた場合の損害賠償責任があるが、これは会社及び第三者に対する無限連帯責任であり、取締役同士が相互監視をせざるを得ない非常に重い責任である。また悪意による重大な過失、会社に損害発生、自己または第三者に利益を生ずる三要件を満たした場合のみ、商法の例外として刑事罰が課せられる可能性がある。「特別責任」に対する無限連帯責任の存在は取締役に對する大変なプレッシャー要因であった。

一行員のニューヨークにおけるデイトリングの失敗から巨額の損失を蒙った大和銀行事件では、無限連帯責任を負った当時の役員全員で和解金五億円を支払うこととなったが、平成十三年度の法改正で損害賠償責任に代表取締役は報酬の六年分、取締役は四年分の上限が設定された。このことにより利率計算、商品設計が容易になり、役員保険の普及が進んだ。

3 監査役機能と株主代表訴訟

日本の監督役制度がその機能を十分に果たしているかどうかは別として、監査役の具体的な機能は何かについて触れると、目的は取締役の職務執行の監査であり、具体的には取締役会への出席、重要な契約の閲覧、業務監査の三業務である。また数年前、株主代表訴訟の訴訟費用が一律印刷紙八六〇〇円に引き下げられて以来、世の中が乱訴状態に陥ること懸念されたが、平成十三年度の法改正により株主代表訴訟で会社に対して損害を与えたとし

4 「監査役等設置会社」への移行選択

て訴える場合、株主が直接訴訟を起こすのではなく株主からの要請に基づき監査役が訴訟を行なうこととし、監査役が応じなかった場合のみ株主が訴訟を起こすことが出来る仕組みとし、乱訴に対する一定の歯止め措置が講ぜられた。

企業の中で「執行役員制度」への移行ニーズが高い世情に鑑み、平成十四年度の商法改正で平成十五年四月以降、大会社（資本金五億円以上、或いは負債総額二〇〇億円以上）もしくは、みんし大会社（資本金一億円以上で定款により会計監査を受けることを決めた会社）については、従来の設置形態から「委員会等設置会社」への移行を選択できることになった。目下のところ移行を意思表示した企業は極めて少ないが、その理由として「勝手の悪さが挙げられる。具体的には「委員会等設置会社」では、執行役員制度の導入と三委員会（監査委員会、指名委員会、報酬委員会）の設置がセットになったうえに、定食方式であり不必要と思われる機能の切り捨てが出来ない仕組みである。また三委員会も夫々社外取締役の過半数を占めなければならないが、社外取締役の数が少なすぎると選任が困難であること、報酬が高すぎる懸念等も企業が躊躇する理由と思われる。「委員会等設置会社」の資格のポイントを列挙すると、取締役の機能は全体的に重大な意思決定権の留保、取締役会を通じての取締役、執行役員業務執行の監査権限、利益処分権限、執行役員の選解任権限、三委員会委員に就任した場合の夫々の機能行使権限等であり、業務の執行は一切行なえない。また違法配当、利益相反取引まで会社に損害が生じた場合は自己の無過失が証明できなければ、連帯責任を負う。一方執行役員は任期は一年であり、業務執行状況を取締役に報告しなければならぬ。執行役員は自らの担当する業務以外の他の執行役員業務に対する連帯責任は免除されており、相互監視の必要はなくなっている。この事は一見責任回避にも見えて、世間受けしないが、実は産業界から評価されているところである。三委員会機能については、監査役会は監査役会に代わり会社の内部統制体制の構築につき義務を負う。従って監査役会は最早存在しない。指名委員会は取締役の選解任に関する議案を決定する権限、そして報酬委員会は取締役及び執行役員が受ける報酬の内容を決定する権限を有する。以上が三委員会の機能である。又今回の制度では従来の経営会議や常務会の様な取締役会の上部構造として商法上「重要財産委員会」を制度として導入した。取締役三人以上で構成され少数で効率的な判断機能を期待したものであるが、権限が、重要な財産の処分及び譲渡、多額の借財の決議に限定されるので、有効に機能を果たす可能性は低いと思われる。

5 米國企業改革法の成立

一方米國においても、エンロン事件、ワールドコム事件等相次ぐ大規模不祥事事件の発生で、最先端のコーポレート・ガバナンスだと自負して来た「執行役員制度」の中でも巨額の粉飾決算の計上等経営者の暴走が止まらず、又これを阻止出来なかった事態への反省に基づいて昨年七月末に米國企業改革法「サーベイス・オックスレー法」が成立した。この法律の要点を列挙すると、「監査委員会」の権限を大幅に強化し委員会独自の財源として、アドバイザー等を採用出来る体制の確立、CEO、CFOは決算のサイクル毎に決算内容につき不正のないことを経営者宣誓書として証券取引委員会（SEC）に提出すること義務付け、不正摘発者であるSECの予算増加等権限の強化、監査法人の非監査業務（コンサルティング業務等）の大幅削減、公開会社監視委員会をSECの下部組織として設置、CFOの倫理規定の設定、内部告発者の保護体制の整備等である。

この新米國企業改革法は米國証券取引所に公開している日本企業三十五社も適用対象であり、僅か三五社といつてもその子会社及び二十以上の株式を保有している重要な関連会社も入るが、日本企業の実際の適用対象会社数は相当数に上る。従来SECの基本方針として他國企業に対して米國のコーポレート・ガバナンスは強制せず、決算のディスクロージャーのみを求めたが今更、他國企業にコーポレート・ガバナンスを遂行させたことにより、日欧企業からの拒絶反応、適用除外申請も出されているところである。

6 我が国「コーポレート・ガバナンス」の今後の方向

世界最先端のコーポレート・ガバナンスを自負していた米國においても株主利益最優先の指向が不祥事事件の温床となつたと言ふ反省から、目先の株価の動きのみならず、企業として長期的な安定利益を生む体制を指向するべしとの意見も大株主である公的年金基金から出されている。我が国においてはその伝統的な風土として、英米型のその日その日の決断会社とは違って、単一民族が同じ安心感からくる非経済社会（信用に基づくツケが通用する社会）であり、企業は株主のものという米國流の発想には馴染まず、日頃苦勞を共にするものに築き上げてきた従業員のものという考えが自然と根強く存在している。このような我が国固有の価値観を充分踏まえ、尺度にも通用する我が国のコーポレート・ガバナンスを官民一体となった議論の積み重ねから築き上げていくことが求められている時代である。

誇りと伝統
栄光の機動隊
(株)エヌエック
(株)エヌエック
岡部 (株)
栗田工業 (株)
(株)三榮商會
明鋼材 (株)
岡谷鋼機 (株)
日鐵物流 (株)
丸定産業 (株)
新潟スチール (株)
北越メタル (株)
(株)機動隊員等を励ます会
東北支部

編集後記

一面掲載記事のとおり、本年度「武選」決勝戦は素晴らしい戦いだった。とりわけ激闘の一機チームは三対七の劣勢から五ポイント連取の奇跡の勝ちを挙げた。一機チームには思い出しになった、敗れた機も物事の最後は諦めを再認識する貴重な体験だったと思う。心身の鍛練の場として武選は素晴らしい。各機動隊員の今後の益々の精進を期待したい。

「励ます会」事務局

CONTENTS

- P1 全国各地で支部総会開催～拡がる隊員と会員の輪
第26回 名古屋支部総会開催！
第24回 北海道支部総会開催！
- P2 シリーズ警備事象にせまる「広がる活躍の場～女性隊員の活躍」
- P4 Member's Lounge 「バンテックの挑戦～カルロス・ゴーンの手記を背景に～」奥野 信亮 氏

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0055 東京都大田区仲六郎4-32-5
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会費の中には購読料を含む)

はげまし

Mar.2003 No.344

For the Riot Policemen & Members

全国各地で支部総会開催

～拡がる隊員と会員の輪～

平成十五年になり初めての支部総会が名古屋、北海道で相次いで開催されました。総会には、警察幹部の方々、多くの女性隊員を含めた隊員の皆さん、そして多数の「励ます会」会員が参加。大いに交流を深め、会場は例年以上に盛り上がりを見せました。今回の総会も支部ごとの良い特徴が出ているようです。



去る二月二十日、メルパルク名古屋において第二十六回名古屋支部総会が開催された。会場には、和田愛知県警本部長を始め多数の警察幹部、及び愛知、三重、岐阜、福井各県機動隊、中部管区機動隊、更には婦人警察官機動隊も含めて若き精鋭二〇名余り、一方「励ます会」からも会員約一五〇名が参加し大いに交流を深め、大盛況であった。「君が代」斉唱後、岡谷支

部長が立ち「昨年はワールドカップ警備、見事に完遂されたと思う。又、「あさま山荘事件」以来三十年の年であったが、映画、TVで当時が再現され、人命を守る「警察官魂」が連綿と今に引き継がれていると感銘を受けた。皆さん誇りをもって重責を全うして頂きたい。」と挨拶。次に佐々木理事長が「最近の若者の行動は不可解なことが多い。例えば電車の中で、女性のお化粧や若者のシルバースーツ占拠をみると日本人の精神が荒廃しつつあると危惧せざるを得ない。根本は長い目で見た教育の立て直しが必要だと思ふ。」

去る二月二十七日、札幌パークホテルにおいて第二十四回北海道支部総会が開催された。当日は上原北海道警察本部長を始め、警察幹部の方々、機動隊員の精鋭一〇名、更に多数の「励ます会」会員の参加を得て例年以上に大盛況であった。「君が代」斉唱の後、北海道支部新支部長の坂本幸丸氏が挨拶に立ち、「当会の設立趣旨と支部の歴史の重みをよく体して、使命を果して行きたい。」と力強く所信表明。当会佐々木理事長からは「最近の読書で知った事なのだが、世界の四大文明、ナイル、チグリスユーフラテス、インダス、黄河は、いずれも大河の川下で土地が肥沃な為文明が栄えたと今迄思い込んでいたが、そうではない事が判った。



むしろ洪水という自然からの挑戦に「応戦」しようとする人間の叡智が結実したというのが、真実のようだ。我が国も明治維新、太平洋戦争と国難への「応戦」から国運を開いてきた。今、戦後五十年で高度成長の後の平和ボケから国民全体が緊張感を喪失し、グローバル化の激しい挑戦を受け崖っぷちに立たされていると言えり。この事態に「応戦」し日本の再構築が焦点の課題である。メディアは時に国家が民衆を圧迫しているが如く報ずるがとんでもない事である。国家あつての国民であり、国家秩序の維持の為日夜献身する機動隊の皆様は大いに敬意を払いたい。」と御挨拶。次いで山口北海道副知事、福迫札幌市助役から来賓御挨拶を頂いた。引き続き上原本部長が「二十六回目を迎える、「励ます会」の支援活動に心から御礼申し上げる。道警察では昨年のワールドカップ警備を機に全国に先駆けて、女性機動隊「ノースライラックレディーズ」を結成し、同部隊に状況に応じて、要人身辺警護隊の任務も付与してソフト警備体制を構築、また多様化する諸犯罪への機動隊の積極的関与等柔軟な姿勢で新機軸を打ち出している積りである。」と述べられた。更に元北海道警察本部長の伊達興治新日鉄顧問から、在任時の思い出を交えつつ「司馬遼太郎の『坂の上の雲』にあるように明治人の国を思う心は崇高だった。北海道警察機動隊員諸君も組織の文化、伝統を育むべく高い志で「作風」して欲しい」と檄が飛んだ。杉田理事発声による乾杯の後、アトラクションとして機動隊活動紹介、福引き等が行なわれたが、上原本部長作詞による交通事故撲滅の為の歌「どうしてなのですか」と北海道警応援歌「がんばればホクトくんのマーチ」のライラックレディーズによる合唱が好評だった。高橋機動隊長の挨拶、ユーモアの中に真の愛国心を訴えた挨拶を混じえた西村理事の音頭による万歳三唱で盛況の内に閉会した。

広がる活躍の場
 こんなところで、あの警備でも!

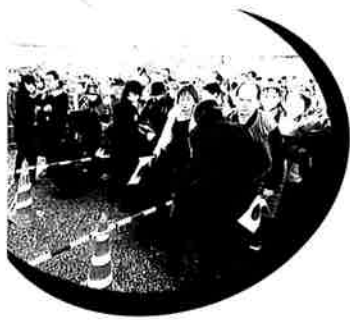


シリーズ
 警備事象にせまる

女性隊員の活躍!



全国の機動隊員の中で男性隊員だけの活躍ばかりが目立ち、女性隊員の活躍は報道でもあまり取り上げられてはきませんでした。しかし、その陰で女性警察官の働く分野も次第に拡大されてきているのです。交通の取締り、少年補導等の限られた分野だけでなく、犯罪捜査、暴力団対策、警衛・警護など、活躍の場はどんどん増えています。女性ならではの警備には、どのような特徴があり、我々国民からはどのように思われているのかご紹介しましょう。



その他、毎年恒例全国初もうで雑踏警備、皇居一般参賀など様々な警備で女性ならではの特徴を生かして、警備に従事しています。

- 平成14年
- 1月 プッシュ本園大統領夫妻一行来日に伴う機動警備
 - 5月 沖縄復帰30周年記念式典に伴う警備
 - 5~6月 二〇〇二ワールドカップサッカー大会警備
 - 6月 第五十三回全国植樹祭に伴う機動警備
 - 6~7月 金大中韓国大統領来日に伴う機動警備
 - 7月 平成十四年度全国高校総体に伴う機動警備
 - 10月 第五十七回国民体育大会秋季大会に伴う機動警備
 - 11月 第二十二回全国警備大会(入会)に伴う機動警備
- 平成15年
- 2月 第四回アジア冬季競技大会警備

女性隊員は様々な警備で活躍しています。大きな警備、例えば国賓・警衛警護警備・雑踏警備には必ず女性の力が必要とされています。昨年从今年にかけて、女性隊員が活躍した主な警備を見てみましょう!

PoliceWOMAN



← 反対に... →

PoliceMAN

機動隊員は、極左、暴力集団や右翼対策、暴力団・暴走族対策等「剛」の姿勢でのそむ仕事が多々あります。

女性警察官は、ソフトなアナウンスで一般市民が「順序良く進む」など「柔」の姿勢を強みにソフトな誘導を心掛けています。その他「荷物を検査する」「ボディチェック」をすることで、女性隊員は活躍しています。



1 積極的な声かけを！

「お巡りさん、おつかり来な〜」「ハッ、おつかい！」「北海道か！」「いいえ、もつと南ですよ」「福島か？」「惜しい、その近くですよ」「わかった、山形だ」「正解！」

今回の警備警備に伴う行啓先における奉迎者の皆さんこのひとコマです。

私は、今回の警備警備に際し、東北管内三十名の女性警察官と共に行啓先支援隊として特別派遣され、配置先において多くの青森県民と接する機会を得ました。

二月という厳冬の青森において、手足の凍えをもとめず熱い奉迎の輪を作った県民の皆さん。「積極的な声かけを」という指示に基づき、「私はどの県から来たのでしょうか？」というつたない呼びかけに対し、集まった歓迎者の皆さんは実に軽妙に應對してくださり、笑顔を抑えず「早くお姿を見たいねえ」と整



然と御列でお待ちいただく姿には本当に頭が下がりました。

また、今回の警備警備には、私たち特別派遣部隊の寒さ対策も重視され、「機動隊員等を励ます会」から簡易カイロ等の差し入れも有効に活用させていただきました。

確かに非常に厳しい寒さではありませんでしたが、行啓先で直接触れ合った歓迎の方々からの「心の温かさ」に接し、警備を完遂することができました。

今回の警備警備で学んだ多くを糧とし、心と心のふれあいを大切にして「安全で安心な町づくり」のために努力する覚悟です。

山形県警察 今野 奈緒美

2 女性隊員のソフトな面が生かされて… 新米指揮官奮闘記

千葉県内の各所属から招集された私たち女性警察官一〇名は、女性特別機動隊員として昨年七月、皇太子同妃両殿下行啓に伴う警備警備のため、茨城県に派遣されました。

私は、所属が警備を担当する部署であったことから、千葉県の責任者として指名されたのですが、異動してから間がなく、また、実際の警備警備を経験したこともなかったのですが、とても不安でした。そのため派遣先での主な任務である歓迎者対策についての資料を読んだり、先輩の指導を受ける等して個々の隊員に任務の説明ができるように派遣に備えました。

警備日程の二日目から実施に入ったのですが、私たちは、歓迎者対策員として私服でお泊り所や行啓先、沿道の歓迎者に対して声をかけ、お礼が通るまで歓迎者を整理しながら、まとめ奉迎の任務に従事しました。

歓迎者のほとんどはお年寄り、女性、子供であり、私たちのような女性警察官が歓迎者の前面で接することはソフトな面が生かされ、



歓迎者からも協力が得られて非常に効果的であると感じました。また、隊員達は一回目の実施が終わると、各班ごとに反省点を話し合うなど県を越えて任務完遂のため団結するようになりました。

今回の派遣は、隊員達の頑張りや市民の協力があった、無事に任務を完遂することができたと思います。

私にとっては、初めて貴重な警備警備の現場を経験することができ、これから自分の仕事を進めていく上で大変良い勉強になったと感じております。また、派遣先で交流した茨城、埼玉、群馬の女性特別機動隊の方々から、いろいろな状況下で頑張っている体験談を聞いたことが、この度の警備に対する意気込みに繋がったのではないかと思っております。

千葉県警察 石崎 絵美子

3 充実感でいっぱい… 一人でも多くの人に喜びを！

照りつける日差し、吹き出す汗、お礼の通過が迫るにつれて奉迎車のラインが厚くなる。お年寄り、子供たち、車椅子の方が前列になるような長い時間待っていた人たちに理解してもらおう。

付近を見渡すと駐車場で車両に乗ったままの女性を発見し、声をかけると「奉迎に来たものの車椅子であることから車両内でお迎えするつもり」との事。「お連れしましょう」と声をかけ、遠慮する女性を隊員数名で最前列に誘導する。

女性は腰を降ろすと嬉しそうに語り始めた。「遠方から来たのですが、降車するのが無理とわかり諦めていました。皇太子殿下・雅子妃殿下と間近にお会いするのは生まれて初めてです。」

用心のために女性隊員を女性の背後に配置する。旗を振りながら顔中喜びを表現し、そしてハンカチで目を押さえる女性の姿を見て隊員は一様に充実感を味わったに違いなし。一人でも多くの人々が喜びを持ち帰れるようその小さな一翼を担ったことを。

茨城県警察 村田 ゆかり

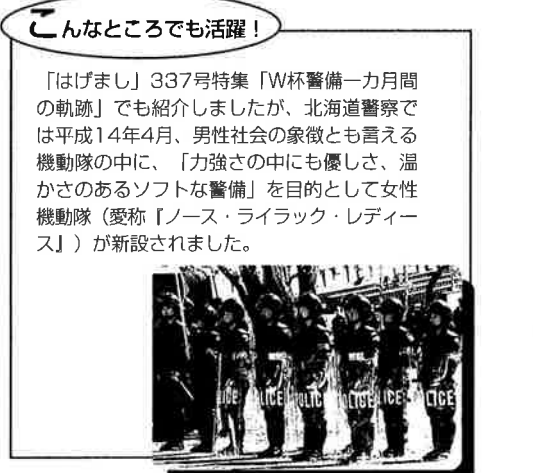


歓迎者がお年寄り、子供、女性が多い場合は、女性隊員のソフトな誘導、アナウンスなどが更に生かされます。

4 さらばなく盛り上げろ！ 高知国体での心温まるイベント

昨年十月、高知国体に御臨席の天皇皇后両陛下に奉迎警備のため、女性特別機動隊員が高知県警察へ派遣されました。

高知空港周辺の沿道に待機していた彼女たちに、天皇皇后陛下の天ファン、皇太子の六十過ぎの御齡とを象徴する地元男性から「皇太子と皇太子の親和を築くつもりで楽しんで雰囲気を作ってくれた女性警備のお陰で、気持ちよく天皇皇后陛下をお迎えすることができました」と、その時の様子をたたえた感想と感謝の手紙が贈られました。



「はげまし」337号特集「W杯警備一カ月間の軌跡」でも紹介しましたが、北海道警察では平成14年4月、男性社会の象徴とも言える機動隊の中に、「力強さの中にも優しさ、温かさのあるソフトな警備」を目的として女性機動隊（愛称『ノース・ライラック・レディース』）が新設されました。

感謝の手紙

過日、県下全域で開催された「よさこい高知国体」の开幕式に天皇皇后陛下の臨席があり、前日（二十五日）両陛下には、空路、高知に入られるので出迎えるため高知空港に行きました。

空港は大警備が行われており、その中に声をからして身体全体で職務に邁進する兵庫県警の女性警察官がおられました。ユーモアを交えてさりげなく、両陛下の到着までの約四十分余りを楽しみ雰囲気「間」をとってくれました。

おかげさまで気持ちよくお迎えすることができました。

爽やかな彼女ら女性警察官に感謝をいたします。ありがとうございました。（手紙要約）

特に今日、新たな治安上の課題であるストーカー事案、家庭内暴力、児童虐待、性犯罪等の事象への取り組み、あるいは、被害者対策の充実等に的確に対応していくためには、女性警察官の能力や特性を効果的に活用していくことが不可欠となっています。

全国の警察組織において、更に多くの女性が幅広い分野で女性ならではの特性を生かしつつ、これからもっと活躍することが期待されているのです。

CONTENTS

- P1 「米英イラク戦争」開戦に伴う警戒警備実施！
～全国各地に機動隊派遣～
現在の警備方針・方向性～全国の主な警戒施設～
「励ます会」より
- P2 特集「全国各地で不眠不休の警戒警備 米英イラク戦争」
- P4 Member's Lounge 「大規模警備の変遷と今後の展望」池田 克彦氏

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0065 東京都大田区仲六郎4-32-5
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3799)0590
購読料 年間1,200円
(但し会費の中には購読料を含む)

Apr.2003 No.345

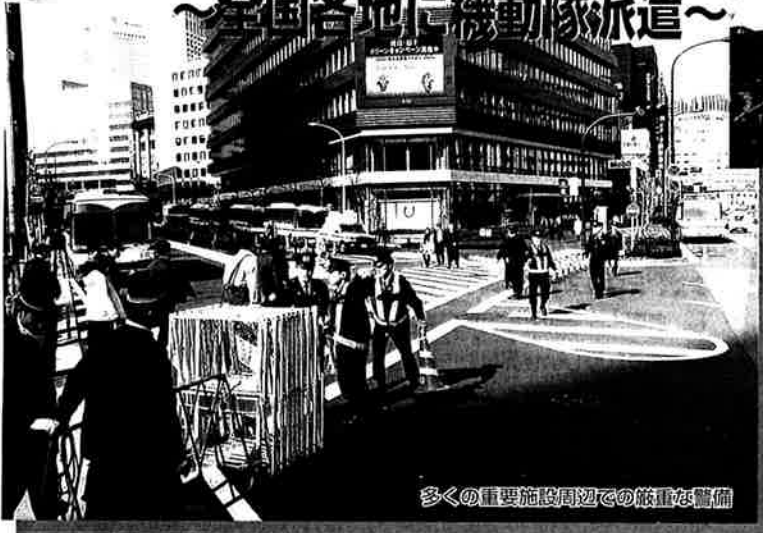
はげまし

For the Riot Policemen & Members

米軍や日本の重要施設など警戒！

そのように中で

米英イラク戦争開戦に伴う警戒警備実施！ ～全国各地に機動隊派遣～



多くの重要施設周辺での厳重な警備



大使館前では自衛隊機動隊がパトロール

イラク情勢の緊迫化を受けて三月初旬から、米国大使館前等で連日抗議行動が繰り返されてきたが、いよいよ米英両国による対イラク戦争が開戦した三月二十日夜、その行動はピークに達した。

「開戦日の午後六時半、米国大使館前へ」という市民グループの事前の呼び掛けに応じ、予定時刻の午後六時半には、抗議する人々は大使館一〇〇メートル手前で抑止された約



連日緊迫した空気の中、警備に当たる隊員

四〇〇人を含め、約七〇〇人に達した。当夜、大使館周辺で警備にあたった機動隊員とのみ合わせて過激派メンバーとみられる男女四人が公務執行妨害で現行犯逮捕された。

開戦と共に警視庁は、直ちに総合警備本部を設置。各署から特別機動隊も招集し、最大約五〇〇〇人で米国関連施設や各国大使館、空港など一〇〇箇所を超える施設を警備していた。

また、外国人が多く集まる六本木などの盛り場周辺へも機動隊を投入。NBC(核・生物・化学兵器)テロに備え、警備部の爆発物処理・化学防護部隊の効果的運用を行っている。

一方、東京だけでなく、全国の重要施設警備の為に機動隊は派遣されている。特にイラク攻撃が激化する中、米軍基地が集中する沖縄県の警備を強化する為に、応援部隊として中部管区機動隊(愛知)、近畿管区機動隊(大阪)の約三〇〇人が特別派遣中である。

地元沖縄県警察は、派遣部隊の応援を得て、開戦以降総力を挙げ六〇〇人体制で米軍基地、自衛隊基地周辺などの巡回警備を強化している。

なお、応援部隊には当会より、さまざまな支援物資を贈呈済みである。(その他の地域については二、三面特集に掲載)

現在の警備の方針や方向性は… 警戒箇所は？

警察は、米国等によるイラクに対する武力行使が開始されたことに伴い、「警察庁緊急テロ対策本部」を設置して三月二十日以降、警戒箇所数を約六五〇箇所と倍増させるなどの警戒警備の強化、徹底を図り、テロの未然防止に万全を期しています。

重点地区として特に米軍基地等警戒対象の多い沖縄県については、他県からの警察官の特別派遣を行い、警備体制を強化しています。

全国の主な警戒施設は以下のとおり。

全国の主な警戒施設

- 米国関連施設 174箇所
・アメリカ大使館領事館等
・在日米軍基地等
・米国企業・学校等
- 英国等支援国関連施設 62施設
- 原子力発電所および原子力関連施設 16道府県34施設
- 総理官邸等政府関連施設、
空港等我が国重要施設



▲米国関連施設は174箇所も！?

「励ます会」より

三月二十日に開戦したイラク戦争は、全面戦闘行為については早期終結の方向にありますが、戦後処理問題と、二つに割れた国際世論を受けた新しい世界秩序構築に難関が山積しております。反戦という人類の基本的な思いは当然ですが、その中で冷静に現実を見極めて、早い段階で明確に米国支持を表明した政府の姿勢は正しかったと思われまふ。しかしながら我が国はテロ行為の脅威から無縁でいられるわけには参りません。国民の不安を払拭する警察への期待が高まる所以です。

警備の中核
頑張れ機動隊

ナイルレストラン
G・M・ナイル
TEL 03-3541-8246

- 東 鋼 業 (株)
- (株) エース電研
- 岡 部 (株)
- (株) 三榮商會
- (株) 広沢製作所
- 大 東 港 運 (株)
- 平 和 農 産 工 業 (株)
- 黒 田 一
- 共 永 興 業 (株)
- 高 島 秀 一 郎
- (株) カノークス
- 東 海 レ ベ ラ ー 工 業 (株)
- 豊 田 通 商 (株)
- 宮 崎 精 鋼 (株)
- 藤 田 金 屬 (株)
- 大 川 ト ラ ン ス テ イ ル (株)
- 不 動 鋼 板 工 業 (株)

特集

全国各地で不眠不休の警戒警備 米英イラク戦争



既に一面でもお知らせしているとおり、米英軍によるイラク攻撃が激化している中で我が日本警察は様々な方面で動き出しています。テロ対策のために、機動隊員を全国各地に特別派遣し、米軍や日本の重要施設などの警戒を強化しています。また、テロリストの侵入を防ぐために、入国管理局との連携を強化し、各国治安機関との情報交換を密に行っています。このような厳しい世界情勢の中で、日本警察は全国で実際にどのような動きをし、どのような警戒体制で臨んでいるのでしょうか。我々国民を総力を挙げて守ってくれる我が日本警察。それぞれ主な警戒地区で警戒している隊員たちに焦点を当て、各地警戒警備の様子を語って頂きました。

▲ 首都西部でイラク軍と交戦 炎上するイラク軍車両
[写真提供・共同通信社]

Watch Defence

1

沖縄県には多くの米軍基地が集中。女性隊員も大活躍！
初めの警戒活動
沖縄県では…

私は、今年三月二十四日に、沖縄県警で初めての女性機動隊員として機動隊に入隊しました。

しかし、入隊の四日前から米英軍によるイラクに対する武力行使が開始されたため、恒例の新隊員訓練もそこそこに、入隊初日から突発対策隊として当番勤務に就くことになりました。

そして、入隊から六日目の三月三十日に、在沖海兵隊司令部前において開催された「米・英のイラク攻撃反対抗議集会」に対する警備出動がありました。それは、私にとっては警察官を拝命して初めての警備出動でした。集会の人員約三〇〇名程おりましたが、集会は盛り上がりもなく進んで行きました。しかし、約一時間の集会が終わり、参加者

が司令部前から解散した後、極左暴力集団が独自の抗議行動を開始したため、中隊長指揮の下、同集団を排除しました。こうした警察官の措置に対して野次を飛ばすなど現場は騒然としており、私は初めて体験する光景に緊張しました。幸い大きな事件やトラブル等に発展することはありませんでしたが、今後もこのような局面は十分予想されます。また、テロ・ゲリラの起こる可能性も考えられることから、日々の訓練に集中し、一日も早く先輩隊員に近づけるようになりたいと闘志を燃やしています。

沖縄県警察機動隊 岸本 哉子



▲ 訓練に動んでいる沖縄県警初の女性機動隊員！

Watch Defence

2

笑顔を守るために、
イラク攻撃に伴う空港警備
徳島県では…

「おじーちゃんバイバイ。また来るね。」少年は屈託のない笑顔を浮かべ手を振る。何度も振り返りながら父親に手を引かれゲートを通過して行った。三月最後の土曜日、南国徳島の玄関口、徳島空港での光景である。

私は、三月二〇日に始まったイラク攻撃に伴う空港警戒強化の為、搭乗口手荷物検査場において不審者・不審物件の発見に当たつていた。この勤務で思い出されるのは、二年前の九・一一アメリカ同時多発テロ。その時に受けた大きな衝撃と怒り、悲しみは今も消えてはならず、緊張の警戒警備に従事していた。そんな中、あの笑顔の少年は、私の前を通り過ぎて行ったのである。私は、その光景に思わず笑みを漏らしてしまうと同時に、この警戒警備の重要性を再認識させられた。

あの少年やその家族の笑顔が見られるのは、我が国に平和というものがあからである。しかし、現在の国内外の諸情勢は非常に不安定で、もしテロなど憎むべき犯罪がひとたび発生すれば、その笑顔を見ることは出来なくなる。決してそんなことがあってはならない。一人ひとりの笑顔を守ることが、今後の日本の平和を築いていくことになるのである。あの少年の笑顔が何度でも、そしていつまでも見られるよう、この警戒警備を完遂することが、私達の使命だと強く心に感じている。

徳島県警察機動隊 小川 正和



▲ 搭乗口手荷物検査場での不審者・不審物件の発見に当たる

Watch Defence

3 基地の街横須賀は緊張感に包まれる イラクへの武力行使に伴う警戒警備に従事して 神奈川県では…

「イラクへの武力行使を開始」とのテロップが流れた瞬間、基地の街横須賀は緊張感に包まれた。

米軍横須賀基地は、第七艦隊の旗艦ブルーリッジや空母キティホークなどの母港となっており、平時においても反戦団体等による抗議行動が多い場所である。

今回の基地警戒はいつもとは違う。何かが違う。そんな雰囲気は横須賀の街全体にピリピリとした緊張感を漂わせている。今までは他国での出来事としか感じていなかった国際テロ、今度はその照準がこの横須賀にも向けられるのではと思うと、体がギョッと緊張し武者震いするのを感じた。そしてこれまでの警戒態勢も強化された。

そのような中、極左暴力集団や反戦団体等が連日、抗議集会・デモに取り組み、また、戦況が刻々と報道されると、日増しに反戦ムードが高まり、基地正門前には一般市民まで

もが押し掛けて「STOP ON THE WAR IRAQ」を訴えた。

ある日のこと基地正門で警戒中、一人の男性から「お前達は、罪もないイラクの人々を攻撃するアメリカを守って恥ずかしくないのか」との罵声を浴びせられた。

その時は突然のことでは言葉も失ってしまったが、その後何度となく自問自答し、そして出てきた答えは「警察は米軍基地だけを守っているのではない。基地には多くの日本人従業員も働いているし、抗議行動に取り組んでいる多くの人達もこの横須賀に住んでいる。こうした人々をテロから守るために警戒しているのだ」ということであつた。

そして私は今、自信をもって警戒に従事し、テロ事案の未然防止に当たっている。
関東管区機動隊 中野 祐一

Watch Defence

4 24時間体制で警戒警備を実施！ 原子力発電所施設の警戒警備 北海道では…

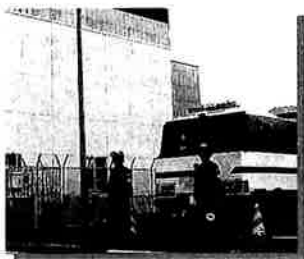
北海道警察機動隊では二〇〇一年九月の米同時多発テロの発生に伴い、北海道西部の泊村に所在する、北海道唯一の原子力発電所である「北海道電力泊発電所」に二十四時間体制で警戒警備を実施しています。

警戒警備に当たり、小隊長として特に以下の二点について留意し勤務しています。

一点目は、警備情勢の認識と任務の重要性を隊員に認識させ、緊張感を持続させることです。単調な警戒勤務であるので、常に厳正な勤務になるよう適宜適切な指示を与えるとともに勤務状況の確認をしています。

二点目は、隊員の健康管理です。泊村は厳寒期にはマイナス十五度以下になり、また、猛吹雪のため視界が数メートルという厳しい気象状況になります。そのような自然環境での長期間の派遣のため、隊員の疲労が蓄積さ

れることから、非番での十分な休養に気を付けています。
今後、情勢は一層厳しく、困難なものになると予想されますが、重要防護対象施設警備の重要性を認識し、国民の負託に応えていきたいと思ひます。
北海道警察機動隊 田中 周



▲北海道唯一の原子力発電所での厳重な警戒警備

Watch Defence

5 平穏な市民生活が守れるように… 米海兵隊岩国航空基地警戒警備勤務に従事して 山口県では…

本年三月二十日の米軍等によるイラクに対する武力行使開始以来、我々管区機動隊員は、県機動隊員等と共に、岩国市に所在する「米海兵隊岩国航空基地」周辺における警戒警備に従事している。

本警戒警備の基本方針は、基地に対するテロ等不法事案の未然防止を図り、もって県民生活の安全と平穏を確保することであり、現下の厳しい情勢を全隊員が認識し、危機感を持って警戒警備にあたるのが重要である。

米軍基地を有する岩国市民は、武力行使開始以来、国際的にも多発しているテロ等不法事案の発生を危惧しているが、平穏な市民生活が守れるように、また抱えている不安感を少しでも取り除けるように、我々警察官の姿を見せて声掛けを行うなど、安心感を醸成することが重要な任務の一つでもある。

警戒警備活動開始当初は、大勢の警察官の姿に戸惑いを見せていた住民の方も、今では、「ご苦労様、頑張ってください」と逆に声を掛けて励まして下さることも多く、部隊の士気も高まっている。

現時点でのイラクにおける戦況は、不透明であるが、これまでの警戒警備活動で築き上げてきた市民との信頼を損なうことのないように、また清流錦川が流れ、五連のアーチを描く美しい錦帯橋が架かるこの城下町において、「絶対にテロ等不法事案を起させない」という強い決意の下、今後も警戒警備に従事していく所存である。
中国管区機動隊 黒谷 哲也



▲絶対にテロ等不法事案を起させないという強い決意を持って

Watch Defence

6 中でもアメリカ大使館は最重要対象に！ I警備にあたって 東京都では…

「こんにちは。どちらに行かれますか？」と自分の持つ一番の笑顔と美声で話しかけても、話しかけられた人はみな一様に驚いて立ち止まります。それもそのはずです。普段はビシッとスーツに身を包んだ人たちが行き交う官庁街の程近くに、ワッペン姿で立っている機動隊員に突然話しかけられれば、無理もありません。

アメリカ等によるイラク攻撃により始まったI警備で私が気を遣っていることは、不審者(車)・不審物件の早期発見はもちろんですが、都民応接にも気を配っています。

この警備では戦争に参加している国の重要防護施設を重点的に警備していますが、中でもアメリカ大使館は最重要対象となっています。しかし、通行する全ての人に職務質問するため、反感をかう事もしばしばです。絡んできて文句を言う人、趣旨を説明しても無視して行こうとする人も多くいます。

しかし、ほとんどの人は、一般人なので言葉遣いと締めくくりの配慮して冷静に対処するようにしています。
その甲斐もあって、励ましの言葉もいただし、先の見えない勤務の中で都民の支えがあることを改めて気付かされました。

この警備がいつまで続くか判りませんが、厳正な勤務態度と一番の笑顔を持ち続けながら、警備完遂に向けて頑張る覚悟です。
警視庁特科車両隊 今村 友也



▲警備だけでなく、都民応接にも気を配る

Member's Lounge

講演会録

大規模警備の変遷と今後の展望

イラク戦争が開戦し、我が国内もテロ発生危険が高まって来まし
た。北朝鮮情勢も相俟って、安全
保障と共に国内の治安確保も国家
的重要課題です。
今日は我が国警察の警備部門にお
ける専門家の一人で、御自身も機
動隊長をご経験されている警視庁
の池田警備部長に表題での御講演
をお願いしました。(当講演会録
は、3月13日(木)に行われたも
のを収録したものです。)



3月のゲスト
池田 克彦 氏
警視庁 警備部長

プロフィール

昭和28年生まれ
昭和51年 京都大学法学部卒業、
警察庁入庁
平成60年 警視庁第7機動隊長
平成63年 警視庁警備部警備第一課長
平成6年 大阪府警察本部警備部長
平成8年 岩手県警察本部長
平成10年 警察庁警備局警備課長
平成14年 警視庁警備部長 現在に至る

1. 東京サミットにみる大規模警備の変遷

東京都を警備する警察組織である「警視庁」が全国の道府
県警察と比べて、傑出しているのは、警備部門、とりわけ警
備実施部門である。何故ならば、多くの警察は、皇室内
行事(天皇陛下の三大行幸「国体」豊か海づり、全
国植樹祭)、皇太子殿下の八日行啓の警備以外に、大規模
警備実施の機会があまりないが実情である。ここに、
全国警察に警備警察のフロといわれる人は数多く存在す
る。それが、情報のプロ、公安のプロに偏っており、警備
実施のプロは非常に少ないのが現状です。ここに、
日本の警備警察の一つの問題があると思っております。
戦後、治安警備の形態は色々と変化を遂げています。か
つて大学紛争や第二安保の頃は街頭武装闘争が頻発し
ました。大規模な街頭武装闘争といえるのは、昭和60
年10月20日の成田闘争において三里塚交差点で極左と警視
庁機動隊が衝突したのが最後です。
この警備には警視庁機動隊6個隊が警備に従事したの
ですが、機動隊員に2名の重傷者を出すなど大きな反省点も
あった警備でした。しかし、極左側も大層攻撃され、それ
以降、それほど大きな街頭闘争はなくなりました。こ
れ以降、極左の闘争戦術は、飛翔弾発射や時限式発火物な
どに転換していきま。警視庁にとりまして昭和61年の
第2回東京サミット警備以降、飛翔弾等の対応に専心する
時代になったのです。

第1回の東京サミットは、昭和61年の開催であり、警視
庁としてマルチな国際会議に伴う大規模警備は初めての
経験といえることあり、全庁体制で取り組まれました。この
時点では、まだ飛翔弾対策は必要とされず、直近対策が中
心でした。当時、極左は、火炎攻撃と攻撃してくるという方
針を立て、無人の火炎車や迎賓館正面目撃で突進させ
て、迎賓館前並木の上を衝突し、木が燃えあがるとい
う事件が発生しました。炎上した立木は、直ちに植え替えら
れたのですが、他の立木と比べて幹は細く、現在でも当時
の名残を伝えております。

ところが、先程申し上げましたとおり、第2回東京サミ
ットでは昭和61年であり、この警備では、飛翔弾
対策が重点として浮上して参りました。この頃から、極左
は、飛翔弾を飛ばし、遠距離から攻撃してくるという方
針をより一歩、マンシオンやアパートなどの一室ある
建物を、空き地等に設置した自動車にタイマー付きの
発射装置を据え付け、時間の到来とともに飛翔弾が発射さ
れるという手法を用いるようになったのです。これに対し
警視庁は、エリア警戒という手法で重点警備対策である
迎賓館、皇居から半径2キロメートル以内のエリアを
対象に、警察官を大量動員し、警戒に当たることとしたの
です。エリア警戒は、直近警戒よりも極めて多くの人員
を必要とし、動員した人員も警視庁の警備史上、最大規
模となりました。

第2回東京サミット警備後に警視庁では文書を発行し
ました。その文書の表題は、当時の録音監視総監の命名
によるものでありましたが、それは「史上空前の警備を終
えた警備だったのです。しかし、長期間に亘り、これだけ
の警戒をしても、結局、飛翔弾は撃たれました。当時、
私は第7機動隊長であり、サミット当日の5月4日午後
四谷駅前待機していたところ、「ダウン」という大きな
音が響きました。通行行人に、「サミットの物陰さすね」
など話しかけたのですが、私は、何かまずい感じが
起ったのではないかと感じていました。すると、突然、
「牛込署管内のマンシオンの一室から飛翔弾発射」とい
う無線連絡が入ってきたのです。発射場所から迎賓館ま
で2.5キロメートルの距離だったので、飛翔弾は飛
びに飛んで、フランス大統領歓迎式典中の迎賓館を直
に飛び越え、東宮御所、青山通りをも越え、カナダ大使
館付近から乃木坂にかけて着弾しました。飛距離は、約
4キロメートルと非常に遠いのですが、実は、こういう結
果をもたらすには伏線がありました。それは、この1カ
月前に米軍横田基地に飛翔弾が撃ち込まれたという事
件があったのですが、当局としては、この飛翔弾の飛距
離を少なめに発表しておりました。おそらく極左は、こ
の発表を参考に、詰め込み火薬の量を決めたのであ
ろうと思います。そして、飛距離が不足し、人民
を攻撃したところになってしまいが、一方、飛び過ぎても
落下場所は、赤坂御用地、東宮御所であるから敵軍にな
るという思いがあったと思います。なお、発射場所のマ
ンシオンの一室は、事前にチェックされており、マンシ
オンのオーナーも協力的であったのですが、残念ながら、
上手すり抜けられ、欺かれたという結果になってしま
いました。極左は、常套手段としてこの契約を当たら
せては、架空の名義人など使えません。警察に把握され
ていない協力者を義名として契約するなど、巧妙に偽装
しており、これを如何に見破るかが課題です。

2. 「大喪の礼」、即位の礼」警備

東京サミット警備後の大警備は、平成元年の「昭和天
皇大喪の礼」、平成2年の今上天皇「即位の礼」警備で
す。極左にとって、天皇を頂点とする日本帝国主義の打
倒は、永遠のテーマであり、総て皇室内行事が阻止の対
象です。水たても、新しい天皇の即位は絶対に許せな
いと考えます。「大喪の礼」では、御祭別が八王子の武蔵

野陵へ向かう途中の中央高速道、深大寺バス停近くで爆
弾が破裂し、切り通し部分に土砂崩れが発生するという
事件がありました。幸いにも、御祭別の通過までは、
まだ時間があつたことから、機動隊員が大層で溢れた土
砂を排除し、御祭別の通過に支障を及ぼさなかったとい
うものでした。ただ、御祭別の通過時は、数日前に変更さ
れており、当初の予定通りならば、爆発は通過直前であつ
たわけですが、当初の通過時間を極左が把握していたと推測
されるなど、反省すべき点のある警備であつたと思つ
ております。

また、平成2年の「即位の礼」は、飛翔弾がびび
くつて、「大喪の礼」に比べ、「即位の礼」は、極左
にとつても準備期間が長く、飛翔弾ゲリラが予想された
ため、エリア警戒が最大規模で実施されました。アパ
ート、マンションや空家、倉庫などの空き地などの警戒も徹
底的に行いましたが、月島、代々木、白山などからの発
射を阻止出来ませんでした。ただし、いずれのケースも飛
翔弾は目標の遠く手前で落下して、極左による長距
離飛翔弾の命中精度は極めて悪かつたといえると思いま
す。逆にその様なところから撃たざるを得ないようにし
た警察の警戒成果であるといえると思ひます。

3. 極左の動向

ここで、極左の概要について触れたいと思ひま
す。極左つまり極左暴力集団は、五流あると言われて
おります。そのうち四流は、日本共産党から派生した
ものであり、もう一つは旧日本社会党から派生したもので
あります。

日共系は、「共産党」とその下部組織である「社学同」
及び別の流れである革共同が分派した「革マル派」、「中
核派」です。なお、もう二流あるのが、今は力をな
げているので省略します。一方、旧社会党系は、「社
青同」を源とする「革マル派」です。学園紛争当時、い
ゆる三派全学連と称されたのが「社学同」、「中核派」
と「革マル派」は現在でもゲリラ的な武装闘争を行つ
ております。しかし、治安対策上忘れてならないのは、
「革マル派」は、有力企業等の労働組合に食ひ込み、これを
資金源としています。治安当局としては、このルート
を阻止すべく努力しているところであり、また、「革
マル派」は、他の組織と比べて、際立って拘束力が強く、
脱会を許さない組織です。更に情報取集力は傑出して
おり、警察でもその所在を掴みきれない「中核派」
、「革マル派」等他の組織のトップの所在を探り当て、虐殺
してあります。この様に資金調達力、組織として強固
な結束力、そして情報取集力とその情報に基づく残忍極
まりないテロ行為等々あらゆる視点からみて、「革マル
派」を軽視してはなりません。

4. 機動隊改革の推進等

平成元年、2年一連の大きな警備を終えて一段落と
思つておりましたところ、ここから大きな問題が出て
まいりました。それは、機動隊員の大層退職という問題
でした。「大喪の礼」、「即位の礼」といった、連続
して年間100名の退職者を出してしまいました。当時、
警視庁の中退退職率は、概ね1パーセントでしたが、
警視庁の退職率は、約2.5パーセントと突出した数字となつたわけ
です。この退職者増

加の原因は、一つは、過酷な勤務形態にあつたとされて
います。例えば、予め指定された休日(週休)が突然取
り消されるといふことは日常茶飯事であり、隊員の結婚
式に親しい仲間が大層に欠席せざるを得なくなる様な事
態が生じたりあるいは、私生活が6時間という厳しい
勤務形態もありました。私も機動隊長時代、6時間立番
の経験があるのですが、眼前に「敵」がいる事象なら
いも知らず、単に警戒活動での6時間連続は実に辛い
ものであります。また、非番の日に勤務を要する事象も
頻繁にありました。こうした状況にストレスを入れ、機動隊
員の待遇改善を取り組むこと、従来の四部制(4日
1回の当番)を5日1回の当番とする五部制への変更、
非番の連守等の施策を打ち出しました。更に、一般
警察官と比べて、日頃の勤務実績を評価し、表彰される機
会が少なくない全国の機動隊員諸君に対し、励みとすべく
年度毎の「全国優秀機動隊員表彰制度」を設け、その副賞
として「機動隊員等を励ます会」の御好意による「ハワ
イ研修旅行」をスタートさせたことには、改めて、この副
賞の「機動隊員等を励ます会」の御好意による「ハワ
イ研修旅行」をスタートさせたことには、改めて、この副
賞の「機動隊員等を励ます会」の御好意による「ハワ
イ研修旅行」をスタートさせたことには、改めて、この副

機動隊改革が定着しつつあつた平成4、5年頃の警備
情勢を回顧してみます。平成4年には宮防衛庁長官
邸に100メートルの至近距離から飛翔弾が撃ち込まれた
という事件が発生しました。当時、極左は、命中しな
い長距離飛翔弾ではなく、比較的警備薄と、その副賞
という大規模警備が重なる平成5年も退職者は少なく、
機動隊員の待遇改善という所期の目的は十分達成するこ
とが出来たと思ひます。

機動隊改革が定着しつつあつた平成4、5年頃の警備
情勢を回顧してみます。平成4年には宮防衛庁長官
邸に100メートルの至近距離から飛翔弾が撃ち込まれた
という事件が発生しました。当時、極左は、命中しな
い長距離飛翔弾ではなく、比較的警備薄と、その副賞
という大規模警備が重なる平成5年も退職者は少なく、
機動隊員の待遇改善という所期の目的は十分達成するこ
とが出来たと思ひます。

平成6年以降、大規模警備は全国に拡散していきまし
た。それは、平成7年の「大阪APEC警備」であり、
平成12年の「九州・沖縄サミット警備」であり、「大
阪APEC警備」の時、私は、大阪警備部長であつた
わけですが、大阪府警察はさすがに優れた陣容をもつて
いましたが、いかにせん、マルチな国際会議警備という
ものを経験したことがありません。そこで、警視庁から
警備部門、特に警備部長の経験豊富な人達に長期に亘つ

5. 大規模警備の全国拡散

平成6年以降、大規模警備は全国に拡散していきまし
た。それは、平成7年の「大阪APEC警備」であり、
平成12年の「九州・沖縄サミット警備」であり、「大
阪APEC警備」の時、私は、大阪警備部長であつた
わけですが、大阪府警察はさすがに優れた陣容をもつて
いましたが、いかにせん、マルチな国際会議警備という
ものを経験したことがありません。そこで、警視庁から
警備部門、特に警備部長の経験豊富な人達に長期に亘つ

て来ていただき、指導を受け、結果としては、大成功に終
わることができました。
また、平成12年の「九州・沖縄サミット警備」は、全国
から実に18000人を沖縄県に動員するという大警備で
ありましたが、部隊を多く派遣するというのは、一面で
は、派遣を受ける県にとっては、非常に負担になります。
そのため、警視庁、大阪、神奈川など全国警察が全面的に
バックアップしました。いざいざ、いざいざ、いざいざ、
警備が先送出来たわけですので、全国どこにおいても大規
模警備ができるという自信に繋がりました。ただ、今後とも、日本実施に
ついてノウハウが蓄積されていく大規模警備、特に警視庁の存在が頼りにされ
ております。

6. 今後の課題「国際テロ対応を念頭に」

一昨年の9・11テロを契機に、有事対応法制の誤謬が浮
上し、自衛隊の防衛出動、治安出動のほかにも、例えば、領
域警備などという枠組みを作り、自衛隊を治安維持にもつ
と活用する道を開くという議論が出てまいりました。こ
れについて、治安維持は原則として警察の仕事であるとい
う立場をとつた警察庁は、「警察は縄張り意識を出したと
一部マスコミが批判したのですが、この批判は全くの的外
れの批判であると思ひます。警察としては、これまで
と同様に警察力で対応しきれない事態において自衛隊が
出動することについては反対する気は全くありません。そ
のため治安出動という制度があるのです。しかし、警察力
で対応可能なか否かを曖昧にしたまま、無原則で自衛隊を
出動させる枠組みを、新たに設置するといふのはいかに
もかと言つておられる。

世界の法制をみても、治安に軍が出てくるのは、治安出
動が警察の指揮下での出動に限られています。例えば、9
・11テロの直後、フランスのドゴール空港を兵士が小銃を
持つて歩いていきましたが、これも、警察の指揮下で行われ
ております。警察としては、必要があれば治安出動を行
うことには異論はなく、客観的に警察力の限界を定められ
よといつておられます。権限争いや縄張り争いではない、防
衛と治安のさきとさきチーム作りがポイントとなるで
しょう。直近の情勢では、イラク戦争開戦の可能性が高
まっています。警視庁には機動隊、警察署を挙げた米国外
館をはじめとする米国際連施設や総領事官邸等の政府関係
施設の警備に取り組んでおられます。今回の場合、9・11テロ
や湾岸戦争によるテロ脅威以外に大衆運動の圧力も強まる
ことが懸念されるという点です。

最後に警察力の限界という点について、一言触れておき
ますと、大火力に対するには大火力でなければならぬと思
ひます。例えば、ハイジャックされた飛行機が突入してしま
う場合、これは軍隊やエアセックも防衛不可能です。また、自
衛隊のテロのような攻撃についても、火力で対抗するのではな
く、堅固な防衛施設で守る方が有効であり、目下、総
理官邸の施設強化も進められております。そして、何よりも
重要な点であり、これこそ警察が主たる任務として日夜
取り組んでいるところであり、これは、世の中の情勢変化
に応じて警察も一定程度の火力強化が必要であり、その化
による判断の下、警察の銃器対策部隊にサブマシンガン
を導入したところであり、さらに我が国の治安の維持につき
重要な事象にも全くの対応を図るためには、警察と自衛
隊の緊密な連携は不可欠です。目下、自衛隊との治安出動
協定の見直しに伴い、運用はどうあるべきかという点につ
いて、都道府県レベルで検討を進めており、今後とも、連
携強化を期して参りたいと思ひます。

平成6年以降、大規模警備は全国に拡散していきまし
た。それは、平成7年の「大阪APEC警備」であり、
平成12年の「九州・沖縄サミット警備」であり、「大
阪APEC警備」の時、私は、大阪警備部長であつた
わけですが、大阪府警察はさすがに優れた陣容をもつて
いましたが、いかにせん、マルチな国際会議警備という
ものを経験したことがありません。そこで、警視庁から
警備部門、特に警備部長の経験豊富な人達に長期に亘つ

CONTENTS

- P1 第26回 東北支部総会開催！
～隊員と会員総勢300名の懇親の場～
警視庁第一機動隊「清明寮」竣工式挙行政！
- P2 特集「米英イラク戦争 不眠不休の警戒警備は今…」
- P4 Member's Lounge 「イラク・北朝鮮情勢と我が国の対応」長谷川 重孝 氏

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0055 東京都大田区仲六郎4-32-5
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会費の中には購読料を含む)

はげまし

May.2003 No.346

For the Riot Policemen & Members

隊員と会員総勢300名の懇親の場
大盛況の支部総会！

第26回 東北支部総会開催！



全員輪になって「この世を花にする為」を大合唱



懇親会は終始和やかな雰囲気

連休明けの五月八日、第二十六回東北支部総会が東北管区各県の警察幹部、機動隊員、及び「励ます会」の会員を併せて総勢300名余り参加の下、「ホテル仙台プラザ」において盛大に開催された。

冒頭東北支部柴田支部長が支部を代表して「昨年は仙台でのワールドカップサッカー大会警備を始め、全国植樹祭、冬季アジア大会、更には原子力発電所警戒警備等重要警備が相次いだが管区機動隊の皆様は立派に任務を遂げられ頼もしい限りである。イラク戦争は一応の終結を見たが、北朝鮮の核開発問題、拉致問題等緊

迫した国際情勢の中で治安問題の重要性は益々高まっている。機動隊の皆様には有事における敏速な対応を大いに期待したい。」と挨拶。

次いで佐々木理事長が立ち「最近、纏まった時間が取れるようになり、歴史学者トインビーの名著『歴史の研究』全二十五巻読破に取り組んでいる。全中でチクルス・ユーフラテス、インダス、ナイル、黄河等の四大文明の起源について私は従来大河の河口の肥沃な土地だから、文明が発達したのだと思込んでいたが、そうではないらしい事が解った。自然災害の猛威という『挑戦』に『応戦』することによって、大文明が形成されて行ったようなのである。日本も明治維新・第二次大戦等の世界の潮流からの『挑戦』に『応戦』して国運の隆盛を招いたという歴史がある。今三度び、米国文明の挑戦・グローバル化の挑戦を受けている時代と認識しているが、国を挙げて正しく『応戦』して行かなければならない。いささか百鬼夜行の世の中になっってしまったが、秩序の維持は国家の結束の大前提であり、本日も機動隊員の諸君の節度ある入場行進振りに非常に頼もしさを覚えた。」と語った。

この後東賓として得能東北管区警察局長、東川宮城県警本部長から、交々に当会への謝辞、益々高まる使命の重大さを踏まえた意気込みにつき御話しを頂いた。森東北支部理事の音頭で乾杯の後、懇親会に入りバンドの演奏が流れる中、恒例の福引き抽選会を楽しんだ後、出席者全員で輪になり肩を組み「この世を花にする為」を大合唱。更に管区機動隊菅原第一大隊長の謝辞、「励ます会」東北支部伊藤副支部長の音頭による万歳三唱と続き大盛況の内閉会した。

機「清明寮」竣工式挙行政！



警視庁第一機動隊単身者待機寮「清明寮」がついに完成。様々な警備で活躍している若い隊員たちの新たな生活拠点のお披露目となりました。

▲安藤隊長

去る四月十六日、東京都千代田区北の丸公園内の警視庁第一機動隊隊舎において新寮「清明寮」竣工式が挙行政されました。式典は亀井副隊長の開会の辞で始まり、全員で国歌斉唱、その後警視庁池田警備部長よりご挨拶がありました。

当会からは佐々木理事長、早速常任理事が出席し、理事長の祝辞が述べられました。さらに今年二月新たに着任された安藤隊長の謝辞で締めくくられ、新たな「清明寮」のお披露目に移りました。

三月二十日に竣工した鉄筋コンクリート造り地下一階、地上九階建ての新「清明寮」が式典の参列者に公開されましたが、トレーニングルームの設置等隔々まで配慮の行き届いた、機能的に充実した施設です。近代的な新寮竣工を契機にこの寮で生活する幸運に恵まれた隊員たちは、緊迫する我が国の治安を守っていく気概を一層高められたことでしょう。

最後に中庭で若き隊員たちの思いを込めた記念植樹が行われました。



当会佐々木理事長

第30回通常総会及び懇親会開催の件

- 6月1日(水) 都内明治記念館に於いて開催致します。
1. 通常総会 午後5時30分～午後5時50分
議案 ①平成14年度事業報告及び
平成14年度収支決算報告承認の件
②平成15年度事業計画案及び
平成15年度収支予算案承認の件
③任期満了に伴う理事及び監事選任の件
2. 懇親会 午後6時～午後7時30分
皆様多数の出席をお待ち申し上げます。

- 若さと伝統
頑張れ機動隊
- 五十鈴 (株)
 - 青山特殊鋼 (株)
 - (株) エース電研
 - 大野興業 (株)
 - スカイコート (株)
 - 杉尾榮俊
 - 橋山和生 (株)
 - 国見山 (株)
 - 光洋商事 (株)
 - 明鋼材 (株)
 - 中京製線 (株)
 - 東海レベラー鋼業 (株)
 - 日鉄物流 (株)
 - 山陽鋼業 (株)
 - 中越通運 (株)
 - 北越メタル (株)
 - 自見産業 (株)
 - 豊鋼材工業 (株)
 - (社) 機動隊員等を励ます会
 - 東北支部

特集

機動隊員 重要施設等

米英イラク戦争

不眠不休の警戒警備は今...



▲ 米国外務省対策警備 (警視庁)

基地正門前に一般市民が押し掛ける
(神奈川県横須賀市)



米英軍によるイラク攻撃に伴い警察では、テロ対策のため全国の重要施設等の警戒警備を強化してきました。

前号特集で6つの地域の警戒警備の様子を取りあげましたが、今月号でもさらに3つの地域の強化した警戒体制を機動隊員の方々に語って頂きました。

全国一斉に行われた重大警備。戦争が終わった今もなお、それぞれの地域では厳重な警備体制が敷かれています。

全国各地で不眠不休の警戒警備 2003.3.20~ PART2

前号に引き続きイラク戦争が開戦した3月20日からの各地警戒警備活動の様子を紹介致します。

Watch Defence

1

大阪府では... 米領事館の警戒警備に従事して

新編成の部隊とは思えぬ一糸乱れぬ動きで!

本年三月二十日、米軍等がイラク共和国への攻撃を開始した直後、我が中隊に出動命令が入り、米領事館周辺における突発不法事案対策に従事することとなった。

米領に向かう車中、無線から現場の騒然とした状況が伝わる中、春の人事異動により、新体制になって初の中隊長を命ぜられたばかりで、適宜適切な警備ができるのかと、一抹の不安と期待を抱きながらの出動となった。

現場は予想どおり、イラク攻撃開始の当日ということもあり、抗議行動も異様な盛り上がりを見せ、戦争反対の抗議のため集まった多数のグループに、米領事館前の歩道が埋め尽くされるという騒然とした状況であった。

その騒然とした状況下において、我が中隊は、これが新編成の部隊であると思えない一糸乱れぬ動きで、不法事

案を未然に封圧し、無事警備を完遂することができ、私の不安を杞憂に終わらせるばかりでなく、私が部隊に抱いた期待に十分応える内容であった。

今後も、本警備での経験と自信を胸に、隊員達と切磋琢磨し、中隊一丸となり精進な部隊づくりに励んでいきたいと思う。

大阪府警察機動隊 森前 俊也

Ohsaka

沖縄特別派遣での隊員エピソード

これだけ多くの機動隊員の皆さんが全国各地で勤務されていると、警備以外のところでも様々な出来事があります。そんなちょっとしたエピソード、心温まる出来事を紹介します。

1 episode 沖縄少年剣道に「二刀流」出現!

剣道七段の中隊長、夕方に警戒エリアの拠点である宜野湾警察署に立ち寄ったところ、道場から少年の「メイン、コナー」のかけ声、その声に引き寄せられて道場を覗き込むと外国人の子供五、六人を含め、三十八人が稽古をしていた。



▲ 米領事館前の歩道が埋め尽くされ、一時騒然とした状況に

Watch Defense

肌で感じる住民からの大きな期待 地域住民のために！ 福島県では…

二〇〇一年九月十一日、米国中核を狙った同時多発テロが発生した。無差別テロは、罪のない一般市民を巻き添えにする卑劣な行為であり絶対許されないことである。

それ以降、原子力発電所をはじめ、重要施設等に対する警戒警備が続く中、イラクに対する武力行使がテレビ等を通して日に日に現実味を帯びてきた。

三月二十日、恐れていたことがついに現実となり、午前十一時四十分頃米国等による武力行使が開始された。

警戒警備を実施中、海釣りをしていい男性に声をかけた。「こんにちば、いい天気ですね。」すると男性は「ご苦勞様、おかげで安心して眠れます。寒いので風邪なんかひかぬーように頑張つて。」と、感謝と励ましの言葉で応えてくれた。私は、照れくさいと同時に自分の頬が緩み、住民からの期待が大きいことを肌で感じた。

私達は、一日も早く平和な世界になることを祈りつつ、原発警備員の人たちの協力を得ながら警戒警備を強化するとともに、鋭敏な感覚と熱意で住民が安心して生活できるように任務を全うしていきたいと思う。

原子力発電所警戒に関するエピソード episode

特派部隊舎経営者(民宿××の〇〇さん)からのメッセージ

先日から警備のため、我が民宿を宿舍にしていただいている皆さんについて、「近頃の若い者に似合わず礼儀正しく、キビキビした態度で清々しく、気持ちのいい青年だな」と思っております。

昨日のテレビニュースを見て、改めて機動隊員の勇姿に感激しました。

自分の息子のような年齢の方々が、こんな重要な任務に就いて立派に責任を果たし

ているのだなと感じました。また、たくさん隊員の皆さんが一斉に整列し、重装備を扱っているのを見て力強く、頼もしく思え、これまでは違ったイメージを受けました。

これからも厳しい勤務が続くと思いますが、宿舍ではゆっくり休んでいただき、おいしい食事を食べてもらおうと私も頑張ります。

い、突発事案発生時の対応要領を早期に習得しなければならぬ状況となった。デモの規制要領から爆弾の処理要領まで我々機動隊員の任務は多岐にわたり、その内容も専門的、かつ、複雑を極めていく。とても一朝一夕に習得できるものではないが、隊内には、休む間もなく指導にあたる先輩隊員も、必死にその習得を目指す新入隊員との強い連帯感が生まれている。現在愛知県警察機動隊は、全隊が一丸となって警戒警備にあたるのである。

愛知県警察機動隊 勝野 善弘

Aichi



▲全隊が一丸となって警備にあたる

episode 4

特派隊員が「グリーン作戦」?

イラク戦争に伴い、神奈川の米軍関連施設をめぐってテロ警戒に当たっている特別派遣の中部と近畿の高管区機動隊員約1,000人が四月二十四日、ホランテシアで恩納村の海岸線まで約1キロを清掃する「グリーン作戦」を行った。



隊員たちが「グリーン作戦」開始!!

米英イラク攻撃が開始され、約2ヵ月。戦争は終わったものの、未だ全国各地、米国関連施設や重要警戒地区では厳重な警戒警備が続いています。前号特集に続き、今月も3つの地域の活動を紹介しましたが、これはほんの一部の活動にすぎません。私たち市民がこのような安心して生活できるのも、全国の機動隊員をはじめ、警察の皆さんが私たちから少しでも不安を払拭するよう治安を守るため、日々訓練し、警備に励んでいるからではないでしょうか。

episode 3

なんと！特派隊員が献血?

非番日に那覇市内へ買い物に行つたある隊員が「現在、沖縄県内ではO型の保血血液が不足しております」という献血車の広報を見た。

「沖縄に特別派遣された足跡を残したい」という声のもと、関係機関と調整した結果、四月十六日、十七日の両日、献血を行うことになった。沖縄県赤十字血液センターの移動採血車が密着近くの駐車場に出向き、一九人の隊員が献血を行った。

沖縄県赤十字センター献血推進課では、「保血血液がピンチのしており、こんなにたくさんの方の協力があるとは思っていませんでした。大変有り難いことで感謝しています」と語った。

episode 2

派遣期間中は、統一地方選挙の不在者投票!

外国の子供達用に英語表記も合わせて執筆したため、苦戦の毎日であった。

今回の沖縄県特別派遣期間中は、全国統一地方選挙の投票日と重なったため、部隊本部では隊員各人の不在者投票について、その方法、手紙などを周知徹底した。

隊員の中には、「活動先の疎離地でも不在者投票ができる」とは知らなかった」との声が聞かれたが、それぞれ、票を投じていた。

CONTENTS

- P1 第30回通常総会並びに懇親会開催！
「励ます会」新役員体制発足！
- P2 Member's Lounge「最近の中国情勢」児玉 洋二氏
監視庁機動隊観閲式開催！
- P4 アルジェリア大地震 国際緊急援助隊緊急出動！
群馬県警察見事な連携 遭難父娘無事救助！！

発行所 機動隊員等を励ます会
〒144-0055 東京都大田区中目黒4-32-5
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会費の中には購読料を含む)

はげまし

Jan.2003 No.347

For the Riot Police-men & Members

第30回 通常総会並びに懇親会開催！

社団法人 機動隊員等を励ます会
第30回(平成15年度)通常総会懇親会



最後は忘歳三唱で



30回目を迎えた通常総会懇親会

三十回を迎えた「励ます会」通常総会と懇親会。今年はいつもと増して盛大に行われました。これを機に隊員と会員の輪はさらに拡がっていきたいと思います。

昭和四十九年に第一回を開催して以来、数えて三十回を迎えた当会の「通常総会」と「懇親会」がさる六月十一日(水)例年通り、東京赤坂の「明治記念館」で開催された。

通常総会は会員百余名が出席し、佐々木理事長が議長として議事を進行、早速平成十五年度事業計画案及び予算案について報告、満場一致で承認された。

平成十四年度は日韓共催の「ワールドカップサッカー大会」の特別派遣隊員約一五〇〇名に支援物資を贈呈し、米国の同時多発テロの影響で中止されていた、ハワイ研修旅行御招待を復活したことが事業のポイントであった。

平成十五年度は従来どおりの激励支援助活動の展開と共に機関紙「はげまし」の内容充実、インターネットホームページの

開設を図っていくことが報告された。

次いで役員改選が諮られ、平成十三年の総会で選任された、理事五十八名、監事一名の内諸般の事情で退任される理事十九名を除き、理事三十九名、監事二名の総会を終了した事、十五名が新任として選出し総会を終了した事、引き続き会場を移し警察庁、監視庁幹部及び機動隊員の皆様と当会会員との懇親会が総勢三〇〇名で盛大に行なわれた。

冒頭、佐々木理事長から「当会も発足以来三十年を迎えたが、引き続き地道な支援助活動を展開していきたい。人類の歴史を振り返ると自然界、他民族等の「挑戦」に「応戦」しつつ文明は形成されてきた。明治以来、日本という国家も世界の挑戦に応じつつ、今日あるのであり、今後国家発展の為、秩序と治安の維持が大前提である。時代の要請に応じた機動隊の機能發揮に期待していきたい」と挨拶。当会活動に長年尽力された、瀧上俊一氏、藤光正治氏に感謝状が贈呈された。

次いで来賓の佐藤警察庁長官が「時代の変化に対応した柔軟な姿勢で多角的に機動隊の機能を充実させていきたい。長年のご支援に心から感謝申し上げます」と述べられた。

ハワイ研修旅行参加者代表として平成十三年度の剣道日本選手権優勝者第一機動隊の岩佐隊員の謝辞、当会発足発起人の一人で第二代理事長を務めた鈴木実理事の乾杯発声と続き、式次第にはなかつた石川監視総監の飛び入りご挨拶で会場は大いに盛り上がり、和やかな歓談に移った。

一類り懇親の輪が広がった後、第六機動隊小原隊員の謝辞があり出席者全員が会場で輪になって「この世を花にする為」を大合唱、当会深谷副理事長による「万歳三唱」で大盛況の内に閉会した。



▲ 佐藤警察庁長官



石川監視総監 ▶

六月十一日(水)に開かれた第三十回通常総会において、役員改選が行われ、十九名の理事が退任、十五名の新理事が就任しました。

また、執行部体制、各支部長人事についても異動がございまして、役員改選が行われ、十九名の理事が退任、十五名の新理事が就任しました。

新しい時代の当会の活動の在り方について、より意義深いものとすべく若返りとなった新役員体制で積極的に取り組んでまいります。

「励ます会」新役員体制発足！

本部・支隊一丸の活動を推進する



役員一覧表

役職	兼任/新任	氏名	役職	兼任/新任	氏名	役職	兼任/新任	氏名
理事	重任	鈴木 貴	理事	重任	廣澤 清	理事	重任	山田 伍緒
〃	〃	佐々木 喜朗	〃	〃	關 昭太郎	理事	新任	浅田 泰男
〃	〃	杉尾 榮俊	〃	〃	岡田 紀雄	〃	〃	浅利 重法
〃	〃	西田 鐵男	〃	〃	菅 千太郎	〃	〃	大住 昌弘
〃	〃	曾根 貞雄	〃	〃	中野 卓司	〃	〃	大野 譲
〃	〃	黒田 一	〃	〃	松本 成朋	〃	〃	草野 泰道
〃	〃	岡谷 篤一	〃	〃	河田 宏造	〃	〃	国峰 淳
〃	〃	高橋 重廣	〃	〃	木村 純	〃	〃	小山 巖
〃	〃	柴田 秀次朗	〃	〃	佐藤 修	〃	〃	坂本 幸丸
〃	〃	橋本 誠	〃	〃	自見 榮祐	〃	〃	佐々木 宏機
〃	〃	児玉 洋二	〃	〃	杉田 公義	〃	〃	杉田 弘生
〃	〃	深谷 晋	〃	〃	鈴木 貴士	〃	〃	瀧上 亮三
〃	〃	河内 鋭雄	〃	〃	武田 厚	〃	〃	平井 譲二
〃	〃	小林 直樹	〃	〃	中田 英幸	〃	〃	藤本 真人
〃	〃	橋山 和生	〃	〃	西野 太一郎	〃	〃	右田 裕之
〃	〃	川淵 長英	〃	〃	早速 義男	〃	〃	宮本 盛規
〃	〃	今泉 烈	〃	〃	堀口 勝哉	監事	重任	鶴川 温
〃	〃	今井 幹文	〃	〃	丸橋 哲彦	〃	〃	岩井 榮三
〃	〃	南 元一	〃	〃	山崎 毅	〃	〃	

計56名

執行部一覧表

役職	兼任/新任	氏名
理事長	重任	佐々木 喜朗
副理事長	重任	深谷 晋
副理事長	新任	小山 巖
常任理事	重任	早速 義男

各支部一覧表

支隊	兼任/新任	支部長氏名	支隊	兼任/新任	支部長氏名
北海道	新任	坂本 幸丸	名古屋	新任	岡谷 篤一
東北	重任	柴田 秀次朗	大阪	重任	木村 純
北陸	重任	今井 幹文	中国	新任	堀口 勝哉
千葉	重任	菅 千太郎	九州	重任	自見 榮祐

Member's Lounge

講演会録

最近の中国情勢

SARS問題のリスク管理の不手際で国際的な批判に曝されてはいますが、二十一世紀の世界において政治的にも経済的にも最も関心を持たれている国家が中国であることは、異論の無いところだ。ビジネスを通じてこの十年、頻りに中国各地を訪れ、その社会体制、国民性、風土等々つぶさに観察されて来られた講師より「最近の中国情勢」と題して御話を伺いました。



5月のゲスト
よし 洋二氏
こだま 児玉
山九(株) 代表取締役 副社長

プロフィール

昭和11年生まれ
昭和36年 東京大学法学部出身
八幡製鐵(株)
＜現新日本製鐵(株)入社＞
同社常務取締役
山九(株)入社、
代表取締役副社長就任
「日中経済知識交流会」
委員他要職多数

「第四世代」の中には日本留学経験を持つ知日派が多く彼等が中国を率いて行くこれからの五年間程度が、二十一世紀の良好な日中関係を築いて行く唯一の絶好の機会と思われる。何故ならば次の世代であり目下は、省の書記・省長或いは政府の最若手の部長・次長(大臣・次官)を務める「第五世代」の人材は総じて欧米留学組で、もの考え方欧米流で日本への関心も知識も「第四世代」と比し相対的に希薄な為、この世代の時代になる我が国指導層との緊密なコミュニケーションが取り難くなるのが懸念されるからである。又江沢民政権下の朱鎔基首相に代表される様な個性溢れるカリスマ的指導者の時代から集団的指導体制に移行し、民主主義国家に近い政治経済運営が行なわれて行くものと予測される。

中国の今後については悲観論、楽観論が交錯しており、私自身も或る部分では楽観論であり、他の或る部分では悲観的な見方になり、両論の狭間で揺れているというのが正直な気持ちである。私が中国とビジネスで関わり出して約二十年、頻りに訪問する様になって僅か十年に過ぎないがこの十年の中国の変化はとりわけ顕著だったと思われる。特にこの数年は年間一ヶ月以上滞るし、広い国土を網羅出来ないまでも、沿海部は勿論のこと、北は吉林省長春、内陸部は西都、重慶、雲南省昆明迄かなり広範囲に足を運んで多くの人に接し文物を見聞して来た。この体験に基づき本日はなるべく悲観的な視点に排して、私から見た最近の中国情勢につき語らせて頂く。

1. 大きく変動する中国の政治経済

① 政権の平和的委譲表現

昨年暮れの「中国共産党大会」本年三月の中国国会「全人代」を通じて江沢民体制から胡錦濤体制へ中華人民共和国史上初め和平的な政権委譲が実現し、所謂「第四世代」による統治が開始した。革命後の「第一世代」が毛沢東時代、「第二世代」は鄧小平、「第三世代」が江沢民時代であり、この三世代の指導者達は、圧倒的にソ連に留学してマルクス・レーニン主義を学んだ人々を中心で、マルクス・レーニン主義に基づき社会主義国家としての中国を構築して来た。又彼等は日中戦争の記憶が鮮明であり、毛沢東指揮下の革命戦争を実体験した世代でもある。一方今回及び政府の要職に就いた

「第四世代」の中には日本留学経験を持つ知日派が多く彼等が中国を率いて行くこれからの五年間程度が、二十一世紀の良好な日中関係を築いて行く唯一の絶好の機会と思われる。何故ならば次の世代であり目下は、省の書記・省長或いは政府の最若手の部長・次長(大臣・次官)を務める「第五世代」の人材は総じて欧米留学組で、もの考え方欧米流で日本への関心も知識も「第四世代」と比し相対的に希薄な為、この世代の時代になる我が国指導層との緊密なコミュニケーションが取り難くなるのが懸念されるからである。又江沢民政権下の朱鎔基首相に代表される様な個性溢れるカリスマ的指導者の時代から集団的指導体制に移行し、民主主義国家に近い政治経済運営が行なわれて行くものと予測される。

中国の目覚ましい経済発展のきっかけは、一九七八年の鄧小平により経済発展政策が経過してない。その発展の歴史とモデルを順次振り返ってみると先ず、八〇年代は香港モデルと言われるが、華南地区の農村深圳を経済特区に指定し加工貿易基地として経済構造の構築に成功。次に九〇年代にはシンガポールモデルで上海地区で展開、上海地区という限定されたエリアの地方政府に大幅に権限を委譲し、国費を傾斜的に注ぎ込み、政策企業立案も任せ大経済圏を創り上げた。更に二〇〇〇年代に入ると渤海湾を取り巻く都市及び地域(北京、天津、山東省、遼寧省)の発展を図った。渤海湾沿岸では上海の南の浙江省では浙江モデルといわれ、民間活力利用策が推進さ

れ全中国で私営企業が最も多い地区となつている。又山東省では韓国型と称される山東モデルが成功を収めている。このモデルは地域巨大企業の創設とその周辺企業のバランスよい育成であり、青島に本拠を置く中国最大の家電メーカーハイアール社とその周辺企業の発展振りは愛知県豊田市を彷彿させるものがある。そして二〇一〇年代は既に第十次五ヶ年計画に組み込まれている西部大開発の時代であるが、これは経済発展政策というよりも社会政策と呼ぶべきであり、貧富格差縮小の為にいかして貧しい内陸部を成長発展させるかが主眼である。従って経済発展のみならず、環境問題、地域の人材育成等幅広い課題が含まれている。この西部大開発が中国経済に影響を及ぼす迄にはまだ七八年かかると言われており経済発展への寄与は二〇一〇年以降であろう。そして開発が順調に進捗して行けばその時点で必ずエネルギー問題に直面するであろうと思われる。すなわち石油は既に輸入国であり、増大する内需を出来る限り賄う資源開発が重要となる。電力供給体制も大幅な電力消費増に対応出来る体制でなければならぬ。水への役割を全く果しておらず、南の揚子江の水を北へ運ばねばならない。一五〇年前に隋の煬帝が造営させた運河を逆流させるものと他に二本の更に西部プロジェクトが計画されている。更に西部大開発の目玉として次の三大プロジェクトが世界の注目を浴びてであろう。①西気東輸(西部の天然ガスをパイプラインで東部に運ぶ)②三峡ダム建設(水力発電の電力を東部に送電)③青海省・樓蘭からチベットへの鉄道の敷設。

さて先年策定された第十次五ヶ年計画において二〇二〇年迄にGDPを四倍に一人一人が程々にゆとりある生活を送れる様な社会を建設することを謳いあげている。約二十年でGDP四倍は非常に高いハードルと思われながらも知れないが、過去二十年ではGDPは五倍に伸びており従来よりはスロウダウンさせているという見方も出来る。取り敢えず国家的プロジェクトとして二〇〇八年の北京オリンピックと二〇一〇年の上海万博が予定されており、オリンピックの準備は前回

落選時にかなり進捗していたので追加投資のみであるが、上海万博は大規模需要喚起の起爆剤として期待出来る、これらが相俟つて少なくとも二〇一〇年迄の中国経済は順調に推移するのではなからうか。さて現在の中国の経済体制につき、中国政府は社会主義市場経済と称して社会主義という言葉が相変わらず外されていなくなっているが、実態は資本主義と大差ない体制になっていると言えよう。

昨年末の「中国共産党大会」でかねて江沢民が唱える三つの代表という思想が正式に綱領(中国憲法)に盛り込まれた。そして本共産党にとって敵であるべき資本家が党員となり「全人代」に議員として登場する事態が生じた。現在、中国共産党員は六七〇〇万人と全人口の五〇〇万人に達し最も無視し得ない大勢力であり、党として党内に取り込んだ方が得策との判断が働き、資本家側も今後共事業を円滑に発展させていく為には排除される立場より党員として市民権を得る方がメリットが大きいと判断、彼等の利害が一致した結果である。又今回書き換えられた綱領の中から、プロレタリアと資本主義という共産主義を語る上で欠かせなかった二つの言葉が総て削除された。今や共産党という党名さえも形骸化しているのだが、もしも党名迄変更した場合は、直ちに保守派が共産党を名乗る懸念がある為、やむを得ず継続していると言ったのが真相の様である。江沢民前党主席は去春、共産党の幹部養成の為の大学で「政治文明の高揚」という大演説を行なっている。その骨子は「一党独裁に拘らず民主化を推進しよう。その為には健全な中産階級の育成が急務である」というものである。多くの政府要人はよくこう語る。「我々には反面教師といえる二つの鏡がある。一つは旧ソ連であり彼等は民主化を急ぎ過ぎたため、その結果社会に歪みが生じ、マフィアの跳梁等の弊害が生じたのではなからうか。従って中国では経済体制の資本主義化を推進し市場経済が定着した後、民主化に着手する」というステップを踏む積もりだ。二つ目はインドであるが、この国はいずれ人口において中国を凌駕する時期が来る大國だが中国に比べて、発展が停滞している原因はその身分制度にあると判断する。実は中国にも独自の戸籍制度があり、農民と工民という区別が厳然と存在し、農民が勝手に都市に出てきて、工場労働者

になることは現在制限されているが将来は是非廃止したい。」結局、世界の潮流の中で、中国は慎重かつ計画的に資本主義社会に委縮せざるを得ないものである。何故ならば冷戦終結を得意とした東西対立の構図が最早消滅してしまっておりイデオロギー論争が無意味になってしまった事、更に経済発展により、経済活動の海外依存度は日本の二倍にも達し、巨大市場が自律的に活動する中で、市場をどうコントロールするかに腐心している状況である。もう一点見逃せないのは、情報革命の猛烈なスピードでの進展振りである。目下インターネットの利用人口は六〇〇〇万人、CNN TV五〇〇〇元(七五〇〇〇円)、香港のスターTVも三〇〇〇元(四五〇〇〇円)で全く制限なく視聴可能、従って市民は世界で何が起きているのか、イラク戦争もSARS問題も熟知しており、最早情報コントロールが不可能である以上、市場経済と民主主義を掲げる国家に委縮せざるを得ないのである。

③ 今後の経済運営
その背景となる外交方針であるが、先ず一貫して大國重視の全方位協調外交であり最重要国は米国である。その証拠に今回のイラク戦争開始は非につき、従来ならば真っ先に反対し国連安保理での拒否権発動に及んでいただろうが、今回は誠に慎重、他國の動きを観察しながら積極的な反対論は唱えず、米国に対し最大限の神経を使っていることがよく判る。
もう一つはアジア全域との協調外交と東アジア三国(日・中・韓)の密接な関係構築である。既に東南アジア総ての國家とフリートレードアグリーメントの國家と一挙に締結しており、本音がどの辺にあるのか不透明なところもあるが、日本とのパートナーシップの重要性を強調している。問題の北朝鮮についてはその対応に当惑しているのが真相である。今回同国が崩壊して東アジアのバランスが崩れる事は回避したが、朝鮮戦争以前の友好関係に基づき過度に擁護することによって、米日・韓の反撥も買いたくなく、方針策定に苦慮しているものと思われる。更に日中関係につき詳述すれば、日中間の貿易額は年間一〇〇〇億ドルを越えており二国間の取引を関係としては、世界中で他には僅か四組(米加・米独・米墨・日米)しかない程の緊密なもので

アルジェリア大地震 国際緊急援助隊緊急出動!



捜索活動とともに捜索犬

瓦礫の山からの救助活動は困難を極める

機動隊員 出動!

先月、アルジェリアにおいては大地震が発生、国内群馬県では遭難事件がありました。
そこで今回は救助に関わった隊員の皆さんに救助活動の様子を語っていただきます!

五月二十一日午後七時四十五分(日本時間二十一日午前三時四十五分)、アルジェリアにおいてマグニチュード六・七の大規模地震が発生しました。
アルジェリア政府の要請を受け、警察、消防、海上保安庁等、国際緊急援助隊救助チームの派遣を決定、警察からは国際緊急援助隊員として指定されている機動隊員が緊急出動。数十時間後は活動を開始しました。

アルジェリア派遣を終えて

「第一陣部隊が一名救出したそうです」
私たち第二陣がアルジェリア空港から現場に向かおうとしているバスの中での朗報であった。早く到着して救出活動をした。気持ち焦る。
現地は想像以上に曇く、瓦礫の山と化したホテルからの救出活動は困難を極めた。しかし、警察、消防、海保との混成ではあるが、チームワークは驚くほど良く、目的を同じくする同志を阻むものは何もなかった。疲れを感じないというのは嘘になるが、それ以上に背中の「JAPAN」の重みに突き動かされたような気がする。

国際緊急援助隊での活動は、私の一つの夢であった。被災地に災害救助部隊を派遣することの意義の大きさと、実際の救助活動の大変さを体験させていただき、他に代えることのできない貴重な経験となった。この体験を機動隊勤務に反映させるべく、日々先輩の指導育成に全力を尽くしたい。



警視庁第二機動隊 西 文宏

群馬県警察見事な連携 遭難父娘無事救助!!



群馬県警航空隊ヘリコプター「あかぎ」へ搭乗

五月二十四日、群馬県山中において父娘が遭に迷い遭難。今日こそ発見して救助するぞという意気込みで捜索をした結果、群馬県警察の見事な連携で無事、父娘を救助しました。

父娘の救助活動に従事して

平成十五年五月二十四日、群馬県吾妻郡六合村地内の山中でハイキングに訪れていた父娘が、道に迷い遭難する事案が発生した。

私に出勤命令があったのは三日後の五月二十七日午前十一時四十分、直ちにレンジャー装備を装着し、群馬県警察航空隊ヘリコプター「あかぎ」に搭乗した。

乗組員は、機長、副操縦士、整備士と私を含めた四人で普段から訓練を共にする気心知れたメンバーであった。

「天候晴れ、視界良好」、「今日こそ発見して救助するぞ、二人とも無事でいるはずだ」四人の思いが機内を張りつめ、前日からの情報をもとに付近上空から捜索するが、熊笹や木々が生い茂る中、人を捜索するには困難極まりない状況だった。

「おかしい、本当にこの辺りにいれば発見できるはずだが...」と機長が呟いた。「あかぎ」も給油の必要があったが、機長の判断でギリギリまで捜索を続行することになった。

「あかぎ」も給油の必要があったが、機長の判断でギリギリまで捜索を続行することになった。

「大丈夫ですか、高橋さんですね」と尋ねると父親は「はい」と力の無い声で静かに頷き、近くにいた娘さんからは安堵の表情がうかがえた。

二人は救助用ハーネスを着装し、上空の「あかぎ」に収用したが、ヘリコプターの搭乗人員から私は現場の斜面に残り、二人はそのまま「あかぎ」にて搬送された。

迎えるヘリが到着するまでの間、私はその場に腰を降ろし、雲一つない快晴の青空を見上げながら、「ああ、良かった、本当に無事で良かった」と心の中でつぶやき、この誇り高い仕事を誇り、そして機動隊員としての達成の充実感を味わっていた。

機動隊員は、常日頃から厳しい訓練に励み、備え、いかなる事案にも対応できるよう備えている。

私は、今回の貴重な経験を生かし、更に訓練に励むとともに、今後は、先輩の指導育成にも努めていきたいと考えている。

群馬県警察機動隊 石川 健一

治安の砦 若さの機動隊

ナイルレストラン 共永興業(株)
G・M・ナイル 浅田隆司
TEL 03-3541-8246

(株)エース電研 谷本鉄鋼(株)

(株)エヌテック 新関西製鉄(株)

草野産業(株) 岡谷鋼機(株)

栗田工業(株) 新日本製鐵(株)名古屋支店

山陽特殊製鋼(株) 松田鉄鋼(株)

芝本産業(株) 堀口海運(株)

(株)スチールセンター(株) 辻さく

編集後記

当会発足足かけ三十年を迎えたが、昭和四十年代は当会発足のきっかけともなった。治安事件が続発し、機動隊員が身を賭して活躍する場面が多かったが、その後の東西冷戦終結で治安状況は沈静化。しかし、一昨年の九・一一テ

ロ以降、新たな世界対立が顕在化、北朝鮮情勢も相俟って再び緊迫化している。こうした歴史の移り変わりの中で当会の活動の三十年を振り返り記録にとどめておこうという企画を計画中である。「励ます会」事務局

CONTENTS

- P1 韓国大統領来日警備中、指名手配者検挙！
フレッシュマンレポート！
- P2 特集 機動隊の素顔「警視庁第五機動隊」
- P4 Member's Lounge
「国際支援のNGO・ピースウィンズ・ジャパンが目指すもの」松信 章子氏

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0035 東京都大田区中六軒4-32-5
発行人 佐々木 朝朗
TEL 03(3739)0690
購読料 年間1,200円
(但し会費の中には購読料を含む)

Jul.2003
No.348

はげまし

For the Riot Policemen & Members

韓国大統領来日警備中、指名手配者検挙！



本年六月二日午前〇時頃、韓国大統領来日に伴う警備において、都内の警戒態勢も厳しくなる中、私たち七機三中三小隊は、遊撃警戒車に乗車し、首相官邸・米国大使館エリアの警戒に従事していました。その日は日曜日の深夜帯であり、客待ちのタクシーばかりでしたが、その中に、不自然に駐車している外車を発見したのです。不審に思い近づいて見たところ、近くのビルから男が出てきてそそくさと車に乗り

五月三十日から六月九日にわたり韓国大統領の来日に伴う警備が行われました。その期間中、岡山県警から連続屋内侵入窃盗事件で指名手配中の被疑者を警視庁第七機動隊員が都内首相官邸・米国大使館エリアにて見事検挙しました。そのときの様子を隊員のひとりに語っていただきます。

込もうとしたので、私は「この男は何かしている」と直感し、「駐車違反ですよ」と声を掛けたのです。男は「すみません」と答えたのですが、発音に外国人なまりがあったことから、さらに不信任感を強め、免許証の提示を求めました。男は一瞬躊躇したのですが、私たちの姿に観念したのか、素直に持っていた免許証を差し出しました。照会したところ、岡山県警から中国人グループによる連続屋内侵入窃盗事件の被疑者として指名手配されていることが判明したので、男を通常逮捕して麹町署に同行し、その後岡山東署までの護送にあたり、すべての任務を完了しました。

今まで、訓授や戦術会議上で幹部から、複眼的な警戒に当たるとの指示されており、さらに、出動前のミーティングで具体的に役割分担を定め、そのとおりに行動できたことが今回の検挙に結び付いたものと思います。

現在、外国人犯罪などが急増し、治安情勢が厳しくなっている中、警視庁が一九二〇年になって犯罪抑止対策に取り組んでいる最中の検挙でありましたが、我々警察官の使命であり、その積み重ねが国民の期待と信頼にこたえ体感治安を向上させていくことであると確信しました。まだまだ未熟ではありますが、警視庁機動隊員として、誇りと使命感を持ち、常に攻めの姿勢で勤務に臨み、成果を残していきたいと思えます。



警視庁第七機動隊 廣岡 佳高

フレッシュマンレポート！

管区機動隊の入校訓練を終えた新隊員の方に、その意気込みを語っていただきます。

新隊員訓練を終えて
私は管区機動隊員となって四ヶ月の新隊員である。

部隊を経験してみたいという気持ちが強かったのですが、異動の内示を受けたときは、非常に嬉しかったです。管区機動隊員となって一ヶ月、初めての入校訓練を経験した。治安訓練、災害訓練、警備警護の訓練等、様々な訓練から感じたことは、機動隊員は常に「プロフェッショナル」でなければならぬということである。

警備活動において体力、気力が必要なのは言うまでもないが、多様な活動それぞれに知識、技術の習得が不可欠である。入校中、実際の現場を想定した訓練も実施したが、それらの知識技術が欠かれないならば、守るべき市民、それに我々自身を危険にさらさずことになると思えました。また、入校訓練という団体生活からも様々なことを学んだ。

私はまだ未熟な新隊員だが、新隊員には新隊員の役割がある。それが果たせないで部隊活動全体の遅れや妨げにつながってしまう。部隊活動においては隊員一人ひとりが、先を見越した目を持って、自分の役割を果たしていかなければならないと感じた。

現在の警備情勢は、極左のゲリラ活動や学生運動が盛んだった頃のような過激さはないが、悪化する治安問題の暴走族対策や不気味なカルト集団の存在、また、いつ発生するかも知れない災害等、管区機動隊に課せられた使命、期待は大きい。私はこれから、そんな管区機動隊の一員として、警備技術の習得、向上に努め、いざ出動時には自信を持って使命を果たせるよう日々の訓練を大切にしたいと思う。

そして、管区機動隊員としての経験は、今後の私の警察人生においても貴重な糧になるものと確信している。



中部管区機動隊 石原 茂樹

- 暑中お見舞い
申し上げます
- 東 鋼 業 (株)
 - (株) エース電研
 - 岡 部 (株)
 - 山陽特殊製鋼(株)
 - 山 九 (株)
 - 高 島 秀 一 郎 (株)
 - 日 鉄 鋼 板 (株)
 - 木 村 政 次 (株)
 - 橋 本 尚 吾 (株)
 - 東 海 鋼 材 工 業 (株)
 - 豊 田 通 商 (株)
 - 丸 定 産 業 (株)
 - 宮 崎 精 鋼 (株)
 - 太 陽 シ ャ ー リ ン グ (株)
 - 内 外 運 輸 (株)
 - 藤 田 金 屬 (株)
 - 新 潟 ス チ ール (株)
 - 自 見 産 業 (株)

特集 機動隊の素顔

第4回

警視庁第五機動隊

「精強五機」その名のとおりの強さ。そんな五機の素顔に迫る!



五機シンボルマーク

TOKUCHOU 4

学生運動鎮圧に多く出動！ 「精強五機」 今も当時の精神を受け継ぐ...

五機は学園闘争の激しかった昭和40年代には学生運動鎮圧に最も多く出動しており、主に次のような警備活動を行い、多くの活躍をしました。

- 昭和43年9月 「日大紛争をめぐる」
「有排除仮処分執行警備」
- 昭和43年10月 「新宿駅騒擾事件警備」
- 昭和44年1月 「神田カルチエラタン闘争警備」
- 昭和44年1月 「東大封鎖解除警備」
- 昭和46年5月 「沖繩返還協定阻止闘争警備」

中でも、日大経済学部本館の封鎖解除の警備活動中、当時五機第三中隊長西條警部が殉職された事件は忘れることができません。機動隊としての使命を全うした強靱な精神は今も隊員の心の中で生きています。

TOKUCHOU 5 機 概 要

- 沿革
昭和25年9月16日 第五方面予備隊として創設
昭和32年4月1日 第五機動隊と改称
- 場所
東京都新宿区市谷本村町
- 主な警備体制
隊長以下317名が勤務
・治安警備、災害警備、重要施設の警戒等に従事
・皇族方や国内外の要人の安全を確保する警衛・警護警備、集団パトロール、交通指導取締り
・専門技能を有しているレスキュー隊、爆発物処理班による活動など
- 隊訓
「剛健」「優美」「協和」
- ニックネーム
「精強五機」「学の五機」
- シンボルマーク
学園の神様「湯嶋天神」のシンボルとも言える梅の花の五弁に、「智・仁・勇・信・美」をなぞらえ、これに、VICTORY(勝利)の頭文字とローマ数字の5を表す「V」をあしらって、昭和48年10月五機のシンボルマークとして制定した。

TOKUCHOU 1

五機「団結心の強さ」の秘密は... サッカーの強固な 「チームワーク」にあり!

警視庁サッカー部は五機が担っています。サッカー部は現在、東京都社会人サッカー1部リーグに所属しています。目標である「関東社会人リーグ昇格」に向け、大谷監督以下28名の部員が一丸となって非番・週休での練習に励んでいます。

さらに、これまで、韓国警察選抜チームとの親善試合、また、昨年の日韓ワールドカップサッカー警備を完遂した自信が個々のプレーの向上に繋がっており、多数の同僚の熟き声援を受けながら、全国レベルで活躍できるチームを目指し日々努力しています。



韓国警察選抜チームとのサインボールも!

フィジカル面、戦術に磨きをかけ、「全員攻撃」「全員守備」でフェアで熱い戦いを繰り広げています!



部下をかばい、身を犠牲にした使命感、人間愛は今も警視庁第五機動隊隊員一人ひとりに受け継がれています。毎年、春と秋には隊員たちは必ず上野にある西條警部のお墓参りをしています。この事件があったからこそ、隊員たちは現在のどんなに過酷な警備でも頑張つて乗り越えていけるのです。

まだまだ続く五機隊舎のぞき...

隊長へのクエスチョン



福井県出身
警察官として37年
■所属長経験■
平成14年春 第三方面交通機動隊長
平成15年2月 第五機動隊長として今日に至る。
各階級において、警備部門を経験。まさに警護(SP)、警備装備のスペシャリスト!

お待たせしました。第四回は学生運動鎮圧に多く出動、俊敏さで有名なにも負けない「精強五機」警視庁第五機動隊。五機の隊舎は実は昔、五機の強さには様々な秘密が隠されていました!

Q1 これまでの警備で一番嬉しかったことは何ですか?
大きな警備が終わった時でしょうか。最近で言えば「警備」です。そういった大きな警備が終わって「やった!」という瞬間が非常に嬉しい瞬間ですね。辛い警備で隊が一丸になればなるほど、終わった時に「やった!」という達成感でいっぱいになります。*警備車両等、アラビヤ半島に対する警備活動に皆一丸で取り組む

Q2 隊を運営する上で、大事にしていることは?
機動隊というものの「闘争集団」「警備のプロ集団」といった気持ちでやっています。隊員には「泣き言は言わないで黙々と行う」「頭を使え」ということを全訓日(全員で訓練を行う日)に伝えます。出勤前には一番言いたいことを伝えるように心掛けています。言うことは必ず二つにします。長く言うとう人間忘れてしまいますからね(笑)。

Q3 五機のセールスポイントを一つ挙げてとすれば?
「精強五機」というだけに団結心が強いですね。それに加え、俊敏さ、小回りがきく隊です。サッカーや空手道部が強いということもあり、それが関係しているのかもしれませんが、サッカーにしても空手にしても「一瞬のスキを突く」といったことが隊や隊員の特徴に表れているのかもしれないですね。

Q4 隊員からはどんな隊長だと思われるか?
「泣き言を言うな!」というのが口癖で、声は大きく、身体も大きいといった見た目からわかるように「恐い親父だな」と思われているのではないのでしょうか(笑)。でも、ガミガミ言うのではなく、言うべきことを言っているだけなのですが、自分の様々な経験を連じて教えたりの、できるだけみんなと触れ合い、声を掛けようとしています。

Q5 隊長だけだと、これだけは昔手・怖いものは?
あまりないけれど...今は女房ぐらい(笑)。昔は先輩でした。昭和四十年代の学園闘争が激しい時の分隊にいた「組長」は非常に怖い存在でしたね。

Q6 会員・市民からのどんな「はげまし」が一番嬉しいですか?
会員の「はげまし」が一番嬉しいですか?

現在は箭竹監督以下19名の部員が4年振りの「全日本実業団大会」『優勝』を目指し、非番・週休を利用して厳しい訓練をしています！



見事！素晴らしい功績。メダルの数々々々！！

- 【選手道部】平成4年創部
- 【全日本実業団空手道選手権大会】
- 出場1回 優勝1回 準優勝1回
- 【東日本実業団空手道選手権大会】
- 出場1回 優勝4回 準優勝6回
- 【全国警察空手道選手権大会】
- 出場7回 優勝7回



一瞬のスキ突く真剣勝負！



イラク戦争の警戒警備は何カ月にもおよびました。



都内の警戒態勢厳しく、韓国大統領来日警備

平成15年の主な部隊活動は以下の通りです。

- 3月27日 「北方領土の日警備」
- 3月20日～6月10日 「米国等イラク共和国に対する軍事行動に伴う警戒警備」
- 5月30日～6月10日 「国賓」大韓民国盧武鉉大統領夫妻一行 来日に伴う警戒警備

TOKUCHOU 3

「後継者」ではどこにも負けない五機隊員！
「機敏な」動きで選手道部
目指せ！2億円の全国制覇！！

サッカー部と並んで五機が活躍しているのは警視庁空手道部。平成4年に発足した空手道部は、歴史は浅いが、実力は全国レベル。数多くの実績を残しています。各種大会において常に優勝候補に挙げられ、他チームが目標とするチームにまで成長しています。

部員が道場において真摯な姿で訓練に取り組んでいる姿は、他の隊員の良き模範となっており、勤務においても常に前向きな姿勢で中隊の中心となることにより、同僚からの厚い信頼のもと、協力を得ながら訓練を行っているのです。

TOKUCHOU 2

「服遠寮」建設に突然ストップが！
なんと武家屋敷跡地…
市谷本村町遺跡発掘！

平成4年、五機の単身待機宿舎「服遠寮」建設にストップがかかりました。実はこの土地周辺、歴史を辿ってみると昭和5年（1768年）まで尾張藩徳川家上屋敷として使われていたようです。そのため五機「服遠寮」建設に伴う緊急発掘調査が平成4年から7年にかけて行われました。「服遠寮」建設予定地からは数えきれないほどの陶器など遺物がたくさん出てきました。こんなに歴史のある町だったなんて！隊員にとっては、まさかまさかの出来事だったようです。さすがに今は残っていないですよね！



数えきれないほどの遺物！まだまだほんの一部です

まさか、武家屋敷跡地とは…

TOKUCHOU 5

四機五機あかすの扉！?

TOKUCHOU 6

警察ではここにしかない！
大気汚染防止に「監視庁第五機動隊天然ガススタンド」

私たちが普段何気なく乗っている車。車種に入れるガソリンは大気汚染につながります。特に警備現場には車輜で移動し待機させているので、平成13年に「天然ガススタンド」が設置され、活用されています。こういったことも気に掛けながら活動している機動隊、さすがです！



天然ガススタンド。これは警察でただひとつ。



かつては、時計から右半分は四機、左半分は五機。現在もまだ隊舎内の階段は昔の四機側からも五機側からも両方上がれるようになっています。

これぞ、あかすの扉…現在はこれとおりの毎日開いております。

五機の隊舎はとっても古い！多くの隊は引越したり建て替えたりしていますが、五機はずっとこの建物で日々訓練、生活をしています。この隊舎、単に歴史があるだけではなくありません。なんとその昔五機だけでなく、四機の隊舎でもあったのです。前回隊舎訪問した四機が現在の東京都立川市に場所を移す前の話です。現在の五機隊舎の右半分が四機、左半分が五機隊舎だったそうです。その仕切りには「あかすの扉」がありました。そのため、当時は何をやるにも「競争」ばかり。声出しや訓練など、どちらかの隊が終わるまでやり続けるといったように、かなりの「競争心」があったとのこと。良い意味でのライバルだったようです。

～FROM会員～

機動隊のぎもん

Q 第4回目の素朴なぎもんは「隊員の1日」についてです。隊員のみなさんは訓練したり、警備をしたり、毎日決まったスケジュールってあるの？

A お答えします。
 毎日、決まったスケジュールはありません。なぜなら、いつ大きな事件が発生するかわからないし、それによって勤務体制も変わってくるからです。大きな警備があれば、1カ月連続で出勤…なんていうこともあります。ただ基本的には5部制といって「当番（夜通し警備）」→「非番（警備なしの日）」→「日勤」→「日勤」→「日勤」の繰り返しです。実際にどのような生活をしているのか少しのぞいてみましょう！

たとえばこんな感じのスケジュール

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
早朝	練習 (夜通し警備)	練習 (夜通し警備)	練習 (夜通し警備)	OFF	練習 (夜通し警備)
7:00	買材準備	↓	買材準備		買材準備
8:30	出勤 それぞれ持ち場へ	訓練 (夜通し警備)	出勤 それぞれ持ち場へ		出勤 それぞれ持ち場へ
昼	↓	↓	↓		↓
13:00	↓	↓	↓		↓
夜	当番 (夜通し警備)	↓	↓		↓

乗務道、空手、サッカーの練習をするほか無線や大型車両の運転訓練を自主的に行ったりしています。

日勤のうち休みが1日とれる場合もあれば2日の時も。日勤はそれぞれ現場に合わせた活動をしています。

ちょうど、取材に伺った時もサッカー、乗務の練習をしていました！このような熱心な練習の成果が試合でも警備においても出ているのです。

ちょっとした時間でも日々練習。こんなにたくさん「栄光のあかし」が！



「二善劣さまで、大変ですね」という「はげまし」の言葉ですね。難しいものは何もありません。「二善懸命守るぞ」という気持ちがあってもめげず、自分なりに声を掛けてもらったりも励みになります。自分の家族に声を掛けてもらったりも励みになります。

Member's Lounge 講演会録

国際支援のNGOピースウィンズ・ジャパンが目指すもの

1995年の阪神淡路大震災を機にボランティアに代表される非営利の活動が日本に広がった。法人格を与えて後押しする特定非営利活動促進法(NPO法)が施行されたが、経団連・NPO法を拒む一行も出てきた。政治家と企業家だけではなく、P.O.法人の存在と活動が求められる時代と界られる。思うところあってビジネスの世界から、国際紛争地での活動に特化したNGO「ピースウィンズ・ジャパン」に転身された松信章さん。その動機、課題、方向性等につき、熱い心の内を伺った。

6月のゲスト あきこ
松信 章子氏
ピースウィンズ・ジャパン
広報・マーケティング部
チーフ

プロフィール
横浜生まれ
上智大学外国語学部及びミシガン州立大学
ジャーナリズム学部修士課程卒業
ニューヨークの電通・ヤング&ルビカム、東京のAMEX、FEDEXで夫々要職を務めた後、昨年8月よりピースウィンズ・ジャパンに転身ボランティアとして携わっている「女子教育奨励会」のウェブサイトでは女性のリーダーシップ向上を目指してコラム執筆中

が大量虐殺されたといわれているがメディアはあまり報道していないし、勿論アセシ政権も口を閉ざしてきた。そして1997年、湾岸戦争終了後は、フセイン政権打倒を目指してイスラム教シーア派と呼ばれて、イラク北部のクルド人が蜂起したのだが、無傷で残っていたラセイン大統領親衛隊の攻撃を受け、トルコが国境を閉ざしてしまったり、逃げ場を失った200万人の避難民が越冬した山岳地帯に逃げ詰められるという悲劇が生じている。この時、国連高等難民弁務官緒方貞子さんの英断で、本来国連の支援対象外であった国内避難民と位置付けられていたクルド人に国際援助の手が差し伸べられ、その後、イラク北部にクルド人自治区が創設されたという経緯があるのだが、想像を絶する様な劣悪な生活環境の中で困窮の極みにあった自治区内のクルド人を支援しようというのが、NGO P.W.J.の最初の活動目録であったのである。従ってイラク北部での活動はP.W.J.の活動の歴史そのものと言える。イラク軍によるクルド人弾圧、破壊の爪痕は凄まじく、現地には多くの痕跡が残されている。おそろしく化学兵器の標的とされたハラバジヤ地区の人々は自分達の土地を「広場に擬え、ハラバジヤ」と呼び非人道的兵器による被害の悲惨さを訴えている。P.W.J.はこの7年、建設事業、P.W.J.のスタッフによる浄水施設、住宅等の建設、社会支援事業(女性の世帯主の自立支援のための編み物指導、非行青少年達の更生のための職業訓練等)、医療事業(医師、看護婦、薬剤師等のチームによる巡回医療)、ソニオメックスと呼ばれる、疾病の発生原因を除去する為の例えば下水道整備といったインフラ整備事業とパッケージ活動を幅広く展開して来た。だが、昨秋から再び自治区に緊縮感が増した。クルド人がイラク攻撃の懸念が急速に高まり、イラク中央政府側とクルド人自治区との境界村から山へ逃げた避難民が急増。また米軍の大規模な領土通過を拒否した為、自治区内が戦場と化すことを免れ、結果的に悲惨な事態は生じた。P.W.J.は「ハラバジヤ」プラットフォーム(後述)の資金提供を受け、大量の薬や生活用品の備蓄、移動医療チームの増強などを行いながら、最悪の事態に備えることができた。4月9日のバグダード陥落直後の4月17日には、バグダードに入り、その他にもモスル、キルクーク等で極めて治安の悪い中、医療活動、生活物資搬送等取組支援活動を実施している。5月15日にはバグダードでP.W.J.現地スタッフ4人が乗ったトラックが銃撃されるという事態にも遭遇したが、幸い怪我人はいなかった。P.W.J.は現地で活動のみならず、被災者達の心情等を正しい情報として世界に伝達するにも力をつけている。クルド人自治区では過去2年にわたって27歳の若い日本人女性スタッフがたった一人で現地人スタッフ約300人をマネージして来た。日本のマスメディアも勇躍で見事なリーダーシップを発揮した彼女からの取材に基づく臨場感あふれる報告を積極的に取り扱っている。

P.W.J.は紛争予防の機能を実現することも目指している。アフガンの例であるが、500万ドルの予算で43kmの道路舗装工事を完成させ非営利で喜ばれたが、荒廃した国土では道路工事を緊急に必要とするほどで、アフガン北部では依然軍閥が割拠し一定の兵力を保持している状況で、本来武装解除を行いたいところだが、兵士に代替の職務がないことが妨げとなっているのが実態である。道路補修工事が雇用吸収力として活用出来れば、一石二鳥であり、P.W.J.の意図する狙いである。又クルド人自治区においては、クルド人愛国同盟(タラバニ派)とクルド民主党(サルバニ派)との派閥対立が深刻であったがP.W.J.は現地で支援活動の実績もあって、このように双方と良好な関係にあるので調停者として建設的な役割を果たしている。そして紛争地での支援活動が、功を奏する為には、最初には緊急支援ありであるが、その後の復興・開発支援へと連続した流れと、その前提として国際社会が常に関心を払い続けることが絶対に必要である。その為にP.W.J.は「アドボカシー活動」に注力している。アドボカシーという言葉に適切な日本語訳はないのだが、ニュアンスは理解、認知活動、共感を得る為の活動、提言といったところだろうか。一人でも多くの人が紛争地支援活動に関心を持つことが支援活動の成功のひたひたの鍵だといえる。P.W.J.スタッフは「アドボカシー活動」に励んでおり、本日機会を頂いたので講演もその一環としてご説明したい。

11法人のみ、米国では100万人の内90%以上が控除対象資格を持っている現実との差は大きい。又収益事業としては、これも又悲惨な紛争地、東テール・ルビカの産品である「コーヒ」を「ピースウィンズ・ジャパン」で販売し、収益をP.W.J.の支援活動に当てている。ピースウィンズ・ジャパンという新たな委員会も作ったので、ご協力頂ければ幸いです。次に人材ですが、志の高い有為な人材は集めてくる。ペソナリティで、給与が余りに低い為、家族を持った時など、継続してNGOで働き続けるのは難しいのではないかと、継続してNGOで働きたいという人は、給与が引き上げられたらと痛感する。日本の社会は給与格差が低く、これが問題でもある。他セクターの給与格差を縮めて、営利と非営利、あるいは官と民の双方の人材交流が出来る社会が到来すればいいと思う。そして認知、理解不足の問題がある。ある雑誌の対談で著名な女流作家が「NGOは本来ボランティアであるべき。有償であるべきではない」とP.W.J.を批判されたが、極めて認識不足な発言である。アフガン、イラクの活動で触れた様にW.J.の事業は長期のコミットメントとプロフェッショナルが要求される事業体としての責任が重いのである。途中で無責任に投げ出すことは決して許されることではない。勿論現代社会でボランティア活動が大切で尊いことは論を待たないし、さまざまな形で貢献できる社会になればいい。しかし、長期的な支援地にコミットしているNGOの人々が無償でなければ仕事が続けられないということもご理解を賜りたいものである。

私は所謂「団塊の世代」の一人である。米国で大学院を修了後、ニューヨークで「電通」に勤務し、キヤノン事務機販売の広告・マーケティング活動に没頭、その後日本に帰国し「AMEX」社でカードマーケティング業務に従事。更に貨物専門の航空会社「FEDEX」社に転身し日本、韓国市場でのマーケティング担当の取組を務めてきた。これだけの企業で自身のキャリアを活かして、国際ビジネスの世界でそれなりに充実した職業生活を送ってきたつもりであるが、年を重ねると共に本来大好きな現場での仕事である、管理職としての内向きの仕事の比重が大きくなり、マネジメントが溜まってきた。そんな時に、かねて旧知のNGO「ピースウィンズ・ジャパン」(統括責任者として西健丞氏から「マーケティング」のプロが必要である。活動に参加しないか)と勧められ、現場に戻りたい、社会貢献活動に取り組み少しでも世の中を変えて行きたいという思いに駆られ、NGO「P.O.」へと向かい、世界に思いを馳せただけである。実は収入は従来と比べると激減したがそれは目を瞑って、取って今後の人生の分岐点で自分なりの大きな選択、決断をしたかと思っ

000人の避難民の越冬キャンプ生活に貢献することが出来た。翌年4月に、荒廃して切った夫々の故郷の村に帰っていった。P.W.J.はボランティアとして1家族毎に小麦粉1500gと毛布等の配布を行なったことだ。この様な緊急支援活動は「応答」したのが、その後復興・開発の道りが続くことになる。先ず学校再建が大きな課題のひとつであった。タリバン政権では禁止されていた女子の学校通学が再開したこともあり、校舎、教科書、机、椅子等総てが全く不足し、また、学校に通えない子供達の数は膨大で、特に校舎は教育大臣の話によると2500棟必要であるとのことだ。P.W.J.は傘下で専門スタッフを抱え、資材調達から施工迄効率の行なう能力を保持している。1棟の校舎を建設することができた。建設した女子校を訪問したが、生徒達による心からの大歓迎を受け、彼等がどれ程の喜びを与えられたのだと、我々も張り合っただけの感激と感動とであった。又長年の戦乱によりは戦死者が多かった為、女性の世帯主が激増し沢山で職場がなく、生活力を持たない人々が殆どだった。そこで彼女らの自立を促す為の支援策のひとつとして養鶏技術の習得を指導した。卵は貴重な蛋白源であり、売却すれば収入にもなり、非常に意味があった。又、各種の作物につき生産性の高い新種の種子を供与した農業指導も好評だった。水資源の限定的な枯渇も深刻な問題であり、井戸掘削、小さな貯水ダムの建設等も手掛けてきた。アフガンはパンから解放後、復興が順調に進んでいる状況では決小競り合いが絶えずな状況に後戻りする可能性があるが、残念ながら国際社会の関心は急速に薄れ、メディアの報道も激減し忘れ去られた存在になりつつあるのが実態とされる。市民の自立のための継続的支援を展開する為の安定を図って行かないと、再び暴力的グループが跋扈して来る懸念を禁じ得ないところである。

独自の文化と言語を持ちながら、国家を持たない最大の民族と言われるクルド人は3000万人、イラク、シリア、アゼルバイジャン等で約300万人が生活している。遠く中世に十字軍と戦った将軍サラーディンはクルド人の英雄である。歴史上、常に覇権国家の思惑の俵に迫る対象とされて来たが、近年ではイラクのサダム・フセイン政権がイラク国内のクルド人を弾圧し続けており、イラク・イタ戦争の末期の1988年前後は「アンファール・キャンプ」(クルド人掃討作戦)により25万人のクルド人が行方不明になっており、化学兵器を用いた疑いの濃いハラバジヤ地区では5000人に及ぶ人々

先述した様に今般のイラク戦争時のP.W.J.の現地支援活動は「アドボカシー」(J.P.F.)から資金支援を受けたのだが、この組織は「外務省」企業日本経団連、NOGグループの3セクターが中心になった連合体で、効率性が即効性のある国際支援を実施することをめざしている。結果として日本の国際的なプレゼンスを挙げることでもできる。NGOは緊急支援時の実行部隊としての機能を保有しているが、政府、民間からの資金が迅速に提供されれば、タイムズ・エフェクティブで、かつ評価される国際支援が可能なのである。翻って我が国内に目を転じ、公益(市民ニーズ)の担い手につき考えてみると、政・官、公益(市民ニーズ)の担い手が官が圧倒的に市民ニーズへのサービス提供者だおが社会の変化によりニーズが多様化し、法律サービスに限界が生じてきた。又企業家については、常に営利を追求するという大前提が枷になっている面は否めない。そこへ1995年の阪神淡路大震災で民間のボランティア活動が自覚し展開され、非営利の民間団体が公益を担って行く意義が認識され法人化の後押しする「NPO法」制定に結び付いたのである。3つのセクターとも社会の公益の担い手であるが、当然であるが、多様化する市民ニーズの中で、介護、環境、コミュニティ、教育、国際支援等の分野については、民間立場から非営利の公益に関わるNPOの果たす役割が大きくなる時代だと確信している。

P.W.J.の活動は日本と世界の関わり方のひとつの新しい方向性を示している。自負している。日本の国際支援の資金が国連やユニセフで使用された場合、日本の名前が全面に出されるわけではない。しかし、日本の名前の納税者の金だとは認識しない。しかし、NGOの活動は、日本からの支援そのもの認識が「日本の顔」がよく見えるのである。少なくとも今までは中東では我が国は尊敬と好意で受け止めていた。ロシアを破った唯一のアジアの国であり、アメリカに破壊された国家を50年で見事に再建した奇跡の国であり、ホンダ、ソニーと世界に冠たる企業国である。イラクでは水売りが高値で売られ、意味合いで水を「コバヤン、コバヤン」と呼ぶ人が多く、これは「コバヤン」が「水」を意味するからである。コバヤンが情のある国に顔の見える支援を行ない好関係を構築して行けば、活動に従事する者も大いに生きがいを感じ、活動の展開の中で多様な価値の創造を期待し得るし、閉塞感に陥らぬ我が国社会のひとつの突破口ともなる。そして、給与面では改善余地が大いにあるとはいえず、NPO/NGOは現在日本社会で雇用を創生している唯一のセクターである。民間非営利のセクターがアフター11に声を挙げ、政・官、おびきり企業ともども、公益を担って行くパワースとれた社会にしたいものだと思っ

紛争地、災害被災地等世界10地域での活動経験があるが、終了した事業もあり現在はアフガニスタン、イラク、モンゴル、東テール・ルビカ、エチオピア、エラレオネの6地域での活動を継続している。本日は、アフガニスタンの2地域に絞って具体的な活動状況につきお話ししたい。

①アフガニスタン北部
周知のとおり、この国は1979年の旧ソ連軍の侵襲以来、内紛状況が続いたが1998年にタリバン政権が一応の国内統一を果たした。しかしながら、戦乱による荒廃に加えて、長期の旱魃続きで2001年の春には困窮した国内避難民が100万人を超す凄惨な状況に陥っていた。P.W.J.は夏にはこの避難民の支援活動に乗り出すことを決定していたが、11月テロが勃発、米英軍によるアフガン空爆の開始で止めを食らってしまった。11月以降は、空路、陸路の両方に分けて救援物資の輸送作業を手掛けた。特に陸路に困難を極め、険しいヒンズキ山脈の、富士山級のサラン峠のサントネルを抜けたのだが、トンネル内が一部崩落状態でも通れず、スタッフはトンネルの中を歩いて抜けた始末だった。トラックが川に転落する事故もあり幸いにも運転手は軽傷であった。危険の連続であり又冬場を控えた時間との戦いでもあった。とにかく2001年の冬、苦勞の末5600張の越冬用二重テントと食料の搬入に成功し38

P.W.J.はいわゆる「破綻国家」や紛争地での支援活動を多く行っている。「破綻国家」とは日本ではまだあまり使われていない言葉であるが、政府機能が不全状態として大量の難民が発生している。こういう地では緊急支援が求められている状況にある。この様な地域での支援事業では、大規模かつ継続性が必須である。何故なら小規模で散発的な支援を受ける側には不公平感が生じこれが新たな紛争の種となる懸念があるからである。P.W.J.は大規模、継続的支援に対応する高度な機能を發揮する為、土木・建築・医療・ロジスティックス、通信技術等の専門スタッフを抱えている。

4. P.W.J.の課題
先ず脆弱な財政基盤を挙げなければならない。今P.W.J.の財源は会費・寄付金、助成金、収益活動・物品寄付等が夫々3分の1ずつである。会費・寄付金については企業の中で10%未満の端数を社員が拠出され給与の1%或いは1%未満の端数を社員が拠出する同額を会社が補填し寄付頂くケースもあり大変な難いことである。しかしながら税制はいまだ改善の余地が大いにある。NPO法人約1万1千、寄付金に対する所得控除措置を受けられる法人は3月末現在では僅か

5. P.W.J.今後の展開の可能性
P.W.J.の活動は日本と世界の関わり方のひとつの新しい方向性を示している。自負している。日本の国際支援の資金が国連やユニセフで使用された場合、日本の名前が全面に出されるわけではない。しかし、日本の名前の納税者の金だとは認識しない。しかし、NGOの活動は、日本からの支援そのもの認識が「日本の顔」がよく見えるのである。少なくとも今までは中東では我が国は尊敬と好意で受け止めていた。ロシアを破った唯一のアジアの国であり、アメリカに破壊された国家を50年で見事に再建した奇跡の国であり、ホンダ、ソニーと世界に冠たる企業国である。イラクでは水売りが高値で売られ、意味合いで水を「コバヤン、コバヤン」と呼ぶ人が多く、これは「コバヤン」が「水」を意味するからである。コバヤンが情のある国に顔の見える支援を行ない好関係を構築して行けば、活動に従事する者も大いに生きがいを感じ、活動の展開の中で多様な価値の創造を期待し得るし、閉塞感に陥らぬ我が国社会のひとつの突破口ともなる。そして、給与面では改善余地が大いにあるとはいえず、NPO/NGOは現在日本社会で雇用を創生している唯一のセクターである。民間非営利のセクターがアフター11に声を挙げ、政・官、おびきり企業ともども、公益を担って行くパワースとれた社会にしたいものだと思っ

ピースウィンズ・ジャパンへのお問合せ

電話0120-252-176 (フリーダイヤル)
電子メール meet@peace-winds.org
HP http://www.peace-winds.org
住所〒154-0015 東京都世田谷区桜新町2-11-5
正会員・フレンズ会員・ピースコーヒー会員への入会お問合せ、メール配信サービスご希望等、何なりとご連絡ください。相談頂ければ幸いです。

CONTENTS

- P1 東京・日野市合同総合防災訓練実施！
救出救助活動に備えて… 大宮レンジャー研修を終えて
- P2 特集 竹花 東京都副知事インタビュー～都の治安対策を語る～
- P4 Member's Lounge
「これからの日本スポーツ界-アテネオリンピックを控えて」JOC会長 竹田 恒和氏

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0065 東京都大田区仲六郎4-32-5
発行人 佐々木 昌朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会費の中には購読料を含む)

Sep.2003
No.349

はげまし

For the Riot Policemen & Members

関東大震災から八十年…
大地震を想定し、本番さながらの訓練！

9月1日 防災の日

東京・日野市合同総合防災訓練実施！



広域緊急救助隊による事故車両からの救出搬送



震災に由来
倒壊家屋からの救出

関東大震災から八十年―九月一日「防災の日」、全国各地で防災訓練が行われ、約一三三万人が参加した。東京都では、東京・日野市合同で総合防災訓練を実施した。多摩地区を震源とする直下型地震が起き、同市内でがけ崩れなどが発生したとの想定で、機動隊等一〇〇名を含む約三万八五〇〇人が、大地震から身を守り、被害を減らすために真剣な表情で訓練に参加していた。

日野市内の浅川に掛かる新井橋では橋の上を走行する多摩都市モノレールが高さ約十一メートルの軌道上で立ち往生したと想定、乗客を救出する訓練を初めて実施した。

大勢の住民が見守る中、京王線・高幡不動駅前では中高層ビルからの救出訓練が行われ、多摩川グラウンド会場では特科車両隊、警備犬、そして北海道と山口県から駆けつけた広域緊急救助隊合同で倒壊家屋と事故車両からの救出搬送訓練が本番さながらに行われた。機動隊員たちのきびきびとした訓練の様子を目の当たりにし、「備えあれば憂いなし」の姿勢を再確認したであろう。

また主会場となった北川原公園では、さまざまな体験コーナーが設置され、機動隊員自らが住民たちにロープ結束技能を指導し、交流を深めていた。今後、地震の活動期に入る恐れがあると言われる首都圏であるが、このような訓練の場での体験を通じて、人々に安心感を与えるとともに、日頃の訓練の重要性を伝えてくれた。



▲体験コーナーは終始和やかなムードで

救出救助活動に備えて…大宮レンジャー研修を終えて



警視庁第七機動隊の山口隊員は自衛隊レンジャー研修に参加しました。機動隊レンジャー部隊と任務は異なりますが、学ぶべきところはたくさんあったようです。どんな研修だったのでしょうか？

自衛隊レンジャーは、敵地に侵入し、襲撃・破壊・救出活動などの任務を必ず成功させなければならぬ部隊です。我々機動隊レンジャー部隊と任務は異なりますが、救出救助活動面での技術は、学ぶべきものが多くあります。今回のレンジャー研修における主な訓練は、

- 常に細心の注意を払い小さなミスも犯さない心配り
- 物事を統制し有事の際の即応力の向上
- 指揮能力及び部隊活動能力の向上
- バイザー制による相互監視、連帯感の醸成
- 自分に負けない精神力と各種技術の習得
- 徹底して身につけさせるためのものでした。具体的には
- 起床ラップでの起床
- 常に二分前行動、夜中のトイレもバイザーで行動、風呂では背中を流し合う
- 厳しい服装点検（誰もが同じ物と同じように携行・保管する）
- 各訓練直前に隊員の中から、相互に指揮官役を指名して実施する指揮訓練
- ミスに対しては、腕立て伏せを行うなど、自らペナルティを課すことによる体力作り
- そして、ザイル訓練、サバイバル技術、救出法の習得など、一分一秒の時間に追われた毎日、すべて意味のあるもので、とても充実した研修でした。

私は隊員時、レンジャー研修を終了した先輩の自信と誇りに憧れを抱いていました。研修に行くことができずに昇任退隊したときは、喜びの反面やり残した気持ちがありました。今回その夢が叶い、最終日にレンジャー記章を頂き、それを持った若しかり理解できない達成感を味わうことができました。

自衛隊レンジャー訓練は、そのまま機動隊レンジャーに当てはめることはできませんが、警察業務遂行のため、必要とされる技術などは、どんどん取り入れ、後輩の指導に当たるとともに一人でも多くの後輩を本研修に参加させることができると共に体力作りに励んでいきたいと思えます。

警視庁第七機動隊 山口 貴広

鍛練耐え抜く
精強機動隊

- ナイルレストラン
- G・M・ナイル
- 五十鈴
- 愛知産業
- 青山特殊鋼
- (株)エース電研
- (株)広沢製作所
- 杉尾榮俊
- 黒田一
- 橋山和生
- 国見山
- 光洋商事
- (株)カノークス
- 新日本製鐵(株)名古屋支店
- 東海レベラー鋼業
- 新潟鋼機
- 北越メタル
- 不動鋼板工業
- (株)機動隊員等を励ます会
- 東北支部

特集

都民と警察の掛け橋に 前広島県警本部長

竹花副知事インタビュー

～都の治安対策を語る～



都庁内にて副知事就任挨拶をされる竹花副知事(中央)、石原知事(右)

「世界一安全な国日本」から今や「危険な国」とまで言われている日本。なぜこのような治安情勢になってしまったのでしょうか。東京都も例外ではありません。石原都政の2期目、都では首都の治安対策に本腰を入れ、全国都道府県で初めて治安担当副知事職位が設置され、世間の大きな注目を浴びる中、6月25日付けで前広島県警察本部長 竹花豊氏が就任されました。就任後、約3ヵ月が経過した時点を捉え、竹花副知事に都の治安対策推進への抱負を伺いました。インタビュアーは当会の早速常任理事です。

Interview



今回インタビューにお答え頂いた竹花副知事(右)と当会早速常任理事(左)

広島暴走族対策は 硬軟両作戦と市民の協力で奏功

— 広島県警本部長時代、広島では大変悪質な暴走族集団が跋扈しているという状況でしたが、その問題を解決するためにどのようなことをなされたのですか？

広島市の暴走族はここ数年、付近の商店街の営業にも影響を及ぼしたり、制止する警察官ともみ合いになったり、傍若無人な無法状況が時に生じる、そんな状態でした。本部長就任直後このような実態に大きなショックを受け、この問題の解決なくしては警察に対する県民の信頼は回復できないという思いを強くし、「何がこういう状態を解決出来なくしているのか、その問題を解決するためにはどうしたらいいのか」ということを県警の人たちと真剣に議論しました。県民・マスメディア・県・市と何度も話し合いを重ね、二つの考え方でこの問題に取り組みしようという方針を定めました。

ひとつはやっぱりいけないことというものを彼らに判らせている。そのためには実力行使も止むを得ずパトカーの体当たりによる暴走阻止という荒療治も行いました。もうひとつは、そうは言っても許されないものであれ、彼らが暴走するに彼らなりの事情に耳を傾けることが必要である。その中で本当に彼らが悩んでい

ることを警察がカバーして彼らを社会の輪に取り戻す。対策の二つの柱を並行して実行して行かないと、この問題は本当には解決しないと考えました。警察ばかりが頑張るのではなく、県も市民の方々もあらゆるところでそれを力を出し合おうじゃないかということ。いろいろな機会に確認しあって、総合的な施策の結果がわずか半年くらいで大方の問題を解決した例になりました。この取り組みは県警にも広島県にとってもまた自分自身にとっても大きな教訓を残しましたね。本当に問題が生じていたら、いつまでも放置しておかないでそれを解決するために真剣に取り組むということが大事。その大人社会の真剣さを彼らにメッセージとして伝え、伝え方も工夫するということ。自分を自身学ぶ機会が多かったですね。



Yutaka Takehana Vice Governor of Tokyo

竹花 豊

— 東京都治安担当副知事 —

Profile

1949年生まれ
1973年警察庁入庁。警視庁捜査2課管理官時代KDD事件捜査を指揮。
大分県警本部長、警視庁生活安全部長、広島県警本部長などを歴任、2003年6月東京都治安担当副知事に就任。

広島県警本部長時代は暴走族対策の先頭に立ち、問題解決に全力投球。

知事の意を体し、 職責を果たしたい…

— 六月二十五日付けで都の副知事に就任されましたが、治安担当の副知事職位の設置は全国初めての試みであり、通常の出向人事とは違った画期的な話でもありましたね。その時どのようなお気持ちだったのかお聞かせ下さい。

この話を聞いた時は本当に驚きました。東京都の副知事になるということは全く寝耳に水なこと。石原知事は今年の都知事選で都民の方の治安問題に対する大きな関心や、治安が悪化してきたことに対する心配念を非常に強く感じておられたようです。「なんとか東京の治安を改善したい、治安を良くすることが大切だ」という強い確信を持つつつ、東京都も何



石原知事からの副知事就任辞令公布

か大きな力にならないといけない」というお気持ちだったと思われれます。そういう観点から警察の治安問題に詳しい者ということで警察庁に相談なさったのだと推測します。石原知事は治安回復に強い決意で「治安は都民にとって最大の福祉」と主張され、「安全問題としての責任を果たせななんだ」という気持ちで取り組んでおられます。これは私が来てからも再三にわたり、感じさせられているところです。そういう意味ではなかなか期待が大きくて、私にとっては大きなプレッシャーというのが就任当時から今に続く正直な気持ちです。

都民と警視庁との関係を より密接にすることが私の役割

— 現在は警視庁の竹花さんではないわけですが、東京都の竹花副知事としては治安対策という意味で東京都と警視庁という連携強化が大事になってくると思います。その中で具体的にどのようなことを進めて行かれるおつもりですか？

今は警察官ではないけれど、こちらに来て、石原知事を含めて多くの方々と警察に対しての意見を比較率直に聞ける状況です。「警視庁には直接言えないけれど、副知事ならこういうことを言ってもいい」ということがやはりあるんですよ。その率直な言葉の端々に「警察にもっと頑張ってもらいたい、何故警察がこの程度のことが出ないのか」という警察に対する期待と叱責があるのです。それを警察庁・警視庁としてもしっかり受け止めて欲しいと思います。私もできるだけそういった声を警察庁・警視庁の幹部の方々にお伝えしたい。そのことがまた、都民全体に対しても警視庁にとってもいいことですよ。都民と警視庁との関係を更に密接にして行くという機能も私に課せられた役割のひとつではないかと考えております。

全ての機関・国民が同じ方向に 力を集結すれば必ず問題は改善する

— 日本国民がみんな感じていることだと思いますが、本日に日本の治安は危機に瀕している。「世界一安全な国日本」から今や「危険な国」だといわれる状況になってしまっている。本日にこのままでは日本は大変なことになる。当然治安の維持というところで警察官の増員についての理解も深まっています。構造改革路線、官の効率化路線の中で予算上の限界もあります。一方治安対策のポイントは現象面からは、少年犯罪と外国人犯罪の激増にあると考えられますが、これらの一連の問題につきどういうお考えをお持ちですか？

おっしゃるような犯罪を増やす要因は外からのものこれは外国人犯罪の増加、あるいは内なるもの、少年犯罪を中心に日本社会が持っている病理的な側面が現れてます。そういった二つの側面から犯罪が増加していったら、その流れはかなり

強いものがあります。一方で犯罪を抑止するという力となってきた機能が壊れてしまっていることも簡単には改善できないという状況になっています。治安の回復は非常に難しいという状況を直視しなければならぬというのが実態だと思います。私の広島での経験をもとに考えると、関係者が効果的なやり方を知恵を出し合って考えていくという工夫がありました。そのように考えてみると、今のやり方には無駄な力を使っているところがあると思います。個々の問題を一つひとつ解決すれば、まだまだこれからやっていける部分はまだまだ感じています。

暴走族の問題もそうですが、「暴走族は交通の問題だ、これは生活安全全部の問題だ、刑事部の問題だ」と言っていてセクシヨナリズム丸出しでそれぞれがややこしい問題だから押し付けあう。それでは大きな力の結束とはなりません。行政機関や市民の方々からしてみれば、「警察は何をやっているんだ」ということになり。関係者がバラバラだと暴走族対策に対して大きな力にはなっていない。それがひとつにまとまって正しい方針が出せたら、一気に解決できたのです。このような経験からしても暴走族問題だけではなく、外国人問題にしても少年問題にしても今言った視点で多くの行政機関、司法機関それから国民の方々が同じ方向に力を発揮していけば、私は必ずその問題は改善していくことが可能ではないかと信じています。

防犯カメラの効果は大きい。

— 昨今歌舞伎町なども防犯カメラの設置が進んでいます。先般の長崎幼児殺害事件でも防犯カメラの映像がひとつのきっかけとなりましたね。プライバシーの侵害と反対する人たちがいるが、あのような防犯機器は警察官のパトロールより安いコストでかなり効果が大いではないかと思いませんか？

長崎の事件もそうだし、渋谷の連続通り魔事件の検挙も防犯カメラがきっかけでした。日本の場合、防犯カメラをつけるつけないという前にまず、防犯カメラといえはプライバシーを侵害するというところで議論がストップしてしまう。有効なことは有効だと認めたらうえて、他の

権利をできるだけ侵害しないようにバランスをとってどのようになりに取り付けていくかということを考えていけばいいのだと思います。実はあの新宿の防犯カメラの効果というものは信じられない程大きなものです。組織犯罪や暴力団の活動の範囲を非常に狭めてくれるのです。しかしながら、歌舞伎町にはまだ闇の地域があり、防犯カメラが行き届かないところに彼らは潜まざるを得ません。防犯カメラは新宿に限らず、渋谷や池袋の盛り場にもどんどん設置することが必要と考えています。各区长も賛成されております。

犯罪予防策として 地域社会の再構築を

— 治安問題全体を考えるとどうして社会的な仕組みという根本問題に遡らねばなりません。戦後の社会は個人を重視するあまりコミュニケーション不在で、特に大都会においては、多くの人が疎外感を持ってしまっているような雰囲気があります。治安維持の観点から非常に問題ではないかという気がしております。

— 都では各区の区長さんたちの話し合いを続けていますが、自治会、町内会などがみんなで防災訓練・避難訓練。治安の問題についてもお互いに協力しあってやっていけば非常に強い力を発揮出来るということも共通認識になっていきます。しかしながら、今は団地やマンションが増えてそこに住む人たちのコミュニケーションの形成が極めて難しい。彼らは町内会に加わってこないという現状があります。



日本においては、繁華街を中心に青少年の非行・犯罪防止活動、応急救護活動、環境美化浄化運動などを地域住民とともに活動を行っているガーディアン・エンジェルス。

緊急治安対策本部設置に あたったの決意表明 (抜粋)

私達は、このような経緯と犯罪被害者の無念さや多くの都民の願いをしっかりと胸に刻みつつ、今後、走りながら、具体的施策を実施、模索しますが、その際、次の6点に特に留意します。

- その1つは、現状を打開するため、警察のみに任せることはせず、都民の総力を結集して対処するよう努めます。
- その2つは、警察等の法執行機関の活動が更に強化されるよう働きかけます。
- その3つは、外国人組織犯罪対策に多角的に取り組みます。
- その4つは子どもの健全育成の取組みを抜本的に強化します。
- その5つは、犯罪に強いまちづくりを進め、犯罪者から犯罪の機会を奪うことを目指します。
- その6つは、「こんなことで良いのか。何とかならないのか。」と多くの人々が感じているのに、半ば放置されてきたことにより、規範の低下をもたらした、治安の悪化に直接、間接の影響を与えている問題の解決にチャレンジします。



今年8月1日、緊急治安対策本部設置にあたり、本部長を代表して決意表明する竹花副知事。

機動隊への国民の期待は不変

— 時代の変化は激しく集団警備力の中核としての「機動隊」はその使命を終えたのではとの意見すらあります。しかしながら、「治安の危機」の真つ口中で機動隊はその持っている機能をフル活用して多角的運用により、治安対策に大いに貢献して頂きたいと期待するものです。当会も時代を見据え、警備活動に対する激励、支援に留まらず、警察組織と協力し治安再生に些がでも資する市民への啓蒙活動を展開して行きたいと念じておりますが、最後に「励ます会」に一書お願い致します。

「機動隊員等を励ます会」の長年にわたる波のないご支援の継続に深く感謝の気持ちを表したいと思います。おっしゃる通り治安情勢も変わってまいりました。しかし機動隊の姿というものは相手は変わっても、多数で強力な犯罪者を制圧する象徴として非常に大きな意味を現在でも持ち続けていると思えます。

都民の方々、都議会の方々と対話をしていただくと、「歌舞伎町に機動隊を動かさせて欲しい、地域でのパトロール活動に機動隊の強い力を少しでも貸して欲しい」というご意見が根強くあります。そういう意味で機動隊に対する国民の期待というものは、治安情勢次第で相手は変わっても不変であると強く感じます。常に力を維持し相手次第で臨機応変、柔軟に対処して「励ます会」には引き続きバックアップ頂きたいと念じております。

— 本日はご多忙中、お時間を割いて頂き貴重なお話を数々、大変有難うございました。東京の治安回復のため、どうぞ今後のご活躍を期待しております。

平成15年8月1日
東京都副知事 竹花 豊

Member's Lounge 講演会録

「我が国の日本スポーツ界」を築いて

国民的ヒーロー古橋広之進氏の後を襲って、弱冠54歳でJOC会長に就任された竹田武。我が国の50を超えるスポーツ団体を統括して行く手腕が期待されています。アテネオリンピックを来年に控え、オリンピックムーブメントの推進事業、メダル獲得を目指す団体の競技力向上策、又御自身馬術選手として2回のオリンピックに出場した体験談等興味深いお話を伺いました。



7月のゲスト
竹田 和氏
財団法人
日本オリンピック委員会
(JOC) 会長

プロフィール
1947年生まれ
1970年
慶応義塾大学 法学部卒業
小学3年から馬術を始め、1972年ミュンヘン1976年モントリオール両オリンピックに出場。その後コーチ・監督として国内外の大会に貢献、国際馬術連盟理事、副会長を長年務め現在終身名誉会長財団法人日本オリンピック委員会(JOC)理事就任 JOC会長に就任 現在に至る

1991年

2001年

2. 国際競技力の向上

も好評を博す等多彩な事業を展開して来ている。現在JOCにはオリンピック競技種目33団体に加えて日本の伝統的競技、剣道、相撲等を含めた46競技団体が正式加盟しており、進加盟、承認団体も併せてその数は53団体に及ぶ。JOCが主管する世界規模の競技会は4年に1回のペースでオリンピックの夏大会、アジア大会の夏大会、2年に1回のペースで学生オリンピック大会と計4あり、毎年2つくらいの大会に対応して来ている。これらの競技会に日本選手、日本チームが好成績を挙げると、国民感動と夢と希望を与え、日本人としてのアイデンティティを高め、引いては国際親善にも繋がるので、JOCは各競技の強化推進に力を使っているのだが、その為には強固な財政基盤が必須である。

1. オリンピックムーブメントの推進事業
世界中の人々がスポーツへの理解を高め、より多くの人々に参加を促して行くことを通じて国際親善を深め、明るく健康で豊かな社会を構築し、引いては世界平和への貢献を目指しオリンピックムーブメントは推進されている。「オリンピックテラ」はオリンピック出場選手(オリンピックアンバサダー)と一般人が一緒にジョギング等を楽しむイベントで昨年は全国16会場、35000名が参加した。また日本を代表するトップアスリートによる巡回指導も各地で実施された。6月23日は1984年フランスのクレーン大会が近代オリンピックの復興を提唱した「オリンピック記念デー」でありこの日はオリンピックの感動的瞬間の映像とクラシックコンサートを融合させた新しいスタイルのコンサートである「オリンピックコンサート」を開催、多くの方を招待して来た。オリンピックを色々な角度から考える公開シンポジウム「オリンピックフォーラム」も毎年実施し各方面から大きな関心を集めている。更にJOCの4000校の高専誌「オリンピック」を毎月発行し全国の4000校の高専校に無料配布しており、JFN加盟38局を結ぶ毎朝5分間の「マイオリンピック」放送

国スポーツ界の競技力の長期的低迷は、現象としては東京オリンピックで大活躍したバレーボール、重量挙げ、体操、レスリング等のいわゆるお家芸といわれたスポーツが国際舞台で苦戦しているからであるが、その原因としては先ず長引く経済低迷の中で各企業が企業スポーツから撤退していることが大きい。この5年間で20社以上の大企業が企業スポーツから撤退しているがその数だけでも環境面から痛かった。次に高校、大学の運動部の衰退も挙げられる。少子化で学生の絶対数が減少している事と、風潮としてスポーツを広く楽しむ、一つのものに打ち込み極めようという挑戦しようという世界が少なくなっている事が影響していると考えられる。一方学生が少なくなったに引き各競技団体にナショナルトレーニングセンターを作り、強化選手がいつでも都合のよい時間に練習を取り組める環境を整えたが、財政問題がネックで我が国は立ち遅れてしまった。各競技団体の財政基盤は総じて脆弱であり、国際レベルに合った施設を保有していない団体が殆どである。前述した様に日本のスポーツは長年企業に支えられてきたのだが、衰退する企業スポーツの中で日産自動車などの社長の発言には大いに力づけられた。都市対抗野球を観戦したゴーン氏は「これは社会貢献の一つであり社会への投資であるからその経費は削減しない」と述べたのである。一般的に大企業は社員一休感醸成、士気の向上、或いは宣伝、広告の手段として企業スポーツを位置付けてきており、経済低迷の中でスポーツ施設は固定資産として維持管理の負担も大きく経営圧迫要因としてリストラ対象とされるケースが多く、その様な風潮の中でゴーン氏の見識は非常に心強かった。一方企業スポーツの今後の運営形態として地域との共存を目指す新日鉄の取り組みは一つの方向を示している。新日鉄はバレー、ラグビー、柔道等日本のトップレベルの存在であったが、一連のリストラ策の中で単なる撤退策は採らず、地域の自治体、市民、他企業等と連携して、自社スポーツを地域のスポーツクラブとして再編成する試みを軌道に乗せている。欧州では既に世紀から文化の視点をスポーツクラブを捉え、例えばドイツでは8200万人の人口の内、2700万人が地域のスポーツクラブに加入し幼少時から夫々の目的に応じてスポーツに親しんでいる。翻って日本では明治維新後の教育制度の環として学校教育の体育の中でスポーツを取り組んで来おり、学校の教師が生徒を指導する方式であり、指導者自身がそのスポーツのスペシャリストであるわけではなく、又上級学校に進む度に指導者が替わり、貫いた指導体制がとれない事が問題点であった。地域のスポーツクラブによる子供からトップアスリート迄一貫性のある指導を行なう事が、強化の為極めて効果的であり我が国では全国各地にリクリエーションクラブを立ち上げたサッカ界が先行していると言え、2000年9月文部科学省の肝いりで「スポーツ振興基本計画」が策定されたそのアクションプランとしてJOCは10年計画の「JOCゴールプログラム」を立ち上げた。我々にとって長年の夢であった日本スポーツ科学センター(JISS)が2年前東京西が丘に建設され、スポーツ科学、スポーツ医学の観点から各競技団体を支援しているが、目下は9競技団体のみが活用しているが実態であり、将来はJISS周辺に各競技団体がナショナルトレーニングセンターを建設しJISSを通じ

競技間に緊密な連携を深めるのが理想である。競技間の連携のアイデアとしては、柔道、レスリングという格闘技間の交流、フィギュアスケート、シンクロ、新体操等探点競技間の連携、ボウリング間の戦略、戦術の交換等が考えられる。JISSでは各種の近代設備でのサポートが可能であり、例えば近年その効果が注目されている低酸素トレーニングについては24時間低酸素を体験する居住区間送設けられており、水泳平泳ぎの北嶋選手は大いに効果を挙げた一例である。アテネ大会が来年に迫ったが、ボウリングでは予選突破、個人競技では標準記録のクリアと本大会出場は非常に嬉しい関門をくぐらねばならない。国民的スポーツである野球についても10月に札幌大会でアジア予選が行なわれ、長嶋さんの「ドリームチーム」が出場するが予選を勝ち抜けたい状況にある。

さてアテネで近代オリンピックが開催されてから107年目となり、オリンピックは人類の貴重な文化であり続けてきたが、弊害も生じている事にも触れねばならない。先ずドーピング問題である。ドーピングとは人間の体内に自然に存在する物質以外の物質を体内に注入しスポーツパフォーマンスを高める不当行為であり、アンフェアである上にその選手の健康をも損なうものである。現在世界アンチドーピング機構(WADA)とその下部機構としての各国組織、我が国では日本アンチドーピング機構(JADA)が連携し撲滅を目指して活動している。試合を通じてのチェックは勿論のこと、トップアスリートは年間を通じ合宿時、自宅滞在時等問わず、抜き打ちチェックを拒否することは出来ない。新しい薬品開発状況も常にチェックしているが、メダル指向の不正行為は中々後を絶たず、教育活動の推進等を含めた撲滅は世界のテーマである。次にオリンピックの肥大化の問題がある。JOCで会長がサマルチチ氏からルギー人のジャック・ロゲ氏に交替して以降、肥大化阻止の動きが顕著になっている。具体的にはオリンピック選手村の選手総数に上限15000人を設け、その為には実施競技の種目削減が2008年の北京大会から実施される見込みであり、我が国ではボビエラであるが実施されるには限られた国でしか普及していない野球が存続の危機に瀕している。メジャーリーグの選手がオリンピックに参加していないことも響き、アテネ大会ではスタンドはガラガラだった。オリンピックに参加した競技は数多く、総人数が規制から新しい競技が採用されれば野球の存続は益々危機と言え、そして行き過ぎた商業主義の問題がある。1976年のモントリオール大会ではオリンピックの運営は財政面が苦しい大会を終了後赤字を地元の住民の税金で長期間かけて穴埋めするが常態だった。1980年のモスクワ大会はソ連が国家の威信をかけて運営した為収支問題が生じず終わった。1980年のロス大会はユベロス大会委員長の手腕により国の援助なしにマーケティングのみで大会収支を黒字化した画期的なオリンピックとなった。この大会では莫大なTV放映権料と1業種1社に絞ったスポンサー契約の締結による契約料収入で財政を潤した大幅な黒字を計上したが、商業主義の導入により後のオリンピックは財政面で順調に運営されるようになった。大会後生じた剰余金については、発展途上国のスポーツ振興の為に支援金、各国のNOCへの助成金、FIFAの様にボビエラではない、各種国際競技団体の補助金等

3. オリンピックの弊害

有効に活用されている。今後共商業主義がオリンピックを支えに行く事は方向としては正しいがその行き過ぎは阻止しなければならぬ。ソルトレークオリンピックの各都市の招致競争時のIOC委員への過剰接待疑惑等への反省を基に、IOCの中に倫理委員会も設置された。引ずりしても平和運動であり人類の偉大な文化であるオリンピックが世界の健康増進、スポーツ普及のため益々発展して行くべきである。来年のアテネオリンピックへの絶大な声援、支援を御願いしたい。

2. 国際競技力の向上
も好評を博す等多彩な事業を展開して来ている。現在JOCにはオリンピック競技種目33団体に加えて日本の伝統的競技、剣道、相撲等を含めた46競技団体が正式加盟しており、進加盟、承認団体も併せてその数は53団体に及ぶ。JOCが主管する世界規模の競技会は4年に1回のペースでオリンピックの夏大会、アジア大会の夏大会、2年に1回のペースで学生オリンピック大会と計4あり、毎年2つくらいの大会に対応して来ている。これらの競技会に日本選手、日本チームが好成績を挙げると、国民感動と夢と希望を与え、日本人としてのアイデンティティを高め、引いては国際親善にも繋がるので、JOCは各競技の強化推進に力を使っているのだが、その為には強固な財政基盤が必須である。

さてアテネで近代オリンピックが開催されてから107年目となり、オリンピックは人類の貴重な文化であり続けてきたが、弊害も生じている事にも触れねばならない。先ずドーピング問題である。ドーピングとは人間の体内に自然に存在する物質以外の物質を体内に注入しスポーツパフォーマンスを高める不当行為であり、アンフェアである上にその選手の健康をも損なうものである。現在世界アンチドーピング機構(WADA)とその下部機構としての各国組織、我が国では日本アンチドーピング機構(JADA)が連携し撲滅を目指して活動している。試合を通じてのチェックは勿論のこと、トップアスリートは年間を通じ合宿時、自宅滞在時等問わず、抜き打ちチェックを拒否することは出来ない。新しい薬品開発状況も常にチェックしているが、メダル指向の不正行為は中々後を絶たず、教育活動の推進等を含めた撲滅は世界のテーマである。次にオリンピックの肥大化の問題がある。JOCで会長がサマルチチ氏からルギー人のジャック・ロゲ氏に交替して以降、肥大化阻止の動きが顕著になっている。具体的にはオリンピック選手村の選手総数に上限15000人を設け、その為には実施競技の種目削減が2008年の北京大会から実施される見込みであり、我が国ではボビエラであるが実施されるには限られた国でしか普及していない野球が存続の危機に瀕している。メジャーリーグの選手がオリンピックに参加していないことも響き、アテネ大会ではスタンドはガラガラだった。オリンピックに参加した競技は数多く、総人数が規制から新しい競技が採用されれば野球の存続は益々危機と言え、そして行き過ぎた商業主義の問題がある。1976年のモントリオール大会ではオリンピックの運営は財政面が苦しい大会を終了後赤字を地元の住民の税金で長期間かけて穴埋めするが常態だった。1980年のモスクワ大会はソ連が国家の威信をかけて運営した為収支問題が生じず終わった。1980年のロス大会はユベロス大会委員長の手腕により国の援助なしにマーケティングのみで大会収支を黒字化した画期的なオリンピックとなった。この大会では莫大なTV放映権料と1業種1社に絞ったスポンサー契約の締結による契約料収入で財政を潤した大幅な黒字を計上したが、商業主義の導入により後のオリンピックは財政面で順調に運営されるようになった。大会後生じた剰余金については、発展途上国のスポーツ振興の為に支援金、各国のNOCへの助成金、FIFAの様にボビエラではない、各種国際競技団体の補助金等

最後に選手として経験した私のオリンピックへの思いを語らせて頂く。私は馬術選手としてミュンヘン、モントリオール両大会に出場したが、残念ながら入賞経験はない。モスクワ大会も三度目の代表に決まっていたが、ソ連のアフガン侵攻に抗議した西側諸国のボイコットの為出場は叶わなかった。私の一生の思い出となる素晴らしい経験は初めて出場したミュンヘン大会の時である。我が馬術選手団は1年半前に欧州に渡りドイツを中心に各地の国際競技会で経験を積んできた。大会1ヵ月前にミュンヘン近郊のノットリンゲンという城下町で最後の調整の為の競技会に出場した。私は大会用ではない準備の若馬に騎乗したのだが、水濺のバーの前で馬が躊躇し飛越に失敗、人馬転倒してしまった。人馬転倒など過去に何度か経験しているのだが、この時は運悪く左足が馬体の下に入ってしまった。直ちに救急車で病院に運ばれ、激痛でもって不可能だった。直ちに救急車で病院に運ばれ、レントゲン検査の結果、医師からオリンピック出場は無理と断言された。目の前が真っ白になるような衝撃を受けた私は宿舎に帰り、ベッドに横たわり暗闇から天井を見つめていた。すると競技場の鳴り響く歓声が聞こえて来て、それが風に乗り強くなりたり弱くなりたりしながら、段々近づきやがてビタリと止んだ。2階の私の部屋のドアが開き、初老の紳士と女性が花束を持って入ってきた。紳士は選手村の村長であり私にお見舞いの言葉を掛けた後、窓際まで欲しいとの事であった。松葉杖で窓際に近づくと、階下の庭にはなんと約30人の楽団が勢揃いしていたのである。そして私を慰める為に2曲も演奏してくれたのである。失意の人間を力付けようという人間愛に出会い私のメンタルは一気に吹き飛ばされた。それ以来前向きな気持ちで病院通いを続け、痛み止めも使用したが、ぎりぎり何とか大会に出場できたのである。逆境の人間に愛情を持って接し励ます事がどんなに人を勇気付けるかを教えられ、以後の人生で心掛ける様になった。私のオリンピックの真実な思い出である。

編集後記
治安問題は最早危機状況に入っていると思われる。刑務所は満杯、犯罪検挙率は2割という厳しい現状の中で市民も全て警察任せではなく、自主的に治安の確立に関心を払うべきである。初の東京都治安対策担当副知事に就任された、竹花氏にお話を伺ったが知的で温厚な雰囲気の中に外見剛毅の治安回復にかけられる志をひしひと感じた。期待したいものである。
「励ます会」事務局

CONTENTS

- P1 北海道十勝沖地震発生！ 機動隊員緊急出動！
東ティモール国家警察官 近畿管区機動隊を見学
フレッシュマンレポート
- P2 特集 新東京国際空港警備隊 25周年の軌跡
- P4 Member's Lounge
「宗教的自然観」なるものの考察」伊達 興治氏

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0066 東京都大田区中六軒4-32-5
発行人 佐々木 昌樹
TEL 03(3739)0590
購部料 年間1,200円
(但し会費の中にも購部料を含む)

はげまし

Oct.2003
No.350

北海道十勝沖地震発生！ 機動隊員緊急出動！



国道336号線の陥没で交通規制にあたる広域緊急援助隊



ヘリコプターによる村方不明者の捜索

For the Riot Policemen & Members

九月二十六日午前四時五十分頃、北海道十勝沖でマグニチュード八・〇の地震が発生。北海道で最大震度六弱が観測された。この地震の震源は十勝沖の深さ四十二キロメートル。この付近では過去に一九五二年三月四日マグニチュード八・二の「十勝沖地震」が、またその南方では一九六八年五月十六日マグニチュード七・九の「十勝沖地震」が発生している。今回の地震は、一九五二年十勝沖地震の震源とはほぼ同じところで発生したものである。

この地震により釧路で一一メートル、浦河で一一メートル、八戸で二・〇メートルなど、北海道から東北地方にかけての太平洋沿岸で津波が発生した。

目頃の訓練を活かし、
機動隊員が大活躍！

人的被害状況は負傷者七百五十五名、行方不明者二名。北海道では十七市町で一万三千人を対象に避難勧告が出されたが交通、電気、水道といった生活を支えるライフラインが断ち切れ、四件の火災が発生した。なかでも苫小牧市出光興産北海道精油所では原油タンクから大きな火災が発生、鎮火までに長時間を要し全国的に関心を集め、企業の危機管理能力につき社会問題として提起される事態となった。

北海道警察では、人員千三百二十二名、車両百二十台、ヘリコプター四機、舟艇一隻の体制で捜索などの災害整備活動に総力をあげて取り組んだ。またあらゆる災害を想定して、どのようにすれば効果的に援助活動が展開できるか、一丸となって援助技術の錬磨に日々真剣に取り組んでいる広域緊急援助隊が、交通規制や行方不明者の捜索活動など活躍した。



▲ 海岸線を捜索する隊員たち

▲ 警察用舟艇に乗り込み 捜索活動開始！

東ティモール国家警察官 近畿管区機動隊を見学

九月十二日、近畿管区警察学校に東ティモールから国家警察訓練開発課長ほか九名(フレッシュマン一名を含む)が訪れた。「本國では、暴徒の鎮圧には銃器を使用するのが当然である」という国家警察訓練開発課長からは近畿管区機動隊の警備訓練状況を見学し、一今回、日本のような装備資機材を知ることができ、自國でも活用でき



▲ 一時間半にわたる見学の様子

るよう研究したい」と述べた。深刻な紛争地域である東ティモールの平和と安全が守られるように、今回見学に訪れた国家警察官に期待したい。

東ティモールってどんな国？

アジアで最も新しい独立国
(2002年5月20日独立)
人口…79万人
面積…1万4千ヘクタール(長野県程度)
警察…2千703人(2003年5月時点)

フレッシュマン レポート！

私は新隊員

カンカン照りの太陽、青々と茂った芝生、その焼け焦げた地面に寝転がる自分。

「あー、このまま昼寝できたらどれだけ幸せなところか。等と考えてると「回転方向、右三十メートル！」と現実に引き戻されるあの怒鳴り声。

「あー、嫌になりたーい。本当に嫌と一緒に芝生をゴロゴロ。

太陽なんか嫌いだー。雲よこい。

雨よ降れ。台風が来てグラウンドなんかなくなれ。何のためにゴールポストがあるんだー。あれは「歓声前」の目印か。…と怒鳴りたくても怒鳴れない。

しかし、この苦しい訓練は絶対に警備実施の現場で役に立つ。逃げられない状況に追いつんで自分自身を高めていく。正直、何度も挫折しそうになったが、なんとこの苦しい訓練を乗り越えられたのは、自分と同じ思いをしている仲間がいたからと確信している。



四国管区機動隊 高島 知之

英語の諺に、A friend in need is a friend indeed 困っているときに助けてくれる仲間こそが本当の仲間である」とある。

このとおり、新隊員の仲間が一緒にいなかったら、自分は挫折していたかもしれない。

厳しい訓練を終え、この仲間達と一生支え合って苦難を乗り越えていくという自信を持ち始めました。

私は新隊員です。まだまだ未熟な一年隊員です。

また次回の入校時、ここに帰ってきます。その時は一回り大きくなった自分、そして私の仲間を見せてあげます。そして、蟻に向かって叫ぶぞ！「元気ですかー」と。

毎回、隊員の方たちに訓練の様子や抱負を語っていただいているこのコーナー。今回は管区機動隊の入校訓練を終えた、高島新隊員にお話を伺いました。

特集

空の表玄関を守る

新東京国際空港警備隊

25周年の軌跡



空港警備隊創設25周年記念査閲

空港警備隊隊舎



25周年記念式典 部隊による勇ましい行進

昭和53年成田空港（現在の新東京国際空港）の開港と同時に歴史を刻み始めた新東京国際空港警備隊が本年7月、創設25周年を迎えました。我が国の表玄関を守り続ける空港警備隊はこの25年の間、数え切れないほどの事件に遭遇し、その解決のために活躍してきました。そこには一体どのような歴史があるのでしょうか。そして今後も闘争はエスカレートの懸念があり、また空港での国際テロの可能性も予断を許しません。ますますその存在感を高める空港警備隊はこれからどのような取り組みをしていくのでしょうか。

創設25周年記念式典開催！



官舎官平塚県警三谷本部長

千葉県警儀仗隊

さる七月十五日、千葉県成田市三里塚新東京国際空港警備隊舎前において、千葉県警新東京国際空港警備隊の創設二十五周年式典が挙行され千葉県警三谷本部長による査閲が行なわれた。

多くの警察関係者、来賓がみまもる中、不安定な天候も開式とともに晴れ渡り、十時半より予定どおり開始、音楽隊の演奏にあわせ隊長を先頭に第一空港機動隊から第六空港機動隊そして特殊部隊と隊員六二三名・警備犬八頭の勇ましい行進が行なわれた。その後、厳しい訓練を経て認定された二十四名の千葉県警察儀仗隊による栄誉礼が行なわれ、白バイが先導する中、査閲官千葉県警三谷本部長を先頭に巡閲があり、次いで式辞へと移った。

まず三谷本部長から「今日の新東京国際空港の繁栄の中、その礎となった六名の殉職された警察官に哀悼の意を表する。この空港は、昭和五十三年三月の極左の暴力行為で開港延期を余儀なくされたが、全国の警察から絶大な声援、支援の下、同年七月十八日我が国の空の表玄関としてそして政治経済文化の拠点として発足した。開港後も極左無差別凶悪



部隊による訓練展示

そもそも...

空港警備隊とは？



空警隊シンボルマーク

新東京国際空港警備隊は、昭和53年開港間近に発生した管制塔等乱入事件を契機に空港内外の警備に万全を期するため、専門部隊として千葉県警察と全国46都道府県警および皇宮警察の全国警察から精鋭を得て、同年7月18日に創設されました。現在は1,500名体制となっています。

部隊編成は、第一空港機動隊から第六空港機動隊までの部隊があり、それぞれの部隊が、「不屈の一空機」「団結の二空機」「常勝三空機」「疾風の四空機」「精鋭の五空機」「情熱の六空機」のニックネームを持ち、それぞれの部隊が切磋琢磨して任務の完遂に努めています。

また、空港警備隊の隊訓としては、「融和団結（われらは常に意思の疎通をはかり全隊一致協力して目的の達成に努めん）・積極果敢（われらは積極的に任務を遂行し事態に当たっては冷静沈着勇猛果敢に行動せん）・不撓不屈（われらは使命感に徹し、いかなる困難にもたゆまず屈せず初志の貫徹に邁進せん）」を掲げるとともに「若鷲」を隊のシンボルマークとしています。

テロ事件が頻発したが、全国警察の若人が集結し、警備隊員は、累計二万人に及び、見事に警備を遂行してきた。故郷を長期間離れ、厳しい警備を全うしてきた歴代出向隊員に御礼、敬意を払いたい」と述べられた。続いて千葉県公安委員会委員長からご挨拶があり、来賓として訪れた佐藤警務庁長官からは、「隊員諸君の威風堂々とした行進が頼もしいかきりである。四半世紀という長きに亘り、空港の安心と安全を確保する輝かしい伝統を持つ空港警備隊の二十五周年は大変喜ばしいことである。空港警備は我が国の治安の根幹になっている。この間成田の地でも六名の警察官の尊い命が奪われた。哀悼の意を表するともに後世に伝え、決意新たに誇りと使命感で職務を全うしてほしい。」と激励のご挨拶があった。その後千葉県副知事、新東京国際空港公団総裁から二十五周年空港警備隊に祝辞が贈られた。

式典が終了した後、部隊による訓練展示が披露された。我々がいつも安心して空港を利用できるのも隊員のおかげ、この訓練あつてこそものなのだと参観者一堂その迫力ある本番さながらの訓練を固唾をのんで見守っていた。

空港警備隊と成田闘争の変遷



昭和53年3月、開港阻止闘争が始まり、警察部隊は抵抗を続ける極左暴力集団の逮捕に当たった。

開港以前から反対同盟を結成し、警察部隊に抵抗する。

数々の厳しい警備の中で昭和五十九年九月から昭和六十年九月にかけての成田用水工に伴う一連の警備、また、大量検挙を出した集団武装闘争の昭和六十年十月二十日の三里塚十字路事件、更に平成元年十一月から平成二年十一月にかけての極左拠点に対する成田新法適用による除去処分警備等、緊張の連続と厳しい勤務環境の中での警備ではあったが、一致団結力のもと、これら一連の警備では、延べ六十八名の極左暴力集団を検挙することができた。

数々の厳しい警備の中で昭和五十九年九月から昭和六十年九月にかけての成田用水工に伴う一連の警備、また、大量検挙を出した集団武装闘争の昭和六十年十月二十日の三里塚十字路事件、更に平成元年十一月から平成二年十一月にかけての極左拠点に対する成田新法適用による除去処分警備等、緊張の連続と厳しい勤務環境の中での警備ではあったが、一致団結力のもと、これら一連の警備では、延べ六十八名の極左暴力集団を検挙することができた。

鋭い観察力

未発射の迫撃弾発射装置の発見！

平成十年二月二日、空港本体をはじめ空港関連施設等へのテロ・ゲリラを未然に防止するため、空港外周において徹底した警戒活動を展開していた場外検査部隊が空港に向けて投下された未発射迫撃弾発射装置を発見した。
この事案では、日頃から綿密な検察を続けていたことが功を奏し、付近の地面、草等に人が踏み込んだような形跡を見逃さず、鋭い観察力によって事案の発生を未然に防いだ。

昭和五十二年七月、四七八名体制で発足。以降様々な活躍をしてきた空港警備隊。私たちが空港を安心して使えるのも空港警備隊のおかげです。
成田闘争の変遷と空港警備隊の二十五年の活躍をみてみましょう。

昭和41年	8月	成田空港建設閣議決定
昭和42年	10月	三里塚・芝山連合空港反対同盟結成
昭和46年	9月	空港境界抗暴津打
昭和49年	3月	第一次代執行
昭和49年	5月	第二次代執行
昭和49年	7月	東峰十字路事件
昭和49年	7月19日	(反対同盟等に襲撃され警察官1名殉職) 空港管制塔襲撃事件
昭和54年	7月	新東京国際空港開港
昭和54年	7月	空港警備隊設置に伴う千葉県警察条例改正
昭和54年	7月	空港警備隊三つ大隊四七八名で創設
昭和54年	7月	三つ大隊増設され六つ大隊二〇〇名体制となる
昭和55年	2月	一五〇〇名体制となる
昭和57年	3月	卒記者全員配置制度開始
昭和59年	3月	北原グループ「成田用水槽工阻止、自主耕作地防衛、成田現地地決起集会」(検挙一九人)
昭和59年	3月	北原グループ「成田用水槽工事実力阻止、二期工事粉砕、成田現地地決起集会」(検挙三三人)
昭和59年	3月	北原グループ「東峰十字路裁判闘争勝利、全国地決起集会」(検挙七五人)
昭和59年	3月	三里塚十字路事件(検挙二四一人)
昭和59年	3月	モータープール警備部隊襲撃テロ事件
昭和59年	3月	創設十周年記念式典
昭和59年	4月	戦旗両川派拠点「東峰団結会館」
昭和59年	4月	成田新法適用除去処分
昭和59年	5月	中核派現地拠点「三里塚闘争会館」
昭和59年	5月	成田新法適用除去処分
昭和59年	5月	戦旗派現地拠点「横畑団結会館」
昭和59年	5月	成田新法適用除去処分
昭和59年	5月	第一回成田空港問題シンポジウム開催
昭和59年	5月	「成田空港問題シンポジウム」終結
昭和59年	5月	「第一回成田空港地域共済委員会」開催
昭和59年	5月	全国青年警察職員意見発表大会(警察労資)
昭和59年	5月	空港警備隊創設二十周年記念式典
昭和59年	5月	暫定平行滑走路供用開始
昭和59年	7月	空港警備隊創設二十五周年記念式典

逮捕監察事件の被疑者として現行犯逮捕 筆銃と実弾を見事発見！

私は、昨年九月、警視庁から千葉県警察新東京国際空港警備隊に出向し、現在、第一空港機動隊で勤務しています。空港警備隊は、日本の表裏に開いた成田空港の安全確保のため、厳寒酷暑の厳しい勤務環境の中、全国から集まった警察官が、一丸となつて目的遂行に邁進する精鋭部隊であります。
今回の事件は、創設二十五周年記念式典が行われ、勤務の重要性を再認識し、気持ちも新たに勤務に就いた時のことです。
隊員三名とともに流動空成中の深夜午前二時半頃、日頃人気のない空き地に一台の駐車車両を発見し、「おかしい」と感じた我々は、慎重に車両に近づいていきました。
車内には、男三人が乗っていたため、直ちに職務質問を始めたが、駐車理由も曖昧な上に、車両はナンバーと車体番号が一致せず、且つ運転手の申し立てた名義の免許証も存在しないことが判明しました。そこで応援二名を要請し、男三人をそれぞれ引き離して、更に徹底した職務質問を行いました。
その結果、後部座席にいた男が手首を針金状のもので縛縛された上に、けん銃を突きつけられ、連れ回されていることが判明したのでした。

私は、昨年九月、警視庁から千葉県警察新東京国際空港警備隊に出向し、現在、第一空港機動隊で勤務しています。空港警備隊は、日本の表裏に開いた成田空港の安全確保のため、厳寒酷暑の厳しい勤務環境の中、全国から集まった警察官が、一丸となつて目的遂行に邁進する精鋭部隊であります。
今回の事件は、創設二十五周年記念式典が行われ、勤務の重要性を再認識し、気持ちも新たに勤務に就いた時のことです。
隊員三名とともに流動空成中の深夜午前二時半頃、日頃人気のない空き地に一台の駐車車両を発見し、「おかしい」と感じた我々は、慎重に車両に近づいていきました。
車内には、男三人が乗っていたため、直ちに職務質問を始めたが、駐車理由も曖昧な上に、車両はナンバーと車体番号が一致せず、且つ運転手の申し立てた名義の免許証も存在しないことが判明しました。そこで応援二名を要請し、男三人をそれぞれ引き離して、更に徹底した職務質問を行いました。
その結果、後部座席にいた男が手首を針金状のもので縛縛された上に、けん銃を突きつけられ、連れ回されていることが判明したのでした。



昭和60年10月20日成田現地闘争 火炎びんを投げ、鉄パイプで殴り掛かるなど激しい集団武装闘争を展開。警察では241人を現行犯逮捕した。



成田用水工現場で抵抗する北原グループ。



左から岡本隊員・佐藤主任(三重)、大木班長(千葉)、堤分隊長、目附隊員、森内隊員(警視庁) 検挙功労者6名は「本部長即賞」「空港警備隊長賞」を受賞

私たちは、一掃にいた二人を厳しく追及したところ監察容疑事実を認めため、逮捕監察事件の被疑者として現行犯逮捕するとともに、徹底した付近検査を実施した結果、筆銃と実弾を奪取することができました。
今回の事件は、日頃の空港警備の中で培った経験や訓練の成果が実を結び、暴力団による殺人事件に発展しかねないような事案を早期に解決し、被害者を無事に保護することができたと思っております。今後とも、今回の経験を活かし、成田空港の安全確保と周辺地域における犯罪の未然防止、検挙のため、日々全力を注いでいきたいと思っております。
新東京国際空港警備隊第一空港機動隊 堤 秀幸(警視庁出向)

任務の完遂 光れ機動隊

- (株) エース電研
- 草野産業(株)
- (株) 三栄商会
- スカイコート(株)
- 平和農産工業(株)
- 浅田隆司
- 谷本鉄鋼(株)
- 新関西製鉄(株)
- 明鋼材(株)
- 日鉄物流(株)
- 丸定産業(株)
- 山陽鋼業(株)
- 太陽シャーリング(株)
- 藤田金屬(株)
- 中越通運(株)
- 自見産業(株)
- 豊鋼材工業(株)
- 北海道支部

<< 24時間体制の徹底した警戒活動！

空港公園の民営化で空港警備隊の任務は益々厳しいものに...

極左暴力集団は、昭和60年10月20日以降、集団での武闘闘争から、小規模集団によるテロ・ゲリラ闘争へと戦術を変えてきています。現在の部隊活動は、空港の外内においてゲリラの検挙および未然防止のため、24時間体制で警ら、検問および検察活動を徹底して警戒活動を行なっています。また、2年前の9.11の米国での同時多発テロ以降、国際空港である成田空港も例外なく、国際テロの脅威にさらされており、国際テロ対策も空港警備隊の重要な任務となっているのです。
さらに来年4月には、空港公園の民営化が予定されており、それに伴い各種工事の進展、東峰神社土木伐採訴訟及び平行滑走路の北側延伸問題等が反対勢力を刺激し、闘争がエスカレートするおそれもあり、今後も空港を取り巻く情勢は予断を許さない厳しい状況から、空港警備隊に課せられる任務は益々厳しいものとなっています。

Member's Lounge 講演会録

宗教的自然観なるもの考察

当会運営の重要なアドバイザー、伊達さんは我が国の治安対策の専門家であると同時に、樹木に対する造詣が大変深いことでも有名である。近著「樹木と文化、そして宗教」に基づき、古来から連続と培われて来た日本人の宗教的自然観について語って頂いた。幼時から「鎮守の森」に畏敬の念を抱かれていた伊達さんが長じて「治安を司る世界」に進まれたのもむべなるかなというべきである。



9月のゲスト
伊達 興治 氏

新日本製鐵株顧問
元警察庁警備局長

プロフィール
昭和41年 東京大学 法学部卒業
ただちに警察庁入庁
平成6年 北海道警察本部長
平成8年 関東警備局長
平成9年 警察庁警備局長
平成11年 退官、新日本製鐵株顧問
現在に至る

*著書 「樹々の生ける姿に魅せられて」
「北海道の樹木と民族」
「樹木と文化、そして宗教」(近代文芸社)

○ 欧米や中東では、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教という一神教の系列が圧倒的な地歩を占めている。それに比して、インド、東南アジア、日本にかけての一派は、多神教の風土に染められている。

とはいえ、日本人は、一般的に特定の宗派に属しているとは自覚している者は少ない。せいぜい、法事に際して特定の宗派とのつながりを意識する程度である。それゆえ、日本人は、時に自らを無宗教として捉え、欧米の信仰を無上とする人々に負目を感じることがある。

しかしながら、それは誤っている。むしろ、日本人ほど宗教感情の豊かな国民はいないのでないかとさえいえる。古代からの精霊信仰と祖霊信仰の伝統が、外来の大乗仏教と習合しながらも、今日に至るまで我々の習俗や意識の奥底に染み付いているのである。

宗教を難しく限定して考える必要はない。司馬遼太郎のいうように、教祖、教義、教団がなければ宗教に値しないというのは、既成宗教の側からする押し付けである。ましてや、一神教と多神教との間に優劣があるはずもない。

わが国土は、はるか昔に、東西に分流して北上する黒潮の恵みを受けるに至り、一面の森林に覆われることとなった。わが国の精神的土壌は、まさにこの深い森によって育まれてきたのである。日本人のもつ宗教感情の源泉は、ここにあるといつても過言ではない。

森に分け入れれば、深淵とした厳かな雰囲気身に包まれる。樹々の梢をめぐってそよ吹く風、うつすらと湧き上がる霧、樹の間から差し込む光芒、そうしたものに自然の摂理を感じることが出来る。換言すれば、宇宙の生命のリズムとの共振を覚えるのである。

そして、小川のせせらぎや小鳥のさえずり、虫の

音などに麗しき情景と響きを想う。そこそこに、懐かしいともいえず、切ないともいえる生命の息吹を感じるのである。

○ 縄文の昔に遡る精霊信仰の面影は、アイヌの人々の間に伝承されてきたユーカラ(叙事詩)に色濃く残されている。ユーカラの中でも、最も原初の段階に成立したと思われるのが、カムイユカラ(自然神謡)である。そこでは、動物神、植物神にとどまらず、白や船などの物神、さらには数多の自然神までもが人間との関わりを様々に歌い上げており、人々が精霊とどのような交わりをしていたかを窺い知ることが出来る。

また、アイヌの人々は、自然界からの恩恵を確実なものとするために、「熊送り」の儀式に見られるように、様々な幼鳥獣の霊を丁寧に神々の許へ送り返したのである。これに準じた形で、白や船などの物神を送る「物送り」も、行われてきた。

一方、祖霊信仰を古典に探ると、記紀の記述を通して常世信仰が窺える。それは、海の彼方の常世国に赴いた祖霊が、再び蘇って来訪してくれることへの期待を内包している。今なお沖繩に残る、ニライカナイ(海上世界)からのマレト神の来訪を請うニライカナイ信仰と重なるものがある。また、万葉集の挽歌には、タマ(魂)が森の奥や山の高みへと向かう様子が描写されている。こちらは、山上世界が想定されている。

古代から上代にかけて、死者の霊は、タマからカミへと発展段階的に上昇していくとする思想があった。当初は、荒魂として危険な要素を帯びているが、丁寧な祀られることにより次第にその荒々しさが薄れ、和魂として穏やかな性質のものに変わっていく。さらに年月を経てその個性や物質

性を失い、祖先神と一体化してカミになるといっても好い。記紀や「魏志倭人伝」に記された殯の儀式も、一定期間、穢れを敷いて、魂を鎮めるという意味をもつ。仏寺で営まれる三十三回忌や五十五回忌の法要は、死霊から祖霊に昇華するのにそれだけの年数を要するとの意味合いがあり、元々は、原始神道の流れを汲むものである。

さりながら、柳田国男は、「霊は永久にこの国土のうちに留まってそう遠方へは行ってしまはない」とする信仰の存在を指摘する。確かに、祖霊のない祖先神は、時に人里に降りてくると考えられていた。里人は、神を迎えて祭りを行い、祝福するのである。やがて神が地上に定着すると、祀られて座土の神や鎮守の神となったのである。

○ 一神教の系列は、「砂漠で生まれた宗教」(鈴木木秀夫)とも、「飼い馴らしの宗教」(司馬遼太郎)とも評される。恒に生命の危険に曝される荒漠たる空間にあつては、天地創造から終末へと、直線に進む、直線的な世界観が成立する。そして、人間の自我と神の間には、絶対の断絶が生じる。唯一神の威厳の下に、人間は、絶伏すのみである。

これに対して、インドのパラモン教から派生した仏教、ジャイナ教、ヒンドゥー教など、多神教の系列は、「森林で生まれた宗教」として捉えられる。森林では、樹が生長し、朽ちて土に還り、また新しい芽が出てくるというように、生が満ち充ちている。そこでは、万物の流転と輪廻の思想が組み合わさって円環的な世界観が生まれる。

さらに、瞑想の中から、万物の根本原理たるブラフマン(梵)と人間存在の根本原理たるアトマン(我)が生み出され、梵我一如を究極の目標とするようになる。言い換えれば、東洋においては、自我は、絶対者としてあるか、あるいは連続しているものである。各個人は、その奥底に絶対なるものを宿している。各個人は、全宇宙を映し出す鏡といつてもよい。

大乗仏教では、これを「一切衆生悉有仏性」と表現する。生きとし生けるものは、皆、仏性を宿しているという。それは、日本古来の精霊信仰や祖霊信仰と根本においてつながるものを有している。それが両者を習合させる、一つの要因ともなっている。

本来、仏教は、霊の存在を容認しないにも関わらず、今日、各種の供養や正月、盆、彼岸などの仏教行事が習俗として日本人の生活の中に浸透している。これらのものは、仏教と古来の神祇信仰とが習合し、農耕儀礼と結び付きながら定着してきたものである。

○ ところで、親鸞は、「一切の有情はみなもて世々生々の父母兄弟なり」と説く。実際、生きとし生けるものは、すべて兄弟なのである。それは、科学的にも証明されている。すなわち、地球上のすべての生物は、DNAの複製という、同一の遺伝情報伝達システムを共有している。この事実も、すべての生物が同一の祖先を共有しており、そこから二次的に分化し、多様化してきたことを示す。

ジャイナ教は、仏教と同じ時代、ほぼ同じ地方に起こり、仏教に強い影響をもたらしたと考えられている。ジャイナ教は、徹底した無所有を貫くとともに、厳格な不殺生戒を有し、ごく微小な虫であっても、吸い込んだり、踏みついたりすることは許されなかつた。こうした考え方は、仏教の根底において脈々と受け継がれていると思われる。

確かに、生きとし生けるものが共存していく上で、生物間の食物連鎖は、避けることのできないものである。しかし、現代人は、あまりにも飽食に馴らされ、生物を必要以上に殺生している。

○ 平安時代後期には、「仏性」に代わって「本覚」という語が用いられるようになる。これは、本来、「大乘起信論」の用語であつて、現象界の諸相を超えたところに存する究極の覚りということを意味していた。しかし、日本に入ってきた段階で、現象界の諸相がそのまま自身自身に他ならぬという意味で使われるようになる。

本覚思想は、最澄の天台思想を中核にし、空海の真言密教を吸収する形で、「天台本覚思想」として発展を遂げる。現実肯定は、同時に厳しい実践の行を課する。以降、宗派を唱える者は、自然の中へ己を投げ出し、自然と融合するための苦行に邁進したのである。

この思想からすれば、価値のないものと思われていた日常がすべて悟りであり、仏の現れであるといふことになる。目にする一草一木、耳にする鳥や虫の声、すべてで仏でないものはない。それは、また、有情から非情へ成長の可能性を広げ、草木成佛論や「山川草木悉皆成仏」の思想を生む。一遍上人は、「よろづ生きとし生けるもの、山河草木、あふ風たつ波の音までも、念仏ならずといふことなし」と詠む。

わが国では、仏教は、自然性の原理によって一度白紙還元されたといつてよい(上山春平)。換言す

れば、自然というフィルターを通して内面化されたのである(久保田展弘)。

○ 親鸞は、晩年になると、あるがままに法に包まれている境遇をとりえて、「自然法爾」という語を多用するようになる。八十六歳という老境にあつて、「弥陀仏は自然のやうを知らせむ料なり」「末燈抄」ともいふ。すなわち、阿弥陀仏は、自然という無形のものを理解させるための方便にすぎないといふのである。

道元は、「龍崖尺牘これ心なり」「正法眼蔵」といふ。真の知性から見れば、心と物は一つである。分別を入れると、心と物は別になる。また、「而今の現成、に力を込める。一瞬の中に永遠が入る。そこに全宇宙、全自己が現れる。そして、身体と心が一つになると、人は宇宙と一体となり、宇宙の生命の流れの中に入ることができると断言するのである。

○ ラフカディオ・ハーンは、「神々の国の首都」において、出雲の人々が皆して、朝になると、出雲大社や薬師如来の寺に向かい、あるいは、お日さんに向かい、頭を垂れ、拍手を打つ光景を感動をもって描写している。

ここに描写されているものは、日本人が代々にわたって受け継いできた、敬虔な宗教感情の露である。特定の宗派に属するか否かを問わず、日本人は、本来、宗教感情豊かな民であり続けてきたのである。改めて、このことを確認したいと思う。とりわけ、「山川草木悉皆成仏」の精神の確認と継承を強調したいと思ふ。

(参照) 伊達興治「樹木と文化、そして宗教」(近代文芸社)

編集後記

成田問題については、「国益は国民の私的権利に優先する」ことは当然ながら、利害関係当事者に対する行政当局の折衝の拙さ、所謂「ボタンの掛け違い」に極左暴力集団がつけ込んで来た結果がその後の事態を招来したと考えるが、三十年に及ぶ不法暴力闘争に対し、集団警備力の中核として「空港警備隊」の果たしてきた役割は大きい。隊創立二十五周年にあたり式典取材等特集記事を組んだ次第である。

「励ます会」事務局